

近江八幡市のまちづくりのための 「市民アンケート調査」

【報告書(案)】

平成 30 年2月 15 日時点

近江八幡市

<目 次>

I. 本調査の目的と実施概要.....	1
1. 本調査の目的.....	1
2. 調査実施概要.....	1
(1) 調査対象者.....	1
(2) 調査票配布・回収方法.....	1
(3) 調査期間.....	1
(4) 調査内容.....	1
(5) 回収率.....	1
II. 回答者の属性.....	2
1. 居住地域(問1).....	2
2. 年齢(問2).....	3
3. 性別(問3).....	3
4. 家族(問4～問5).....	4
5. 居住(問6～問10).....	5
6. 職業、通勤・通学先(問11～問12).....	7
III. 調査結果.....	9
1. 近江八幡市のイメージ、居住意向について.....	9
(1) 近江八幡市に対する気持ち(問13).....	9
(2) 近江八幡市のイメージ(問14～問16).....	11
(3) 10年後の理想的な近江八幡市に関する自由回答(問16自由回答欄).....	18
(4) 理想的な近江八幡市を実現させるために市民として取り組みたいこと(問17).....	21
(5) 居住意向(問18).....	23
(6) 住み続けたい理由(問19).....	25
(7) 転居したい理由(問20).....	27
2. 近江八幡市のまちづくりについて(問21～問22).....	29
(1) 分析の方法.....	29
(2) まちづくりの満足度・重要度の全項目比較.....	31
(3) まちづくりの満足度・重要度の属性別比較.....	38
(4) 市民ニーズ分析(満足度×重要度).....	46
3. SDGsについて(問23).....	57
4. 自由回答.....	58
IV. アンケート調査票.....	60

I. 本調査の目的と実施概要

1. 本調査の目的

近江八幡市のまちづくりのための「市民アンケート調査」は、近江八幡市第1次総合計画の策定にあたり、単に行政や有識者が策定してその結果を周知するのではなく、市民参画のひとつの方策として、幅広い市民からまちづくりの意向について意見を収集し、当該計画に取り入れるために実施した。

2. 調査実施概要

(1) 調査対象者

無作為抽出によって選ばれた18歳以上の市民3,000名

(2) 調査票配布・回収方法

郵送により調査票を配布・回収

(3) 調査期間

平成29年7月31日（月）発送～8月13日（日）〆切

(4) 調査内容

1. 回答者の属性（問1～問12）
2. 近江八幡市のイメージ、居住意向について（問13～問20）
3. 近江八幡市のまちづくりについて（問21・問22）
4. SDGsについて（問23）
5. 自由意見

(5) 回収率

発送数	3,000 票
回収数	1,265 票
白票	1 票
有効回収数	1,264 票
有効回収率	42.1%

II. 回答者の属性

1. 居住地域(問1)

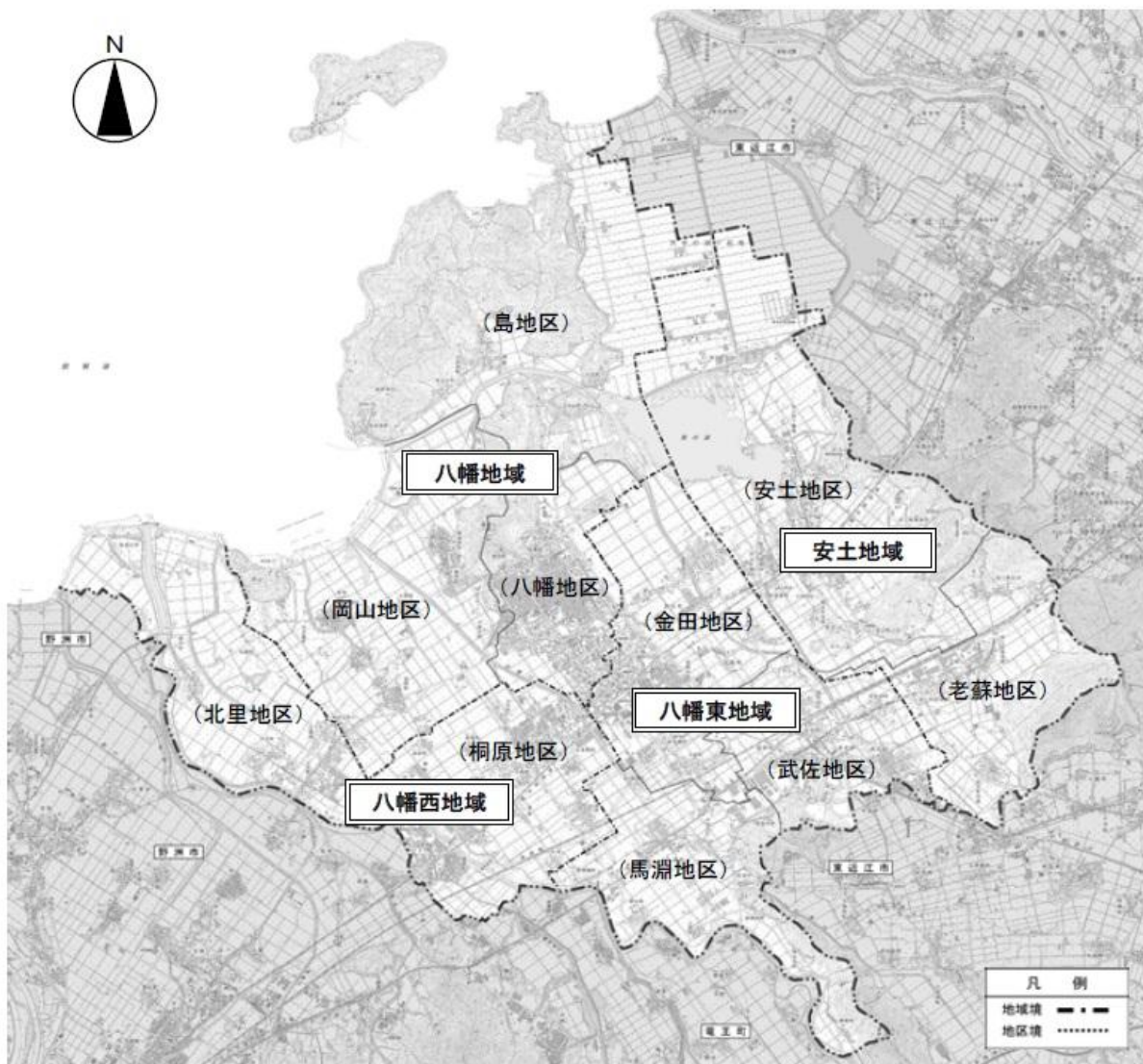
図表Ⅱ-1 居住地域

	回答者		市全体	
	件数	割合(%)	人口	割合(%)
八幡地域	359	28.4	24,028	29.3
八幡東地域	343	27.1	22,546	27.5
八幡西地域	355	28.1	22,966	28.0
安土地域	201	15.9	12,577	15.3
無回答	6	0.5	—	—
合計	1,264	100.0	82,117	100.0

※ 「市全体」については、平成 28 年 10 月 1 日時点における住民基本台帳から作成

※ 本調査において算出した割合等の数値については、小数点第2位を四捨五入しているため、合計が 100 にならないことがある(以下同様)。

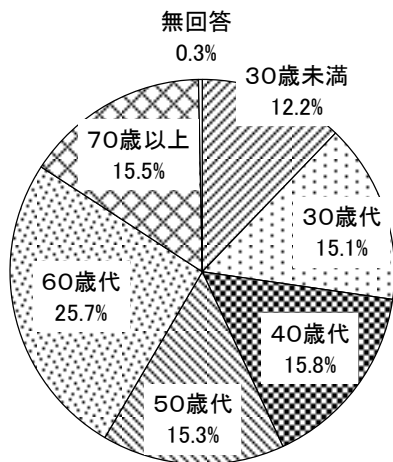
■地域区分図



(出典) 近江八幡市都市計画マスタープランより

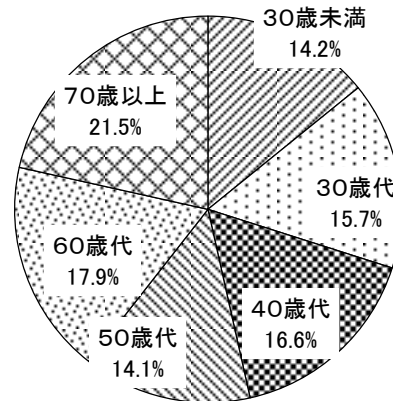
2. 年齢(問2)

図表Ⅱ-2 年齢(市民アンケート調査)



(n=1,264)

図表Ⅱ-3 年齢(近江八幡市全体(※))



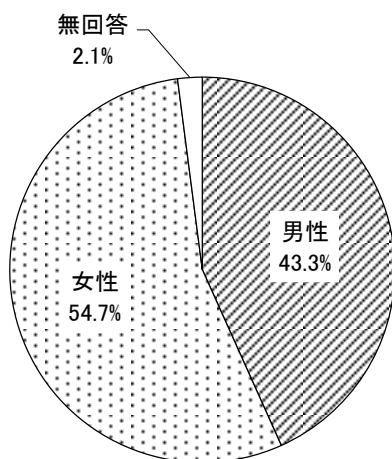
(n=66,817)

※「平成 27 年国勢調査結果」(総務省統計局)¹を加工して作成

※「30 歳未満」は、アンケートと同様に 18 歳以上 30 歳未満を集計

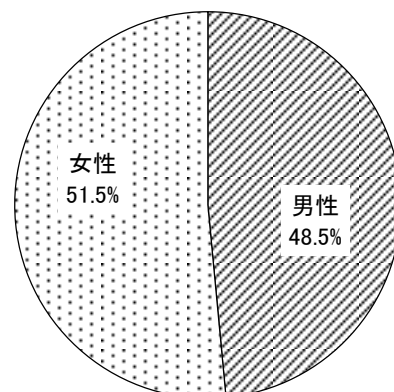
3. 性別(問3)

図表Ⅱ-4 性別(市民アンケート調査)



(n=1,264)

図表Ⅱ-5 性別(近江八幡市全体(※))



(n=66,817)

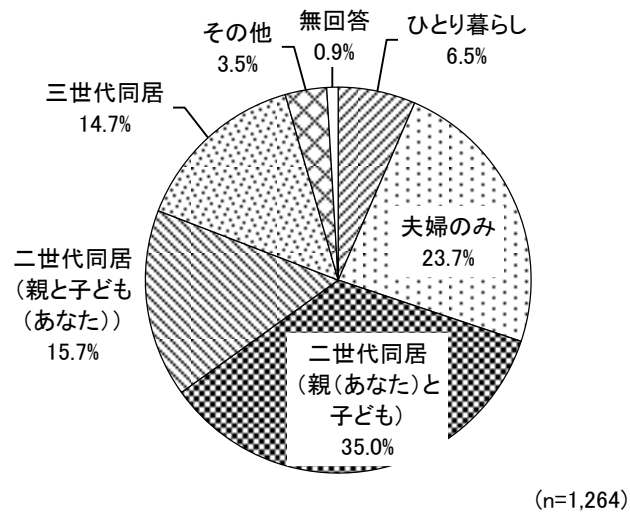
※「平成 27 年国勢調査結果」(総務省統計局)を加工して作成

※アンケートと同様に 18 歳以上を集計

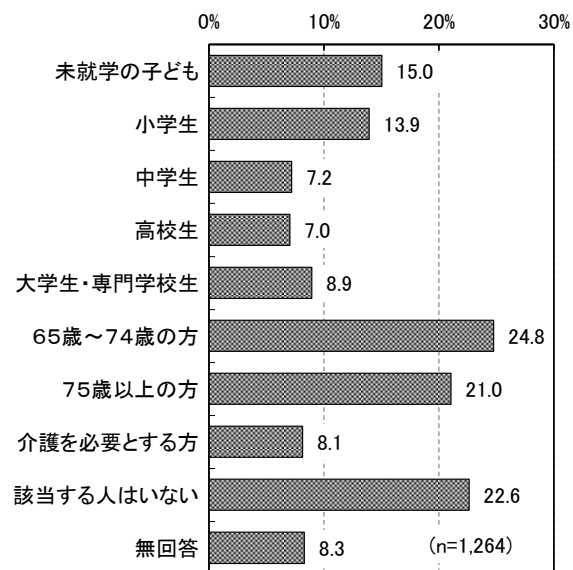
¹ <http://www.stat.go.jp/data/kokusei/2015/kekka.htm>

4. 家族(問4～問5)

図表Ⅱ-6 家族構成

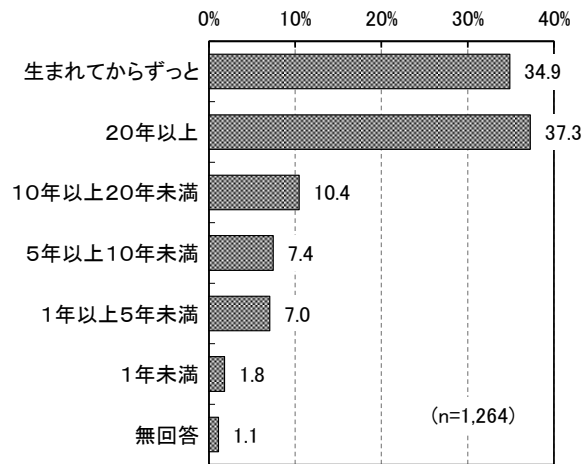


図表Ⅱ-7 同居している家族の属性

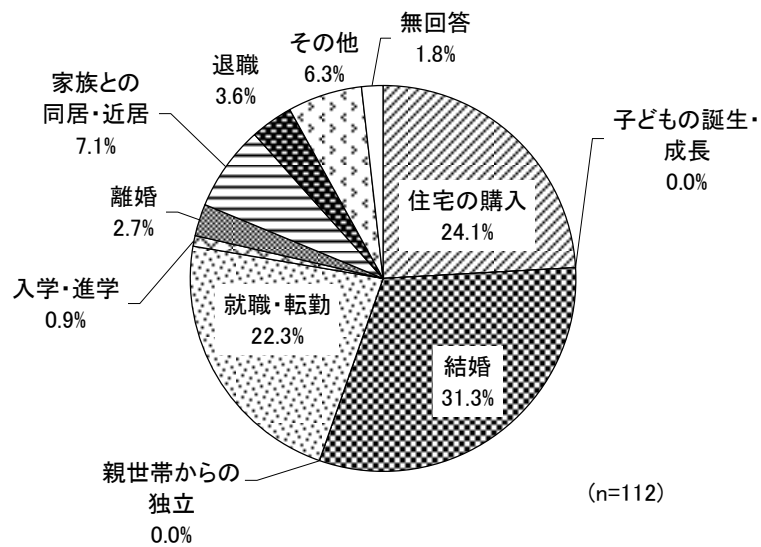


5. 居住(問6～問10)

図表Ⅱ－8 居住年数

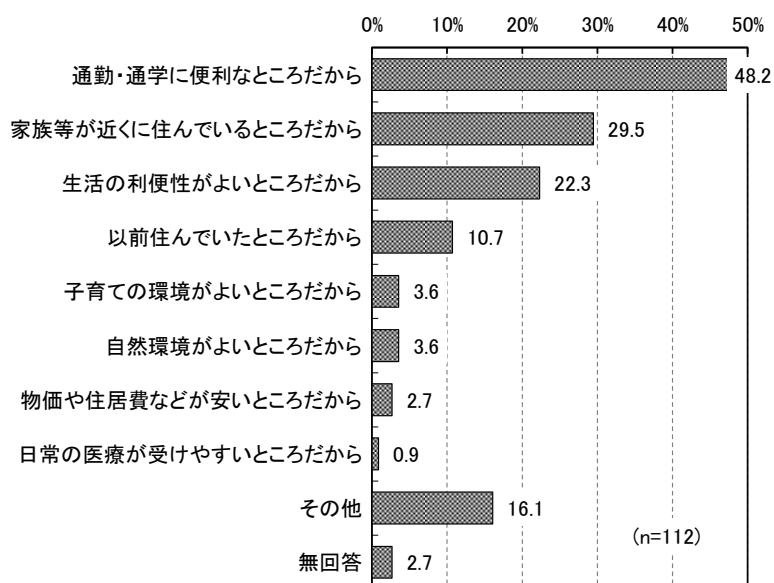


図表Ⅱ－9 近江八幡市に居住するきっかけ

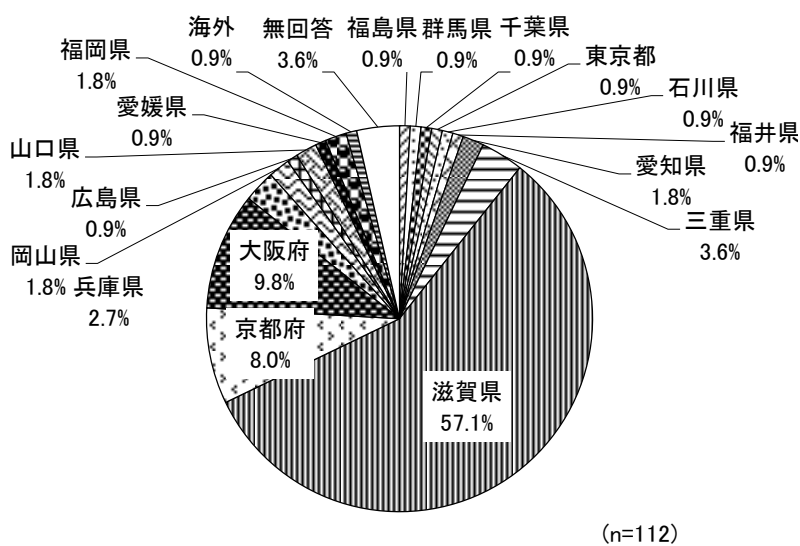


※「居住年数が5年未満」と回答した市民 112 人が近江八幡市に居住するきっかけを示すものである(図表Ⅱ－10 及び図表Ⅱ－11 も同様)。

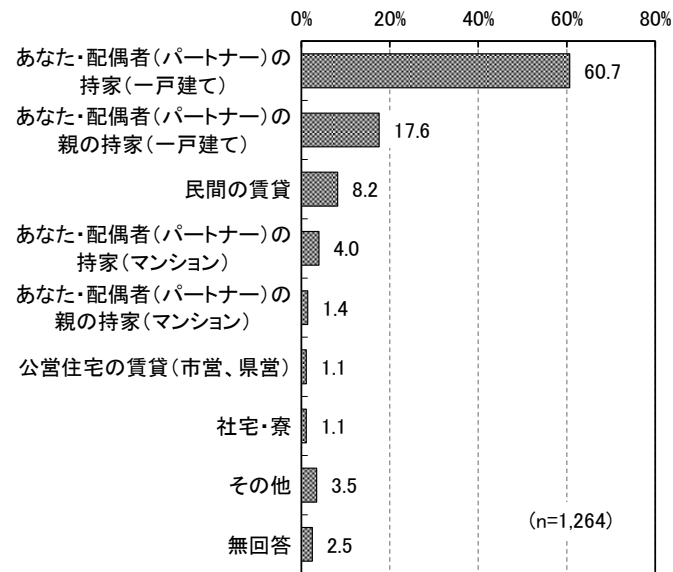
図表Ⅱ－10 居住地に近江八幡市を選択した理由(複数回答)



図表Ⅱ－11 転入前に居住していた都道府県

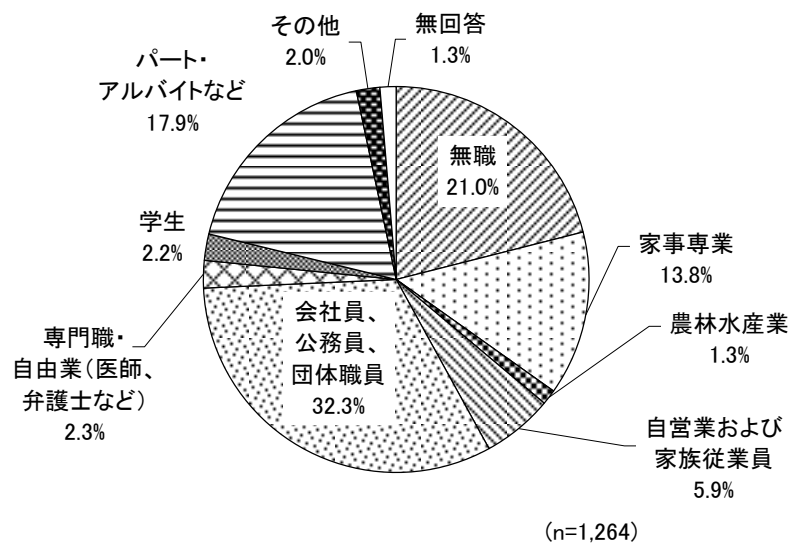


図表Ⅱ－12 居住形態

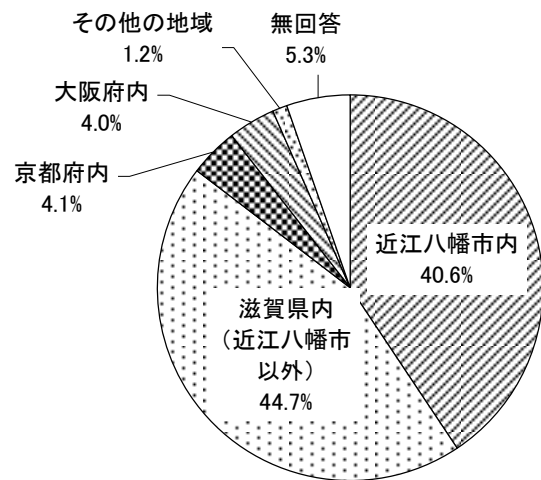


6. 職業、通勤・通学先(問 11～問 12)

図表Ⅱ－13 職業



図表Ⅱ－14 通勤・通学先



(n=807)

※「無職」及び「家事専業」以外の職業である市民のうち通勤・通学先について回答があった 807 人の状況を示すものである。

III. 調査結果

1. 近江八幡市のイメージ、居住意向について

(1) 近江八幡市に対する気持ち（問 13）

■ 全体傾向

- ・「どちらかといえば好き」を含めると、60%以上が近江八幡市を好きだと回答している。
- ・一方、「どちらかといえば好きではない」を含めても、「好きではない」という回答の割合は約 10%にとどまっている。

■ 属性別傾向

(性・年齢別)

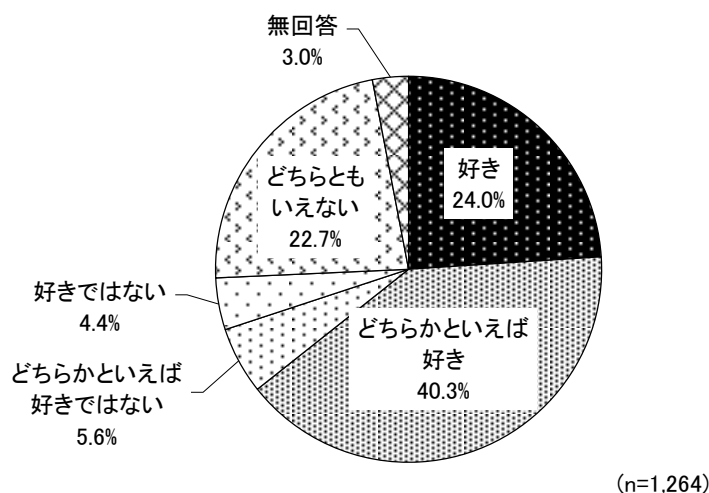
- ・「どちらかといえば好き」を含めると、男女ともほとんどの世代において 60%以上が近江八幡市を好きだと回答している。
- ・一方で、男性の 40 歳代と女性の 30 歳代においては、全体の傾向と比較すると近江八幡市を好きだと回答する市民の割合は低い。

(居住地別)

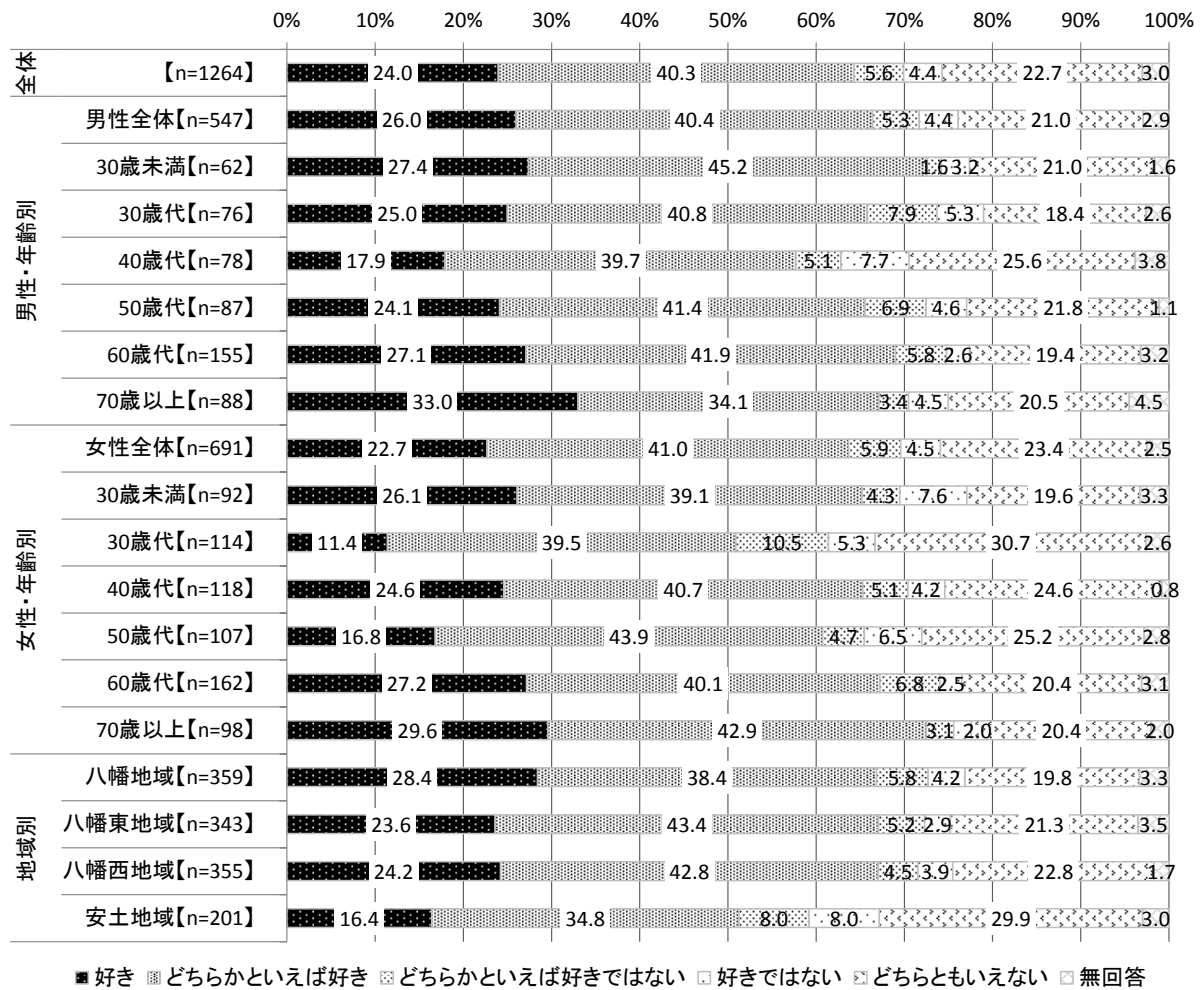
- ・「どちらかといえば好き」を含めると、ほとんどの地域で 60%以上が近江八幡市を好きだと回答している。
- ・一方、安土地域においては、全体の傾向と比較すると近江八幡市を好きだと回答する市民の割合は低い。

図表Ⅲ－１ 近江八幡市に対する気持ち

【全体傾向】



【属性別傾向】



(2) 近江八幡市のイメージ（問 14～問 16）

■ 全体傾向

- ・ 近江八幡市の好きなところ（自慢できるところ）として、「水と緑の豊かな自然環境が守られている」（44.2%）、「琵琶湖沿いの景色がきれい」（37.0%）、「史跡や歴史的建造物など、観光資源が多い」（36.6%）の順で回答が多い。
- ・ 一方、改善した方が良いところとして、「保健・医療・福祉などのサービスが不足している」（25.6%）、「公共交通の便が良くない」（25.3%）、「道路（網）の整備が実施されておらず、歩行者や自転車・自動車運転者が動きづらい」（25.3%）の順で回答が多い。
- ・ 10年後の近江八幡市に求めることとして、「高齢者・障がい者福祉」の分野に関する要望が 38.1%と最も多く、次いで「保健・医療」（23.3%）、「公共交通（鉄道、バスなど）」（18.3%）、「子育て支援」（17.4%）、「道路整備」（15.9%）の分野に関する要望が多い。

■ 属性別傾向

（性・年齢別）

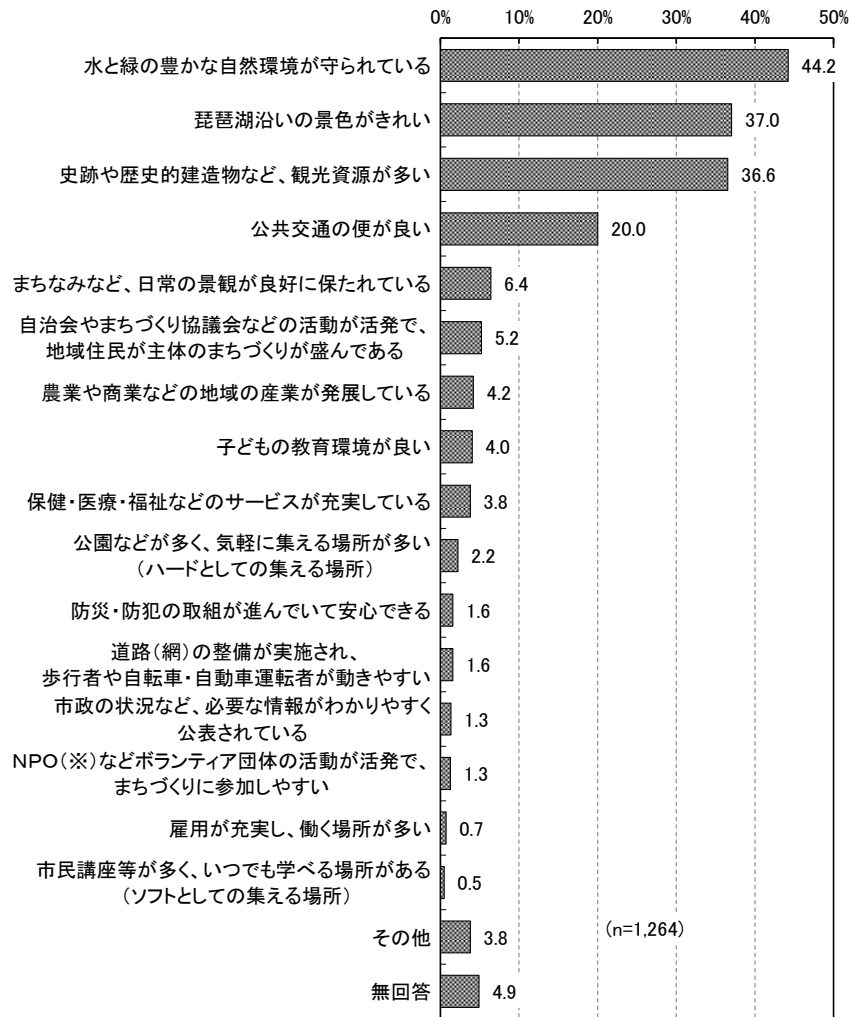
- ・ 近江八幡市の好きなところ（自慢できるところ）として、すべての世代において「水と緑の豊かな自然環境が守られている」、「琵琶湖沿いの景色がきれい」、「史跡や歴史的建造物など、観光資源が多い」の3つが上位を占めている。
- ・ 男性の 40 歳代と女性の 30 歳代において改善した方が良いと思われているところを見ると、共通して回答が多かった項目として、「保健・医療・福祉などのサービスが不足している」と「道路（網）の整備が実施されておらず、歩行者や自転車・自動車運転者が動きづらい」が挙げられている。
- ・ また上記以外にも、40 歳代の男性は「公共交通の便が良くない」、30 歳代の女性は「子どもの教育環境が良くない」に対して改善した方が良いとの回答が多い。
- ・ 10年後の近江八幡市に求めることを性・年齢別に見ると、男女とも 30 歳代を中心に「子育て支援」を求める傾向にあり、高齢層ほど「高齢者・障がい者福祉」の充実を求める傾向にある。

（居住地別）

- ・ 近江八幡市の好きなところ（自慢できるところ）として、すべての地域において「水と緑の豊かな自然環境が守られている」、「琵琶湖沿いの景色がきれい」、「史跡や歴史的建造物など、観光資源が多い」の3つが上位を占めている。
- ・ 近江八幡市に対する気持ちで近江八幡市を好きだと回答する市民の割合が低い安土地域において改善した方が良いと思われているところを見ると、「公共交通の便が良くない」、「保健・医療・福祉などのサービスが不足している」、「道路（網）の整備が実施されておらず、歩行者や自転車・自動車運転者が動きづらい」に対する回答が多い。
- ・ 10年後の近江八幡市に求めることを居住地別に見ると、すべての地域において、「高齢者・障がい者福祉」の充実が最も求められている。
- ・ 八幡地域では、他の地域と比較すると 10年後の近江八幡市に求めることとして「子育て支援」が上位になっている。

図表Ⅲ－２ 近江八幡市の好きなおところ(自慢)(複数回答)

【全体傾向】



【属性別傾向】

		水と緑の豊かな自然環境が守られている	琵琶湖沿いの景色がきれいな自然環境が	観光資源が多い	史跡や歴史的建造物など、観光資源が多い	公共交通の便が良い	防災・防犯の取組が進んでいて安心できる	保健・医療・福祉などのサービスが充実している	子どもの教育環境が良い	農業や商業などの地域の産業が発展している	雇用が充実し、働く場所が多い	NPOなどボランティア団体の活動が活発で、まちづくりに参加しやすい	自治会やまちづくり協議会などの活動が活発で、地域住民が主体のまちづくりが盛んである	道路(網)の整備が実施され、歩行者や自転車・自動車の移動がしやすい	良好に保たれている	まちなみなど、日常の景観が良い	公園などが多く、気軽に集える場所が多い(ハードとしての集える場所)	学べる場所がある(ソフトとしての集える場所)	市民講座等が多く、いつでも利用できる場所がある(ソフトとハードとしての集える場所)	市政の状況など、必要な情報がわかりやすく公表されている	その他	無回答
全体	【n=1264】	44.2	37.0	36.6	20.0	1.6	3.8	4.0	4.2	0.7	1.3	5.2	1.6	6.4	2.2	0.5	1.3	3.8	4.9			
男性・年齢別	男性全体	【n=547】	44.8	37.3	40.4	19.9	1.6	2.9	3.8	3.8	0.9	1.6	5.7	1.8	6.4	1.6	0.2	1.5	3.3	4.9		
	30歳未満	【n=62】	41.9	38.7	35.5	19.4	1.6	1.6	6.5	3.2	0.0	3.2	0.0	3.2	0.0	0.0	0.0	4.8	3.2			
	30歳代	【n=76】	30.3	36.8	42.1	25.0	0.0	2.6	2.6	6.6	1.3	1.3	1.3	3.9	6.6	3.9	0.0	0.0	2.6	5.3		
	40歳代	【n=78】	37.2	37.2	44.9	28.2	0.0	0.0	6.4	1.3	1.3	0.0	2.6	0.0	3.8	0.0	0.0	1.3	5.1	5.1		
	50歳代	【n=87】	44.8	40.2	42.5	16.1	0.0	2.3	2.3	1.1	0.0	0.0	4.6	1.1	8.0	3.4	0.0	1.1	3.4	5.7		
	60歳代	【n=155】	51.0	38.1	40.6	17.4	4.5	3.9	5.2	5.2	0.6	3.2	9.0	3.2	7.7	1.3	0.6	2.6	1.9	3.9		
	70歳以上	【n=88】	54.5	33.0	35.2	15.9	1.1	5.7	3.4	2.3	0.0	3.4	9.1	1.1	6.8	1.1	0.0	2.3	3.4	6.8		
女性・年齢別	女性全体	【n=691】	44.0	37.9	34.3	20.3	1.3	4.2	4.2	4.6	0.6	1.0	4.8	1.4	6.5	2.5	0.7	1.2	4.3	4.2		
	30歳未満	【n=92】	34.8	28.3	37.0	25.0	1.1	1.1	4.3	7.6	1.1	0.0	4.3	0.0	4.3	6.5	0.0	0.0	8.7	6.5		
	30歳代	【n=114】	37.7	34.2	45.6	10.5	0.9	3.5	2.6	7.0	0.9	0.9	4.4	0.0	4.4	3.5	0.9	0.0	6.1	5.3		
	40歳代	【n=118】	39.8	34.7	37.3	23.7	0.0	1.7	9.3	3.4	0.0	0.8	4.2	1.7	11.0	1.7	0.0	0.0	5.1	4.2		
	50歳代	【n=107】	49.5	37.4	34.6	20.6	1.9	1.9	5.6	7.5	0.0	1.9	3.7	2.8	7.5	1.9	0.0	1.9	2.8	2.8		
	60歳代	【n=162】	45.7	45.1	25.9	21.0	2.5	6.2	3.1	3.1	0.6	1.2	5.6	1.2	7.4	1.2	2.5	1.2	1.9	3.7		
	70歳以上	【n=98】	56.1	43.9	28.6	21.4	1.0	10.2	0.0	0.0	1.0	1.0	6.1	3.1	3.1	1.0	0.0	4.1	3.1	3.1		
地域別	八幡地域	【n=359】	44.3	40.9	41.2	18.7	0.3	3.1	2.8	2.5	0.3	0.3	4.2	1.1	7.8	1.7	0.3	1.4	4.5	4.5		
	八幡東地域	【n=343】	44.9	33.5	32.1	26.2	2.3	5.8	5.0	4.1	1.5	1.7	6.7	2.3	4.7	2.6	1.2	2.0	4.7	4.4		
	八幡西地域	【n=355】	39.7	39.4	32.7	20.3	2.0	3.4	2.8	6.2	0.6	1.4	5.1	1.1	6.5	2.5	0.3	0.6	2.0	5.4		
	安土地域	【n=201】	51.7	31.8	43.3	11.9	1.5	2.0	7.0	4.0	0.5	2.0	5.0	2.0	7.0	2.0	0.0	1.5	4.5	5.0		

※ 黄色の網掛けがある項目が上位3つの項目であり、数字が斜体・太字である項目が最上位の項目である。以下同じ。

図表Ⅲ－３ 近江八幡市の好きではないところ(改善点)(複数回答)

【全体傾向】



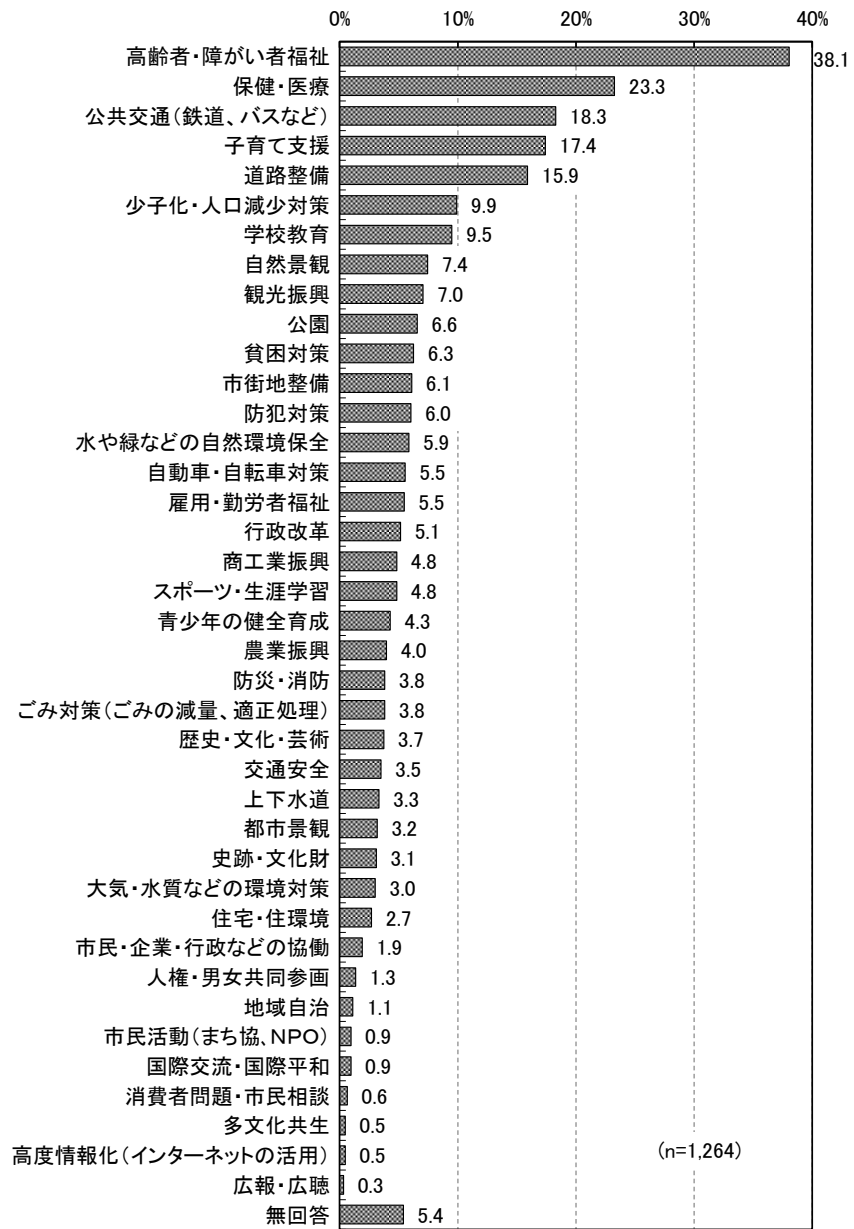
【属性別傾向】

	水と緑の豊かな自然環境が 守られていない	琵琶湖沿いの景色がきれい ではない	光資源が活用されていない	史跡や歴史的建造物など、観 光資源が活用されていない	公共交通の便が良くない	防災・防犯の取組が進んで おらず、安心できない	保健・医療・福祉などの サービスが不足している	子どもの教育環境が良くない	農業や商業などの地域の産 業が発展していない	雇用が不足し、市内に働く 場所が少ない	NPOなどボランティア団体 などの活動が少なく、まちづ くりに参加しづらい	自治会やまちづくり協議会など の活動が少なく、地域住民が主 体のまちづくりができていない	道路（網）の整備が実施され ておらず、歩行者や自転車・ 自動車運転者が動きづらい	まちなみなど、日常の景観 が良好でない	公園などが少なく、気軽に集 える場所が少ない（ハードとし ての集える場所）	市民講座等が少なく、学べる 場所が少ない（ソフトとして の集える場所）	市政の状況など、必要な情報 がわかりやすく公表されてい ない	その他	無回 答
全体【n=1264】	2.8	2.7	6.6	25.3	9.1	25.6	10.9	11.6	14.4	1.7	2.6	25.3	2.8	12.7	4.5	10.1	6.3	6.3	
男性・ 年齢別	男性全体【n=547】	3.1	2.7	8.8	26.0	9.1	22.7	8.8	13.7	17.4	1.6	2.7	24.3	3.7	11.7	3.8	12.2	5.7	5.9
	30歳未満【n=62】	8.1	3.2	4.8	45.2	14.5	21.0	8.1	8.1	17.7	1.6	3.2	24.2	4.8	3.2	0.0	11.3	4.8	1.6
	30歳代【n=76】	0.0	0.0	7.9	23.7	7.9	27.6	15.8	5.3	15.8	3.9	6.6	22.4	3.9	10.5	3.9	5.3	9.2	5.3
	40歳代【n=78】	1.3	5.1	9.0	19.2	5.1	28.2	16.7	10.3	9.0	0.0	0.0	29.5	2.6	17.9	5.1	14.1	3.8	6.4
	50歳代【n=87】	4.6	4.6	6.9	33.3	12.6	17.2	6.9	10.3	18.4	0.0	1.1	23.0	6.9	9.2	2.3	13.8	6.9	6.9
	60歳代【n=155】	3.9	1.3	9.0	20.6	8.4	23.2	5.2	20.0	19.4	2.6	3.2	27.7	2.6	14.2	6.5	14.2	5.2	5.2
70歳以上【n=88】	1.1	3.4	13.6	21.6	8.0	19.3	4.5	20.5	20.5	1.1	2.3	17.0	2.3	11.4	2.3	12.5	4.5	9.1	
女性・ 年齢別	女性全体【n=691】	2.5	2.7	4.8	24.9	9.3	28.2	12.7	10.0	12.2	1.6	2.5	25.9	2.2	13.6	5.2	8.5	6.8	6.5
	30歳未満【n=92】	3.3	6.5	3.3	23.9	8.7	23.9	22.8	4.3	13.0	1.1	2.2	22.8	0.0	7.6	1.1	4.3	5.4	4.3
	30歳代【n=114】	0.9	0.0	5.3	19.3	10.5	40.4	29.8	4.4	6.1	0.9	0.0	26.3	2.6	18.4	0.9	6.1	10.5	1.8
	40歳代【n=118】	1.7	4.2	5.1	22.0	13.6	37.3	16.1	6.8	11.0	1.7	0.0	31.4	0.8	14.4	5.1	9.3	10.2	4.2
	50歳代【n=107】	2.8	0.9	1.9	31.8	11.2	27.1	6.5	10.3	15.0	1.9	2.8	24.3	2.8	13.1	6.5	12.1	8.4	6.5
	60歳代【n=162】	3.1	0.6	4.3	26.5	6.2	22.2	3.7	17.9	14.2	1.9	3.7	29.0	2.5	13.6	9.3	10.5	3.7	8.0
70歳以上【n=98】	3.1	6.1	9.2	25.5	6.1	18.4	1.0	12.2	13.3	2.0	6.1	18.4	4.1	13.3	6.1	7.1	3.1	14.3	
地域別	八幡地域【n=359】	3.9	3.1	5.6	26.7	11.7	24.0	10.9	12.0	15.0	0.8	2.8	21.7	1.1	12.0	5.0	10.9	6.1	7.0
	八幡東地域【n=343】	2.0	2.9	6.7	19.0	8.5	27.4	13.1	12.8	13.7	1.7	1.7	30.6	3.8	16.0	5.0	9.0	7.6	6.4
	八幡西地域【n=355】	3.1	2.3	5.6	24.5	7.9	26.2	10.4	9.3	15.5	2.3	3.9	24.8	4.2	12.7	4.2	8.2	4.8	5.6
	安土地域【n=201】	1.5	2.5	10.0	35.8	8.0	24.4	8.5	12.9	11.9	2.0	1.5	23.4	2.0	9.0	3.5	14.4	6.5	5.5

※ 水色の網掛けがある項目が下位3つの項目であり、数字が斜体・太字である項目が最下位の項目である。以下同じ。

図表Ⅲ－４ 10年後の近江八幡市に求めること(複数回答)

【全体傾向】



【属性別傾向】

男性

	男性・年齢別						
	男性全体 【n=547】	30歳未満 【n=62】	30歳代 【n=76】	40歳代 【n=78】	50歳代 【n=87】	60歳代 【n=155】	70歳以上 【n=88】
高齢者・障がい者福祉	35.1	19.4	13.2	21.8	37.9	49.0	50.0
貧困対策	6.2	1.6	10.5	3.8	9.2	7.1	3.4
保健・医療	20.5	19.4	19.7	16.7	19.5	23.2	20.5
公共交通（鉄道、バスなど）	18.3	21.0	14.5	17.9	20.7	14.2	25.0
自動車・自転車対策	7.1	11.3	6.6	11.5	3.4	5.8	6.8
道路整備	16.8	22.6	15.8	10.3	13.8	21.3	14.8
上下水道	4.2	1.6	5.3	1.3	5.7	3.2	8.0
市街地整備	7.1	6.5	3.9	12.8	6.9	7.1	5.7
住宅・住環境	2.9	1.6	2.6	6.4	4.6	0.6	3.4
都市景観	4.8	6.5	3.9	6.4	4.6	3.9	4.5
自然景観	8.4	11.3	9.2	12.8	5.7	6.5	8.0
子育て支援	13.5	9.7	25.0	17.9	14.9	10.3	5.7
青少年の健全育成	4.9	6.5	3.9	2.6	3.4	4.5	9.1
学校教育	6.8	8.1	10.5	9.0	4.6	5.8	4.5
人権・男女共同参画	1.3	1.6	3.9	1.3	0.0	0.6	1.1
防犯対策	7.5	6.5	9.2	3.8	13.8	5.2	8.0
交通安全	4.4	14.5	9.2	0.0	0.0	1.9	5.7
防災・消防	3.8	1.6	3.9	1.3	6.9	3.2	5.7
スポーツ・生涯学習	6.2	4.8	5.3	14.1	3.4	5.8	3.4
史跡・文化財	4.2	3.2	5.3	5.1	5.7	1.9	5.7
歴史・文化・芸術	3.5	0.0	0.0	3.8	3.4	6.5	3.4
消費者問題・市民相談	1.1	1.6	2.6	0.0	0.0	0.6	2.3
市民活動（まち協、NPO）	1.3	1.6	0.0	0.0	0.0	2.6	2.3
地域自治	1.8	0.0	1.3	0.0	0.0	2.6	5.7
ごみ対策（ごみの減量、適正処理）	3.1	1.6	2.6	1.3	5.7	2.6	4.5
大気・水質などの環境対策	2.9	3.2	0.0	1.3	2.3	3.9	5.7
水や緑などの自然環境保全	4.9	6.5	5.3	2.6	2.3	5.2	8.0
市民・企業・行政などの協働	3.1	1.6	0.0	2.6	6.9	3.9	2.3
多文化共生	0.4	0.0	1.3	1.3	0.0	0.0	0.0
国際交流・国際平和	0.9	0.0	1.3	1.3	1.1	0.0	2.3
農業振興	4.4	1.6	2.6	3.8	4.6	7.7	2.3
商工業振興	5.7	1.6	1.3	5.1	6.9	9.0	5.7
観光振興	8.8	11.3	6.6	14.1	9.2	5.2	10.2
雇用・勤労者福祉	5.7	9.7	7.9	7.7	5.7	1.9	5.7
公園	4.8	1.6	9.2	5.1	1.1	5.2	5.7
高度情報化（インターネットの活用）	0.7	0.0	1.3	1.3	1.1	0.6	0.0
広報・広聴	0.4	0.0	0.0	1.3	0.0	0.0	1.1
行政改革	6.4	6.5	6.6	3.8	6.9	9.0	3.4
少子化・人口減少対策	10.8	6.5	7.9	11.5	9.2	10.3	18.2
無回答	4.4	3.2	5.3	9.0	2.3	2.6	5.7

女性

	女性・年齢別						
	女性全体 【n=691】	30歳未満 【n=92】	30歳代 【n=114】	40歳代 【n=118】	50歳代 【n=107】	60歳代 【n=162】	70歳以上 【n=98】
高齢者・障がい者福祉	40.2	20.7	20.2	32.2	46.7	56.2	58.2
貧困対策	6.4	2.2	3.5	4.2	8.4	8.0	11.2
保健・医療	25.0	13.0	42.1	29.7	23.4	22.2	17.3
公共交通（鉄道、バスなど）	18.2	16.3	13.2	17.8	21.5	19.1	21.4
自動車・自転車対策	4.3	6.5	3.5	5.9	3.7	3.7	3.1
道路整備	15.1	10.9	11.4	16.1	15.0	19.1	15.3
上下水道	2.6	2.2	0.9	5.1	2.8	1.9	3.1
市街地整備	5.2	6.5	5.3	7.6	2.8	5.6	3.1
住宅・住環境	2.6	3.3	0.9	1.7	2.8	4.3	2.0
都市景観	2.0	0.0	4.4	2.5	2.8	1.2	1.0
自然景観	6.8	6.5	5.3	6.8	5.6	8.6	7.1
子育て支援	20.7	39.1	43.9	17.8	13.1	10.5	5.1
青少年の健全育成	3.6	5.4	0.9	5.9	1.9	3.1	5.1
学校教育	11.6	19.6	26.3	15.3	3.7	4.9	2.0
人権・男女共同参画	1.4	2.2	0.0	0.0	4.7	1.2	1.0
防犯対策	5.1	3.3	7.0	5.9	6.5	4.3	3.1
交通安全	2.5	3.3	1.8	2.5	0.0	2.5	5.1
防災・消防	3.8	4.3	4.4	4.2	3.7	3.7	2.0
スポーツ・生涯学習	3.9	2.2	3.5	7.6	2.8	3.7	3.1
史跡・文化財	2.2	5.4	0.9	2.5	2.8	0.6	2.0
歴史・文化・芸術	3.9	4.3	2.6	4.2	5.6	2.5	5.1
消費者問題・市民相談	0.3	0.0	0.0	0.8	0.0	0.6	0.0
市民活動（まち協、NPO）	0.6	0.0	0.9	0.0	0.0	1.2	1.0
地域自治	0.6	0.0	0.0	0.8	0.9	0.6	1.0
ごみ対策（ごみの減量、適正処理）	4.2	5.4	1.8	0.8	4.7	8.0	3.1
大気・水質などの環境対策	3.0	1.1	1.8	1.7	2.8	4.3	6.1
水や緑などの自然環境保全	6.5	7.6	5.3	2.5	10.3	6.8	7.1
市民・企業・行政などの協働	1.0	1.1	0.9	0.8	0.9	1.2	1.0
多文化共生	0.6	1.1	1.8	0.0	0.0	0.6	0.0
国際交流・国際平和	1.0	3.3	1.8	0.8	0.0	0.6	0.0
農業振興	3.6	2.2	0.0	2.5	5.6	5.6	5.1
商工業振興	4.3	4.3	5.3	5.1	6.5	2.5	3.1
観光振興	5.8	9.8	4.4	6.8	6.5	4.9	3.1
雇用・勤労者福祉	5.5	3.3	5.3	11.0	3.7	5.6	3.1
公園	7.8	6.5	15.8	6.8	7.5	6.2	4.1
高度情報化（インターネットの活用）	0.3	0.0	0.9	0.8	0.0	0.0	0.0
広報・広聴	0.3	0.0	0.0	0.8	0.0	0.6	0.0
行政改革	4.2	4.3	4.4	6.8	4.7	3.7	1.0
少子化・人口減少対策	9.1	6.5	7.9	7.6	12.1	11.1	8.2
無回答	6.1	5.4	3.5	5.9	3.7	6.2	12.2

居住地別

	全体 (再掲)	地域別			
		八幡地域 【n=359】	八幡東地域 【n=343】	八幡西地域 【n=355】	安土地域 【n=201】
高齢者・障がい者福祉	38.1	33.7	33.8	45.9	39.3
貧困対策	6.3	5.8	6.1	6.8	6.5
保健・医療	23.3	21.4	25.1	25.1	20.4
公共交通（鉄道、バスなど）	18.3	17.8	15.7	16.6	26.9
自動車・自転車対策	5.5	5.3	4.7	7.0	5.0
道路整備	15.9	16.7	18.7	13.5	12.9
上下水道	3.3	3.1	5.8	2.5	1.0
市街地整備	6.1	6.4	6.7	6.5	3.5
住宅・住環境	2.7	2.2	2.9	3.1	2.0
都市景観	3.2	3.1	3.2	3.7	2.5
自然景観	7.4	7.0	6.4	8.2	9.0
子育て支援	17.4	19.2	17.5	16.3	15.9
青少年の健全育成	4.3	2.8	5.0	5.4	4.0
学校教育	9.5	9.7	10.8	9.6	7.0
人権・男女共同参画	1.3	1.1	1.5	1.7	1.0
防犯対策	6.0	7.2	6.4	5.6	4.0
交通安全	3.5	3.9	3.5	3.7	2.0
防災・消防	3.8	3.9	3.8	2.8	5.5
スポーツ・生涯学習	4.8	5.0	5.0	5.4	3.5
史跡・文化財	3.1	3.6	1.2	2.0	7.0
歴史・文化・芸術	3.7	4.7	3.5	2.5	4.5
消費者問題・市民相談	0.6	1.1	0.3	0.0	1.5
市民活動（まち協、NPO）	0.9	0.8	0.0	1.4	2.0
地域自治	1.1	0.6	1.5	1.4	1.0
ごみ対策（ごみの減量、適正処理）	3.8	4.7	4.7	3.1	2.0
大気・水質などの環境対策	3.0	4.2	3.2	2.0	2.5
水や緑などの自然環境保全	5.9	6.1	4.7	6.2	7.0
市民・企業・行政などの協働	1.9	3.6	0.3	1.4	2.5
多文化共生	0.5	0.6	0.0	0.8	0.5
国際交流・国際平和	0.9	0.8	1.5	0.6	1.0
農業振興	4.0	2.8	5.0	3.1	6.0
商工業振興	4.8	5.6	6.7	3.9	2.0
観光振興	7.0	9.5	7.0	5.1	6.5
雇用・勤労者福祉	5.5	5.3	3.8	6.5	6.5
公園	6.6	6.4	8.7	6.2	4.0
高度情報化（インターネットの活用）	0.5	0.3	0.6	0.6	0.5
広報・広聴	0.3	0.3	0.3	0.3	0.5
行政改革	5.1	5.8	3.8	5.4	6.0
少子化・人口減少対策	9.9	9.5	9.3	10.7	10.4
無回答	5.4	4.7	5.5	5.4	6.0

(3) 10年後の理想的な近江八幡市に関する自由回答（問 16 自由回答欄）

※ 自由回答については、主だった意見を抜粋し、文意を損ねることがないように原則原文を引用している（以下同様）。

1. 高齢者・障がい者福祉（251 件）
・核家族化に伴う、老々介護対策の充実。 ・若い世代が働きながら介護負担が軽減される。 ・高齢者や障がい者にやさしい町づくりがされている。 ・一人暮らしの高齢者に、行政や近隣住民のフォローが行き届いている町に。 ・障がい者の就労施設をもっと増やして欲しい。 ・高齢者が生きがいを持って活動できる。
2. 貧困対策（33 件）
・国民健康保険料・給食費が納められる生活が保障されたい。
3. 保健・医療（156 件）
・病院（特に休日）を増やしてほしい。 ・ホームドクターの推進。
4. 公共交通（鉄道、バスなど）（154 件）
・あかこんバスの休日運行及び便数（増便）の充実。 ・あかこんバスが土日利用できると利用者も増えるし、定期があるともっといいと思う。
5. 自動車・自転車対策（46 件）
・高齢者が関係する事故も増加すると思うし、湖岸や国道では自転車も多いのでそれらが安全な状況に整備してほしい。
6. 道路整備（141 件）
・歩道、自転車道、車道の区別のついていない道路がまだまだ多いので、安心安全な道路であってほしい。 ・駅の南北が細い道路でしか繋がっていないので、交通の動線の確保された状態にしてほしい。 ・公道や農道など、人や自転車、自動車の通行が多い所はアスファルトにするなどして綺麗にしてほしい（幅を拡げてほしい）。
7. 上下水道（23 件）
・上下水道が整備され、衛生的で快適な生活ができる。
8. 市街地整備（39 件）
・空いている土地を有効活用して活気のある町づくりがされている。
9. 住宅・住環境（15 件）
・高齢でも住みやすく安心できる住宅物件が増える。
10. 都市景観（25 件）
・近代的な建物と自然・歴史的・情緒あふれる街並みがそれぞれ守られ、混在する住みやすい街であってほしい。
11. 自然景観（49 件）
・琵琶湖・西の湖一帯の水と緑の豊かな自然環境が守られており、綺麗な景観が観光資源になっている。
12. 子育て支援（149 件）
・小中学生も医療費を無償化して欲しい。 ・待機児童ゼロ。企業の託児所をつくりやすくする。 ・保育所や幼稚園が充分あり、待機児童がいない。保育士の勤務体制の見直し。
13. 青少年の健全育成（29 件）
・少年犯罪の無い社会。

14. 学校教育（87件）	・大学が無く、進学するのに不便。大学がある若者が多い街。 ・小中学校の教員数を増やし、よりきめ細かな教育を。 ・非行やひきこもり等の割合が低下し、安心して学業に専念できる落ち着いた雰囲気のある学校になる。
15. 人権・男女共同参画（11件）	・様々な人権問題の解決が図られ、適切な対応が来ている。
16. 防犯対策（45件）	・防犯灯が整備され、夜間も安心して歩ける。 ・防犯カメラなどが整備されていて、犯罪の抑止力がある。
17. 交通安全（25件）	・通学路がかなり遠回りしていたり、街灯も少なく夜は危険なのですぐ改善を。
18. 防災・消防（27件）	・どこからでも町内に消防車が入って来られる様にしたい。 ・除雪をちゃんとしてほしい。 ・自然災害に対応できる防災が強化できている市。
19. スポーツ・生涯学習（42件）	・スポーツ振興を進めてほしい。
20. 史跡・文化財（32件）	・史跡・文化財のPRと保護強化。
21. 歴史・文化・芸術（35件）	・ここにしかない歴史、文化、芸術が今よりもっと活かされている。 ・まだまだ未公開の歴史、文化、芸術の宝物が眠っている気がする。いつでも気軽に見学出来るようにしてほしい。 ・当市の歴史財産を活かし市民参加型の「市づくり」。
22. 消費者問題・市民相談（4件）	・空き家と空地、荒地の再利用。
23. 市民活動（まち協、NPO）（9件）	・まち協の活動は代表選手が複数の役を兼務して行っているのが現状、より多くの市民・学区民が参加できる活動ができたと思う。
24. 地域自治（8件）	・自治会がもっと基盤を強くして、自助・公助・共助を確立できている。
25. ごみ対策（ごみの減量、適正処理）（32件）	・新しいゴミ焼却施設が完成したが、1年でも長く使用できるようゴミの減量（出し方）につとめる。また金属類・家具類など大型ゴミの収集、作業の実施。
26. 大気・水質などの環境対策（19件）	・水質環境対策。西の湖は特に水質が悪化し、琵琶湖に影響がでている。因果関係を調査して将来泳げる湖になれば、綺麗な景観で人を呼べる。
27. 水や緑などの自然環境保全（49件）	・琵琶湖の外来魚など危険生物の駆除がゆきとどいてほしい。
28. 市民・企業・行政などの協働（11件）	・地域の課題について、市民を交え、今まで以上に官・民連携が図れている。
29. 多文化共生（2件）	・すべての人種に平等な町。
30. 国際交流・国際平和（6件）	・外国人が住みやすい環境があり、交流の場がある。

31. 農業振興（36 件）
・後継者不足の解消を図り、農業振興に努める。 ・「きてかーな」のような、農業と市民が繋がれる場が増えれば、観光客誘致にも繋がると思う。
32. 商工業振興（42 件）
・企業誘致による税収アップ。 ・商業施設が多く暮らしに便利な町。 ・他の市や街に行かなくても済む商業施設。
33. 観光振興（66 件）
・観光振興にあわせ、駐車場やボランティアガイドの整備、特にインバウンドへの対応。
34. 雇用・勤労者福祉（37 件）
・定年退職後も働く場所を提供頂ける体制が整っている。
35. 公園（70 件）
・木陰で休憩している人もいれば、遊具、ボールなどで遊べるファミリー公園。 ・大きな遊具やボールで遊べる広々とした場所や、小川がある大きな公園があるといい。
36. 高度情報化（インターネットの活用）（4 件）
・例えば 1 軒に 1 個タブレットがあり、1～39 の内容の検索、相談が簡単にできたらいいと思う。
37. 広報・広聴（2 件）
・広報の充実で、行政と市民の連携がよく取れている。
38. 行政改革（44 件）
・無駄のない、本当に市民に必要なことにお金を使って住みやすい町に改良してほしい。 ・市民に分かりやすい行政となっている。 ・透明性のある行政活動で市民みんなが近江八幡を活性化させる。
39. 少子化・人口減少対策（70 件）
・幅広い世代交流と次世代への豊かなバトンを。

(4) 理想的な近江八幡市を実現させるために市民として取り組みたいこと（問 17）

① 豊かな自然・歴史・文化に関する回答（129 件）

- ・ ごみの分別、資源ごみなど普段からできることをしっかりやっていく。
- ・ 道や琵琶湖の清掃活動に参加したい。
- ・ 琵琶湖の清掃活動に参加した方は無料で音楽フェス参加や地域野菜贈呈とかなら多くの方が参加してくれそう。
- ・ 自然環境保護のボランティア活動。
- ・ 戦国時代の遺跡が数多くあるのでその保存に関わりたい。

② 安全・安心な生活基盤に関する回答（33 件）

- ・ 子ども・お年寄りなどの見守り。
- ・ 日頃からの心構え、避難場所の確認、勧告時の行動、訓練等。
- ・ 地域の防災に関する勉強会の参加。
- ・ 道路や、不審者の出やすい所などを挙げる事（危険箇所マップづくり）。

③ 保健・医療・福祉に関する回答（48 件）

- ・ 高齢者の見守りボランティア。
- ・ ボランティアとして高齢者や子どもたちに関わる。
- ・ 地域のお祭りにボランティアとして参加したり、子どもたちや障がい児童の余暇支援などに協力したい。
- ・ 最近「子ども食堂」の活動を耳にするが、身近にあれば手伝いたい。
- ・ 高齢者になっても介護予防に努め、元気であること。
- ・ 健康的な生活をして病気を予防する。

④ 農業・産業に関する回答（41 件）

- ・ 八幡堀、安土城の整備イベントへの参加。映画、ドラマのロケーションのエキストラやお手伝い（イベント化する）。
- ・ 近江八幡の良さの発信。SNS など。
- ・ 観光客へのおもてなしを行うボランティア等に参加してみたい。
- ・ 外国人観光客に対して英語通訳をする。
- ・ 市内の農家の方が育てた野菜を買うよう、地産地消に協力したい。
- ・ 地元の物を手土産として他府県の知人に手渡すことから。

⑤ 教育・スポーツに関する回答（19 件）

- ・ 現在、地域でのスポーツ振興に取り組んでいる。
- ・ 中高生からの生産活動（産学協同）への参加。
- ・ 経験した仕事上の知識や体験を子どもたちに伝えたい。
- ・ 自分の趣味などを活かせればなお良い。
- ・ 非行防止活動。

⑥ 協働・地域経営に関する回答（131 件）

- ・ 地域のボランティア活動への参加。
- ・ 地域活動に積極的に参加し、まちづくりに関わっていきたい。
- ・ 市民会議等に参加したい。
- ・ 退職後のおやじ連参加。
- ・ 選挙などに積極的に参加する。
- ・ 市政の監視。選挙に行く。
- ・ 市がどのようなことをしているのかを知る。

(5) 居住意向（問 18）

■ 全体傾向

- ・ 近江八幡市での居住意向については、「どちらかといえば住み続けたい」を含めると、継続居住の意向を示す市民は **75%**を超え、市外転居の意向を示す市民は **20%**を下回っている。

■ 属性別傾向

（性・年齢別）

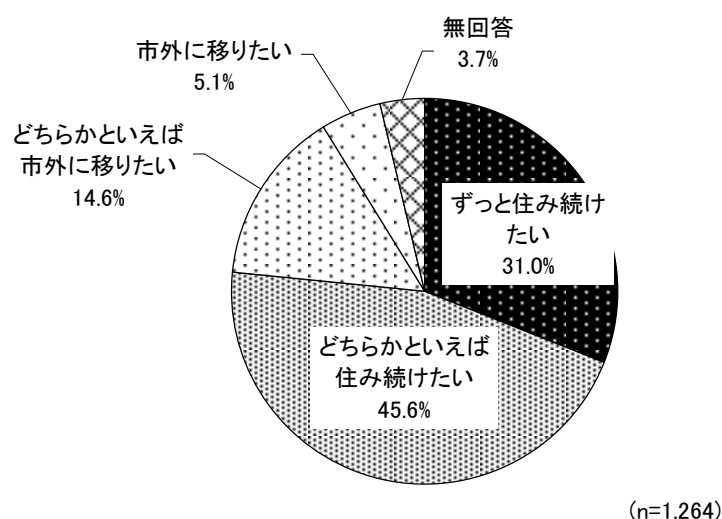
- ・ 「どちらかといえば住み続けたい」を含めると、**30 歳未満及び 30 歳代の女性**を除き、ほとんどの区分において約 **70%**以上の市民が継続居住の意向を示している。
- ・ **30 歳未満及び 30 歳代の女性**については、継続居住の意向を示している割合が **65%**程度となっており、男性や女性の他の世代と比較すると低くなっている。
- ・ 男女とも世代が上がるほど「ずっと住み続けたい」と回答する割合が高くなっている。

（居住地別）

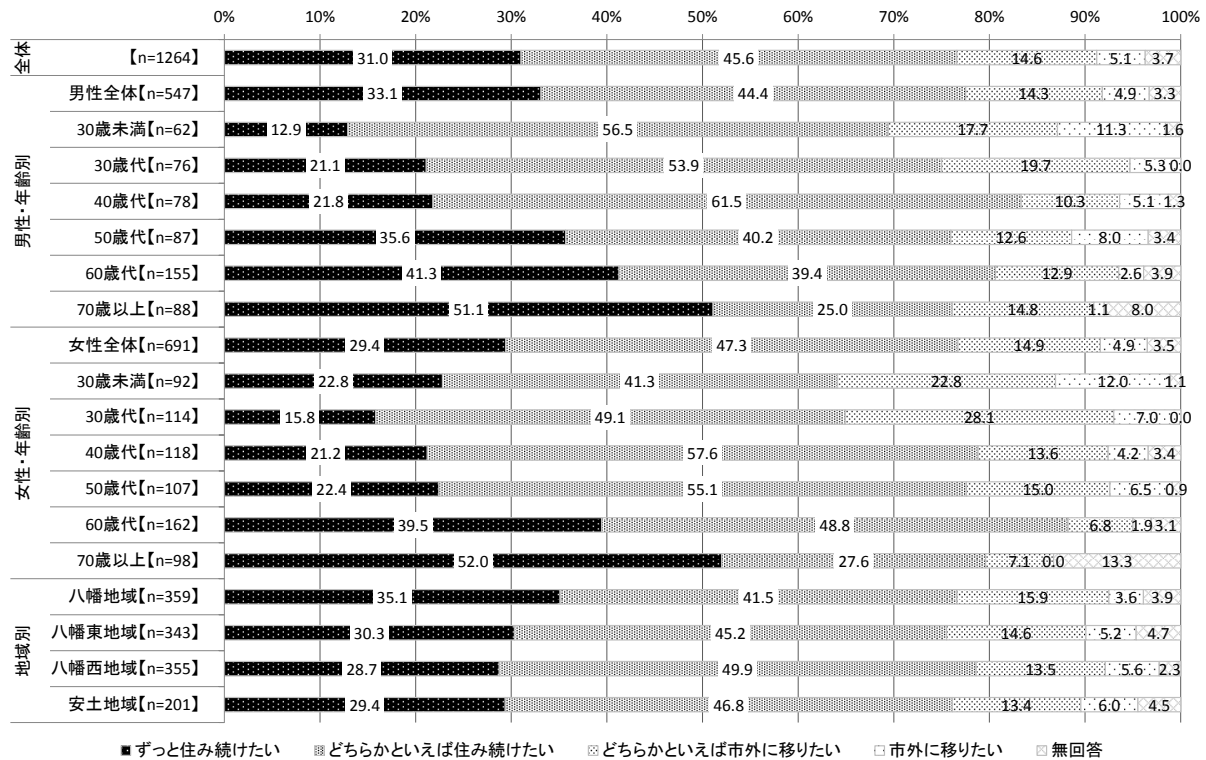
- ・ いずれの地域においても、「どちらかといえば住み続けたい」を含めると、継続居住の意向を示す割合が **75%**を超えている。
- ・ 八幡地域では、「ずっと住み続けたい」という意向を示す割合が他の地域と比べると高くなっている。

図表Ⅲ－ 5 居住意向

【全体傾向】



【属性別傾向】



(6) 住み続けたい理由（問 19）

■ 全体傾向

- ・ 住み続けたい理由としては、「地域に愛着があるから」(40.6%)、「水と緑の豊かな自然環境が多く、まちの環境が良いから」(35.2%)、「近隣に商店や病院などが充実し、生活する上で便利だから」(25.7%)の順で回答が多い。
- ・ その他の理由として、「住み慣れているから」、「本人又は配偶者の実家と近いから」といった回答が見られた。

■ 属性別傾向

(性・年齢別)

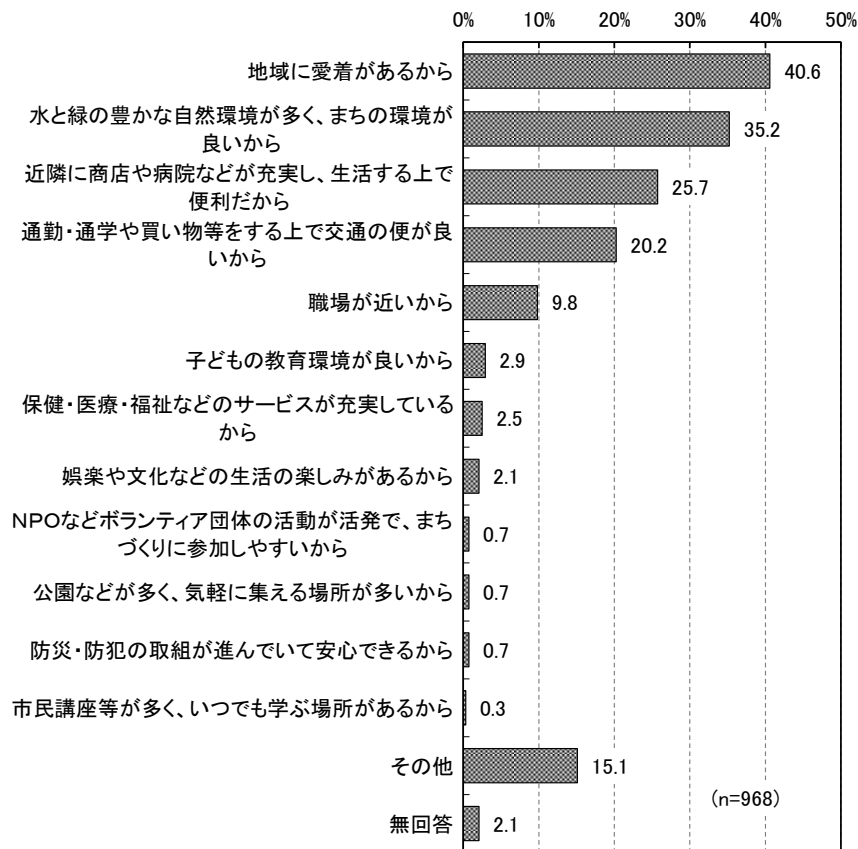
- ・ 住み続けたい理由として、性別・年齢別を問わず、ほとんどの区分において、「地域に愛着があるから」という回答が最も多くなっている。
- ・ 男性については、世代が上がるほど「水と緑の豊かな自然環境が多く、まちの環境が良いから」という回答が増えている。
- ・ 女性については、30歳代及び40歳代において、「地域に愛着があるから」という回答の割合は20%台にとどまっており、一方で「水と緑の豊かな自然環境が多く、まちの環境が良いから」という回答が多い。
- ・ なお、30歳代及び40歳代の女性については、「その他」の回答が20%を超えており、具体的には、「家を購入したから」、「子どもの教育に影響があるから」、「本人又は配偶者の実家と近いから」などを理由として挙げている回答が多い。
- ・ また、男女を問わず、40歳代未満の回答では、「通勤・通学や買い物等をする上で交通の便が良いから」という理由が上位になっている。

(居住地別)

- ・ 住み続けたい理由として、すべての地域において「地域への愛着があるから」、「水と緑の豊かな自然環境が多く、まちの環境が良いから」という理由が上位になっている。
- ・ 安土地域以外の地域では「近隣に商店や病院などが充実し、生活する上で便利だから」という理由が上位になっているが、安土地域では上位になっていない。
- ・ 安土地域については、「その他」の回答が上位になっており、具体的には、「持家があるから」、「住み慣れているから」、「本人又は配偶者の親が住んでいるから」などを理由として挙げている回答が多い。
- ・ また、八幡東地域及び八幡西地域においては、住み続けたい理由として「通勤・通学や買い物等をする上での交通の便が良いから」という回答が25%程度を占めている。
- ・ 一方、八幡地域及び安土地域については、住み続けたい理由として「通勤・通学や買い物等をする上での交通の便が良いから」という回答が15%程度であり、八幡東地域及び八幡西地域と比較すると低くなっている。

図表Ⅲ－ 6 住み続けたい理由(複数回答)

【全体傾向】



【属性別傾向】

		水と緑の豊かな自然環境が多いから	近隣に商店や病院などが充実し、生活する上で便利だから	通勤・通学や買い物の利便性が高いから	娯楽や文化などの生活の楽しみがあるから	市民講座等があるから	保健・医療・福祉などのサービスが充実しているから	子どもの教育環境が良いから	地域に愛着があるから	職場が近いから	NPOなどボランティア団体の活動が活発で、まちづくりに参加しやすいから	公園などが多く、気軽に集える場所が多いから	防災・防犯の取組が進んでいて安心できるから	その他	無回答
全体	【n=968】	35.2	25.7	20.2	2.1	0.3	2.5	2.9	40.6	9.8	0.7	0.7	0.7	15.1	2.1
男性・年齢別	男性全体 【n=424】	38.4	21.0	19.1	1.9	0.2	1.7	3.3	43.9	11.1	1.2	0.9	1.2	12.7	2.1
	30歳未満 【n=43】	25.6	14.0	25.6	4.7	0.0	2.3	2.3	44.2	25.6	0.0	2.3	0.0	2.3	0.0
	30歳代 【n=57】	28.1	12.3	26.3	3.5	0.0	0.0	0.0	35.1	21.1	0.0	3.5	0.0	17.5	3.5
	40歳代 【n=65】	23.1	24.6	29.2	0.0	0.0	0.0	6.2	38.5	15.4	0.0	0.0	0.0	9.2	3.1
	50歳代 【n=66】	37.9	24.2	22.7	0.0	0.0	0.0	6.1	33.3	16.7	0.0	0.0	0.0	16.7	1.5
	60歳代 【n=125】	45.6	20.8	12.0	3.2	0.0	0.8	2.4	53.6	2.4	2.4	0.0	3.2	14.4	2.4
	70歳以上 【n=67】	58.2	26.9	9.0	0.0	1.5	7.5	3.0	49.3	0.0	3.0	1.5	1.5	11.9	0.0
女性・年齢別	女性全体 【n=530】	32.1	29.6	21.1	2.3	0.4	2.8	2.6	38.3	9.1	0.4	0.6	0.4	17.2	1.7
	30歳未満 【n=59】	18.6	25.4	25.4	1.7	0.0	0.0	5.1	50.8	13.6	0.0	0.0	0.0	16.9	1.7
	30歳代 【n=74】	27.0	20.3	27.0	1.4	1.4	1.4	6.8	23.0	17.6	0.0	0.0	0.0	25.7	4.1
	40歳代 【n=93】	35.5	26.9	32.3	1.1	0.0	0.0	0.0	26.9	5.4	0.0	1.1	0.0	20.4	0.0
	50歳代 【n=83】	33.7	32.5	16.9	3.6	0.0	3.6	2.4	32.5	15.7	0.0	0.0	0.0	18.1	0.0
	60歳代 【n=143】	34.3	35.7	18.9	2.8	0.7	4.2	2.1	40.6	5.6	0.0	0.7	0.7	15.4	0.7
	70歳以上 【n=78】	37.2	30.8	7.7	2.6	0.0	6.4	1.3	59.0	1.3	2.6	1.3	1.3	7.7	5.1
地域別	八幡地域 【n=275】	38.2	22.2	15.6	1.8	0.7	4.0	2.5	43.3	8.7	0.7	0.7	0.4	14.2	2.9
	八幡東地域 【n=259】	30.1	32.0	25.1	2.7	0.0	2.3	1.9	39.4	9.3	0.4	1.2	1.2	15.1	1.5
	八幡西地域 【n=279】	34.1	29.0	24.0	1.4	0.4	1.8	2.2	36.2	10.8	1.4	0.4	0.7	14.3	2.5
	安土地域 【n=153】	41.2	15.0	13.7	2.6	0.0	1.3	6.5	46.4	11.1	0.0	0.7	0.7	18.3	0.0

(7) 転居したい理由（問 20）

■ 全体傾向

- ・ 市外に転居したい理由としては、「通勤・通学や買い物等をする上で交通の便が良くないから」（26.9%）、「保健・医療・福祉などのサービスが充実していないから」（25.3%）、「地域に愛着を感じないから」（24.1%）の順で回答が多い。
- ・ その他の理由として、「家族の近くに住みたいから」、「希望する仕事がないから」といった回答が多く見られた。

■ 属性別傾向

（性・年齢別）

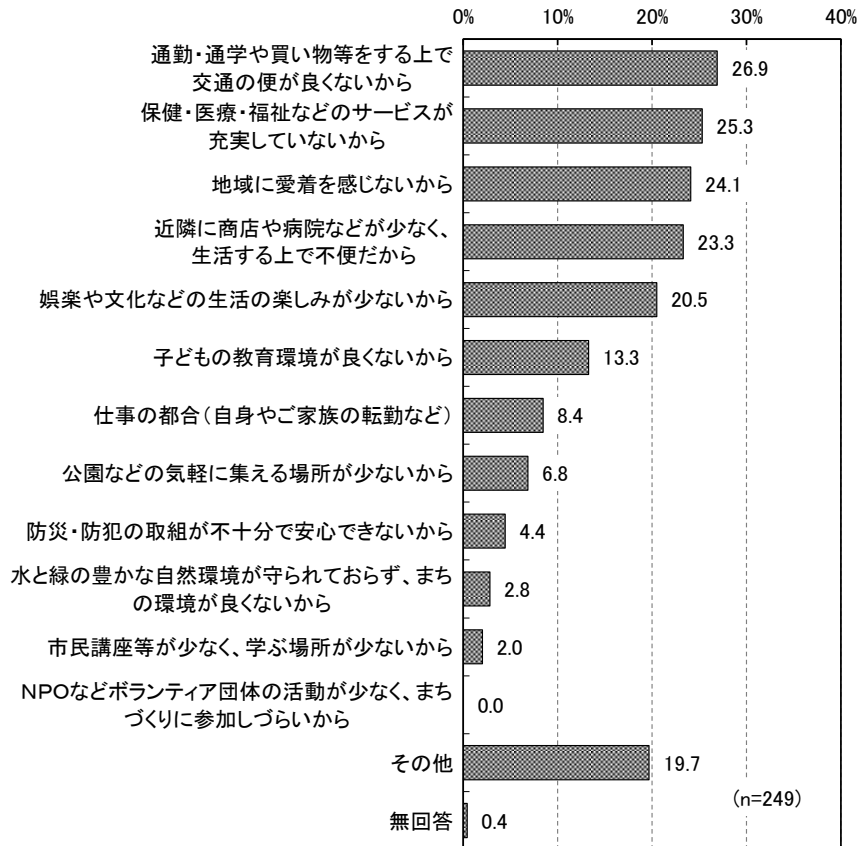
- ・ 転居したい理由として、性別・年齢別を問わず、ほとんどの区分において、「地域に愛着を感じないから」という回答が上位になっている。
- ・ 男女別で見ると、男性の転居したい理由で最も多かった回答は「通勤・通学や買い物等をする上で交通の便が良くないから」であり、女性の転居したい理由で最も多かった回答は「保健・医療・福祉などのサービスが充実していないから」である。
- ・ 男女を問わず、世代が上がるほど転居したい理由として「近隣に商店や病院などが少なく、生活する上で不便だから」という回答が上位になっている。
- ・ 30 歳代及び 40 歳代の女性については、男性や女性の他の世代と比較すると、転居したい理由として「子どもの教育環境が良くないから」という回答の割合が高くなっている。

（居住地別）

- ・ 転居したい理由を地域別に見ると、八幡地域と八幡東地域については、他の地域と比較すると、「娯楽や文化などの生活の楽しみが少ないから」という回答の割合が高くなっている。
- ・ また、八幡東地域については、他の地域と比較すると、転居したい理由として「地域に愛着を感じないから」という回答の割合は低く、一方で「通勤・通学や買い物等をする上で交通の便が良くないから」、「保健・医療・福祉などのサービスが充実していないから」といった日常生活に関わる理由を挙げる回答の割合が高い。
- ・ 安土地域については、「近隣に商店や病院などが少なく、生活する上で不便だから」や「通勤・通学や買い物等をする上で交通の便が良くないから」といった利便性に関わる理由を挙げる回答の割合が 30%を超えている。

図表Ⅲ－７ 市外に転居したい理由(複数回答)

【全体傾向】



【属性別傾向】

		環境が良くないから	水と緑の豊かな自然環境が守られておらず、まちな環境が良くないから	近隣に商店や病院などが少なく、生活する上で不便だから	通勤・通学や買い物が便利で、生活の楽しみが少ないから	娯楽や文化などの生活の楽しみが少ないから	市民講座等が少なく、学ぶ場所が少ないから	保健・医療・福祉などのサービスが充実していないから	子どもの教育環境が良くないから	地域に愛着を感じないから	仕事の都合(自身やご家族の転勤など)	体の活動が少なく、まちづくりに参加しづらいから	NPOなどボランティア団体の活動が少なく、まちづくりに参加しづらいから	公園などの気軽に集える場所が少ないから	防災・防犯の取組が不十分で安心できないから	その他	無回答
全体	【n=249】	2.8	23.3	26.9	20.5	2.0	25.3	13.3	24.1	8.4	0.0	6.8	4.4	19.7	0.4		
男性・年齢別	男性全体	【n=105】	1.9	21.9	31.4	23.8	2.9	19.0	8.6	28.6	6.7	0.0	7.6	6.7	21.0	1.0	
	30歳未満	【n=18】	0.0	27.8	55.6	5.6	0.0	16.7	0.0	27.8	11.1	0.0	0.0	11.1	16.7	0.0	
	30歳代	【n=19】	0.0	5.3	26.3	36.8	0.0	15.8	21.1	31.6	10.5	0.0	5.3	5.3	10.5	0.0	
	40歳代	【n=12】	0.0	8.3	25.0	41.7	0.0	16.7	8.3	25.0	0.0	0.0	8.3	0.0	33.3	0.0	
	50歳代	【n=18】	0.0	22.2	44.4	22.2	0.0	11.1	5.6	27.8	16.7	0.0	5.6	0.0	22.2	0.0	
	60歳代	【n=24】	4.2	33.3	20.8	16.7	12.5	33.3	12.5	33.3	0.0	0.0	16.7	8.3	25.0	0.0	
	70歳以上	【n=14】	7.1	28.6	14.3	28.6	0.0	14.3	0.0	21.4	0.0	0.0	7.1	14.3	21.4	7.1	
女性・年齢別	女性全体	【n=137】	3.6	24.1	21.9	19.0	1.5	29.9	16.8	21.2	9.5	0.0	6.6	2.9	19.0	0.0	
	30歳未満	【n=32】	3.1	18.8	25.0	28.1	0.0	12.5	9.4	15.6	25.0	0.0	3.1	0.0	25.0	0.0	
	30歳代	【n=40】	0.0	10.0	22.5	20.0	0.0	45.0	32.5	25.0	5.0	0.0	5.0	5.0	15.0	0.0	
	40歳代	【n=21】	14.3	19.0	9.5	9.5	9.5	28.6	28.6	19.0	9.5	0.0	9.5	0.0	19.0	0.0	
	50歳代	【n=23】	0.0	43.5	30.4	13.0	0.0	34.8	4.3	13.0	4.3	0.0	4.3	4.3	13.0	0.0	
	60歳代	【n=14】	0.0	35.7	21.4	14.3	0.0	21.4	0.0	35.7	0.0	0.0	14.3	0.0	28.6	0.0	
	70歳以上	【n=7】	14.3	57.1	14.3	28.6	0.0	28.6	0.0	28.6	0.0	0.0	14.3	14.3	14.3	0.0	
地域別	八幡地域	【n=70】	5.7	24.3	15.7	24.3	1.4	22.9	17.1	30.0	5.7	0.0	10.0	4.3	17.1	0.0	
	八幡東地域	【n=68】	0.0	20.6	33.8	27.9	4.4	29.4	17.6	14.7	2.9	0.0	2.9	8.8	25.0	0.0	
	八幡西地域	【n=68】	2.9	17.6	29.4	14.7	0.0	25.0	8.8	26.5	13.2	0.0	7.4	1.5	23.5	0.0	
	安土地域	【n=39】	2.6	35.9	33.3	10.3	2.6	23.1	5.1	28.2	10.3	0.0	7.7	2.6	10.3	2.6	

2. 近江八幡市のまちづくりについて(問 21～問 22)

(1) 分析の方法

① まちづくりの満足度・重要度の全項目比較（全体傾向）

満足度については、まちづくりの項目ごとに「大変満足」、「満足」、「どちらともいえない」、「不満」、「大変不満」のそれぞれの回答割合を集計し、重要度については、近江八幡市にとって今後 10 年間で特に力を入れて取り組むべきだと思う項目の割合を集計し、それぞれ傾向を分析する。

② 満足度・重要度の属性別比較（属性別傾向）

上記まちづくりの満足度・重要度について、性・年齢別及び居住地別（属性別）に集計し、属性別の傾向を分析する。ただし、属性ごとに回答率が異なることから、満足度については属性ごとの平均値（平均満足度）を、重要度については属性ごとの回答率を用いて分析することとする（算定方法については後述のとおり）。

ア.平均満足度の算出方法

平均満足度の算出に当たっては、「大変満足」の値を 5、以下「満足」、「どちらともいえない」、「不満」、「大変不満」の値をそれぞれ順に 4、3、2、1 とし、属性別・項目別に足して得た値を属性ごとの回答総数で除して得た値を平均満足度とする（「無回答」は除く。）。ただし、小数点第 3 位以下を四捨五入することとする。

イ.重要度の算出方法

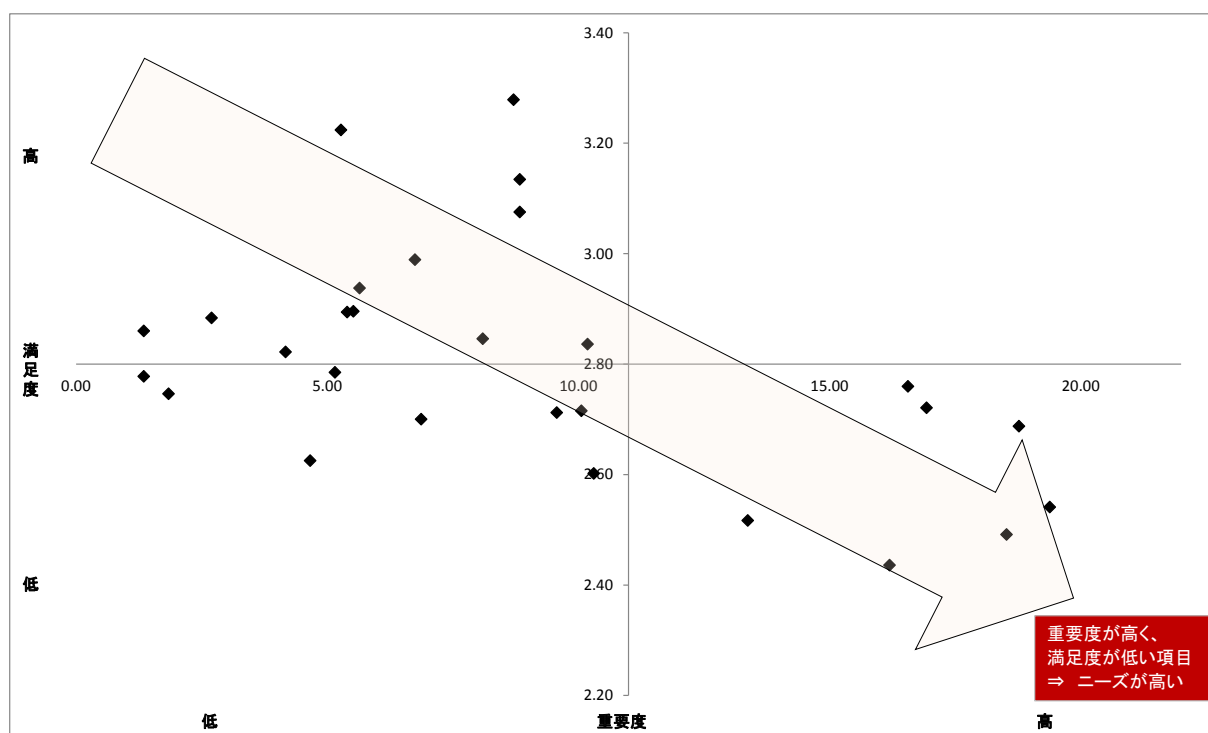
重要度の算出に当たっては、項目ごとに「無回答」を除く属性別の回答割合（単位：％）を算出し、回答割合の値を重要度とする。ただし、小数点第 3 位以下を四捨五入することとする（例：回答割合が 20.835・・・％の場合、重要度は 20.84）。

③ 市民ニーズ分析（満足度×重要度）

まちづくりの各項目に対する市民ニーズの高低を視覚的に把握できるように、上記の満足度と重要度の相関関係を散布図で示し、分析を行う。

図表Ⅲ－8「満足度と重要度による市民ニーズ分析イメージ」にあるとおり、重要度を横軸に、満足度を縦軸にとり、各項目の点数を座標上に図示する。これにより、重要度の高低、満足度の高低により大きく 4 つの領域に分類することができ、図の右下の領域に図示される項目ほど、重要度が高く、満足度が低いものとなるため、市民のニーズが高い項目であり、より取組を進めるべき課題であるといえる。

図表Ⅲ－８ 満足度と重要度による市民ニーズ分析イメージ

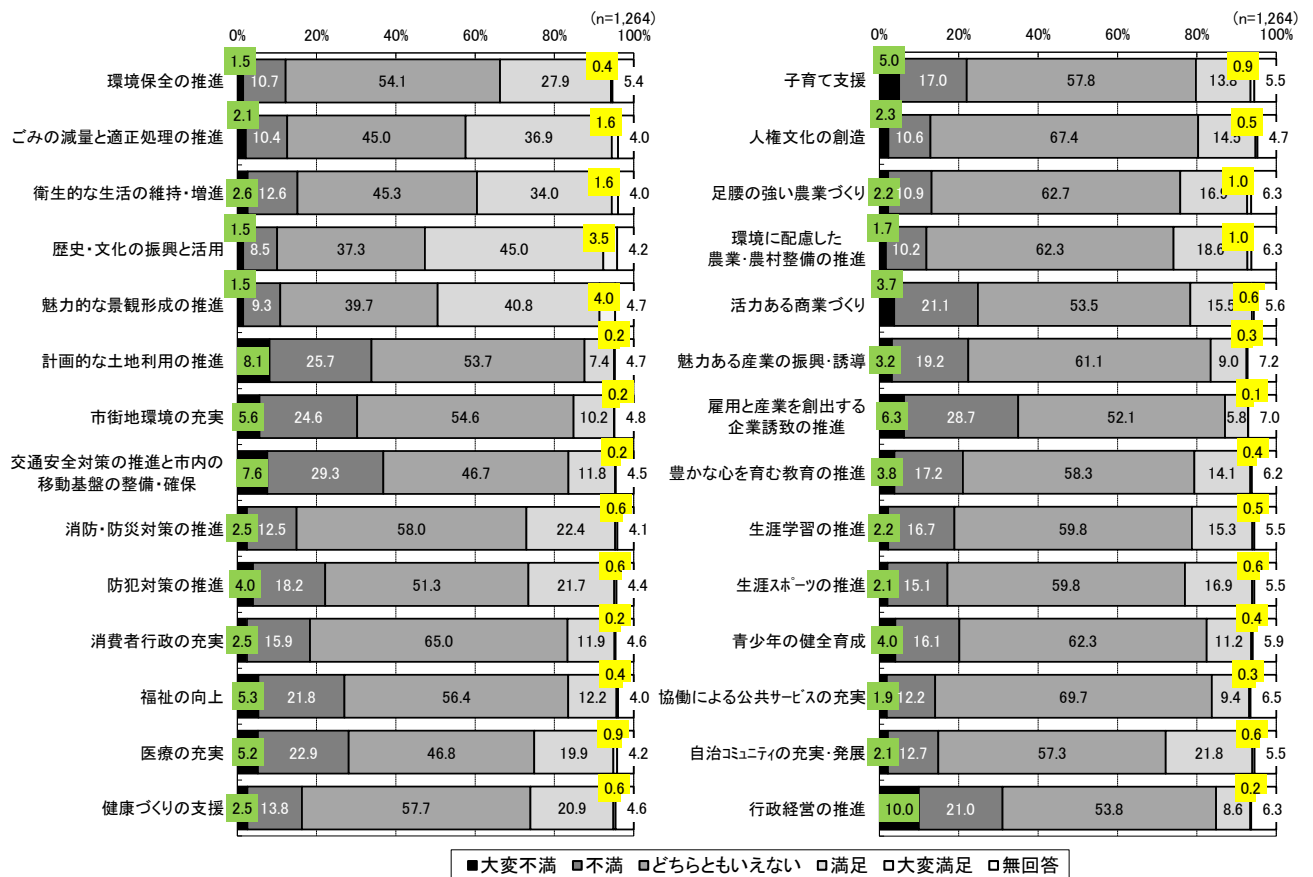


(2) まちづくりの満足度・重要度の全項目比較

① まちづくりの満足度

- ・ 近江八幡市のまちづくりの満足度について、分野ごとに尋ねたところ、「大変満足」又は「満足」と回答した市民の割合は、「歴史・文化の振興と活用」、「魅力的な景観形成の推進」、「ごみの減量と適正処理の推進」、「衛生的な生活の維持・増進」の順に多い。
- ・ 一方、「大変不満」又は「不満」と回答した市民の割合は、「交通安全対策の推進と市内の移動基盤の整備・確保」、「雇用と産業を創出する企業誘致の推進」、「計画的な土地利用の推進」、「行政経営の推進」、「市街地環境の充実」の順に多い。
- ・ 平均満足度については、5段階評価の中間に当たる「3.00」を超える項目については、「ごみの減量と適正処理の推進」、「衛生的な生活の維持・増進」、「歴史・文化の振興と活用」、「魅力的な景観形成の推進」の4つの項目しかない。

図表Ⅲ－ 9 「まちづくり」の取組に対する満足度(複数回答)



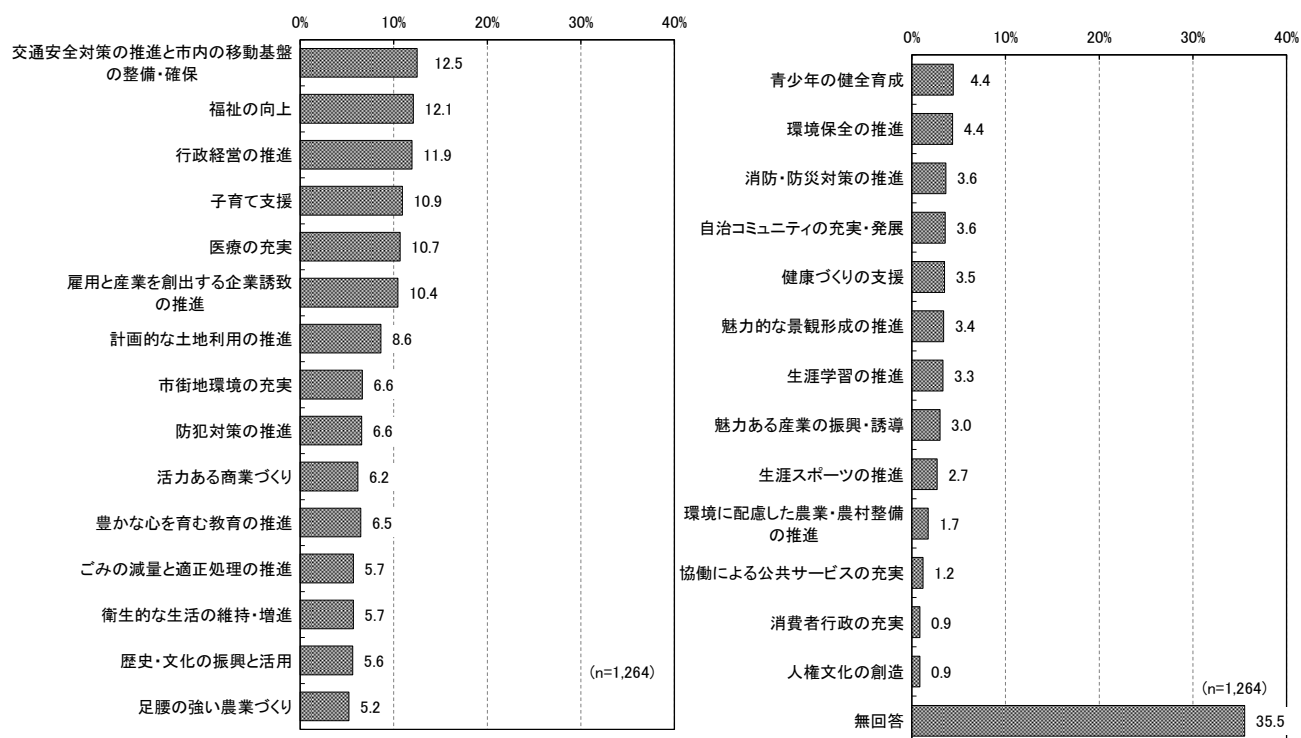
図表Ⅲ－10 「まちづくり」の取組に対する平均満足度

		全体
豊かな自然・歴史・文化	環境保全の推進	2.99
	ごみの減量と適正処理の推進	3.13
	衛生的な生活の維持・増進	3.08
	歴史・文化の振興と活用	3.28
	魅力的な景観形成の推進	3.22
安全・安心な生活基盤	計画的な土地利用の推進	2.52
	市街地環境の充実	2.60
	交通安全対策の推進と市内の移動基盤の整備・確保	2.54
	消防・防災対策の推進	2.94
	防犯対策の推進	2.84
	消費者行政の充実	2.78
保健・医療・福祉	福祉の向上	2.69
	医療の充実	2.76
	健康づくりの支援	2.89
	子育て支援	2.72
	人権文化の創造	2.86
農業・産業	足腰の強い農業づくり	2.85
	環境に配慮した農業・農村整備の推進	2.88
	活力ある商業づくり	2.71
	魅力ある産業の振興・誘導	2.63
	雇用と産業を創出する企業誘致の推進	2.44
スポーツ・教育	豊かな心を育む教育の推進	2.72
	生涯学習の推進	2.78
	生涯スポーツの推進	2.82
	青少年の健全育成	2.70
地域協働・経営	協働による公共サービスの充実	2.75
	自治コミュニティの充実・発展	2.90
	行政経営の推進	2.49
合計		78.49

② 今後のまちづくりの重要度

- 今後の 10 年間で特に力を入れるべき取組については、まちづくりへの不満の割合が高い「交通安全対策の推進と市内の移動基盤の整備・確保」(12.5%)を挙げる回答が最も多く、次いで「福祉の向上」(12.1%)、「行政経営の推進」(11.9%)を挙げる回答が多い。

図表Ⅲ－11 今後の 10 年間で特に力を入れるべき取組(複数回答)



図表Ⅲ－12 「まちづくり」の取組に対する重要度(無回答を除く。)

		全体
豊かな自然・歴史・文化	環境保全の推進	6.75
	ごみの減量と適正処理の推進	8.83
	衛生的な生活の維持・増進	8.83
	歴史・文化の振興と活用	8.71
	魅力的な景観形成の推進	5.28
安全・生活基盤・安心な	計画的な土地利用の推進	13.37
	市街地環境の充実	10.31
	交通安全対策の推進と市内の移動基盤の整備・確保	19.39
	消防・防災対策の推進	5.64
	防犯対策の推進	10.18
	消費者行政の充実	1.35
保健・福祉・医療・	福祉の向上	18.77
	医療の充実	16.56
	健康づくりの支援	5.40
	子育て支援	16.93
	人権文化の創造	1.35
農業・産業	足腰の強い農業づくり	8.10
	環境に配慮した農業・農村整備の推進	2.70
	活力ある商業づくり	9.57
	魅力ある産業の振興・誘導	4.66
	雇用と産業を創出する企業誘致の推進	16.20
スポーツ・教育・	豊かな心を育む教育の推進	10.06
	生涯学習の推進	5.15
	生涯スポーツの推進	4.17
	青少年の健全育成	6.87
地域協働・経営	協働による公共サービスの充実	1.84
	自治コミュニティの充実・発展	5.52
	行政経営の推進	18.53

③ 今後のまちづくりの重要度に関する自由回答

ア.豊かな自然・歴史・文化に関する回答（246 件）

1. 環境保全の推進（41 件）

- ・ 外来種（魚、動物）の駆除対策。

2. ごみの減量と適正処理の推進（58 件）

- ・ 資源を大切に、リサイクルできるものはリユースし、守り続けてほしい。

3. 衛生的な生活の維持・増進（53 件）

- ・ 各自の生活排水の意識の低さと、農薬のためか水が臭い。
- ・ 各河川の水質が非常に悪い。
- ・ 夏場、水道水の悪臭がひどい。

4. 歴史・文化の振興と活用（59 件）

- ・ 歴史的建造物、文化等もっと有効活用を図り、より一層アイディアを出してほしい。

5. 魅力的な景観形成の推進（35 件）

- ・ 近江商人の町並み、水郷はドラマでも使われたりしているので景観維持してほしい。

イ.安全・安心な生活基盤に関する回答（411 件）

6. 計画的な土地利用の推進（92 件）

- ・ 空き家、空地対策を進めてほしい。
- ・ 空洞化してきている地域の活性、空き家、施設を有効に活用。
- ・ 市街化調整区域の開発が進んでおり、コンパクトなまちづくりができていない。

7. 市街地環境の充実（67 件）

- ・ 中心地外の地域は、なかなか発展しない。もっと、市域の境界に住む地域の改善に取り組んでほしい。
- ・ 道路整備が遅れている。

8. 交通安全対策の推進と市内の移動基盤の整備・確保（136 件）

- ・ 通学路の整備、道路の整備。
- ・ あかこんバスは利便性があり良いと思うが、車イスでの乗降は難しいので、車イス対応の軽自動車のレンタルや、送迎（介護タクシーより安い）の提案。
- ・ 市内の道路がガタガタで自転車も乗りにくい。

9. 消防・防災対策の推進（35 件）

- ・ 各地で災害がニュースになっているので、対策を進めるようお願いしたい。
- ・ 大災害に備えて自助共助公助が充実してほしい。

10. 防犯対策の推進（72 件）

- ・ 街灯を増やしてほしい。
- ・ 防犯灯は繁華街や駅前に集中しているので、それ以外にも作ってほしい。

11. 消費者行政の充実（9 件）

- ・ 広報などで市民に分かりやすく教えてもらいたい。独居の高齢者など、困りごとを抱えていそうな方には気にかけてあげてほしい。

ウ.保健・医療・福祉に関する回答（362 件）

1 2. 福祉の向上（111 件）

- ・ 老人介護施設の充実。
- ・ 老後・障がい者支援がまだ不十分。
- ・ 障がいがある人が生活しやすいとは感じない（音が出る信号機の数・道路の段差の多さなど）。
- ・ 医療センターへ行くのに公共交通機関を含め便数が少なすぎる。

1 3. 医療の充実（98 件）

- ・ 医療センターと各医療機関の連絡網の動きがスムーズにとれず鈍い。
- ・ 学区内に医療機関がなく、車が乗れなくなったらどうすれぱと思う。
- ・ 小学生、中学生の医療費を安くしてほしい。
- ・ 医療機関（病院・医院）各科をもっと増やしてほしい。

1 4. 健康づくりの支援（33 件）

- ・ 健康づくりができるスペース（ジム・プール）が市内に少ない。

1 5. 子育て支援（109 件）

- ・ 子育ての悩みを気軽に相談でき、安心して子どもを預けられる所を増やしてほしい。
- ・ 待機児童の解消に努力してほしい。

1 6. 人権文化の創造（11 件）

- ・ 男女共に（特に若い人が）活躍できる町。又、高齢者が生き生きとした生活ができる。

エ.農業・産業に関する回答（263 件）

1 7. 足腰の強い農業づくり（57 件）

- ・ 農業離れの原因に対する有効な策を講じてもらいたい。

1 8. 環境に配慮した農業・農村整備の推進（18 件）

- ・ 農地の保全には大規模化だけでなく、小規模、零細農家の存続が重要なポイントである。

1 9. 活力ある商業づくり（61 件）

- ・ 八幡商人の精神が見えるように地場産業を作り上げてもらい、外国人が来訪して学んで帰れる町にしてほしい。

2 0. 魅力ある産業の振興・誘導（30 件）

- ・ 若者が地元で仕事出来る様に。
- ・ 旧市内の空き家対策、魅力ある商家町づくり再生。企業家支援、個人ベースでなく滋賀大学と協力。

2 1. 雇用と産業を創出する企業誘致の推進（97 件）

- ・ 工業用地がないとのことだが、既存の工業用地を活用して、有望分野（医療・AI）の企業誘致や企業転向をのばすべき。
- ・ 企業を誘致し、雇用の安定的確保に努めてほしい。

オ.教育・スポーツに関する回答（176 件）

2 2. 豊かな心を育む教育の推進（66 件）

- ・ 今の子どもは忙しい。でも、豊かな心が育つ教育を進めてほしい。

2 3. 生涯学習の推進（36 件）

- ・ 生涯学習出来る様な場をもっと広げてほしい。市民大学講座など募って頂きたい。

2 4. 生涯スポーツの推進（28 件）

- ・ スポーツ施設がほしい。

2 5. 青少年の健全育成（46 件）

- ・ 青少年の非行防止に、より力を入れて欲しい。

カ.協働・地域経営に関する回答（172 件）

2 6. 協働による公共サービスの充実（10 件）

- ・ 活動はしていると思うが届いていない。
- ・ 公共サービスの充実に取り組んでほしい。
- ・ 市民が協働して行う事業や協働してほしい事業は積極的に支援し、継続できるようにすべき。

2 7. 自治コミュニティの充実・発展（39 件）

- ・ 自治会脱退が増えている。高齢者世帯が多いからこそ自治会加入が必要。
- ・ 自治コミュニティが高齢化してきているので、現在のような活動が難しいと思われる。新しい自治会活動の検討が必要。

2 8. 行政経営の推進（123 件）

- ・ 選挙をする場所が遠くなったので、まずいと思う。
- ・ 市民の視点に立った行政の推進。

(3) まちづくりの満足度・重要度の属性別比較

① まちづくりの満足度

(性・年齢別)

- ・ 平均満足度の合計を見ると、男女とも、世代が上がるにつれて合計満足度が下がっていく傾向にある。
- ・ 世代ごとに平均満足度の高い取組を見ると、男女を問わず、ほとんどの世代において「歴史・文化の振興と活用」、「魅力的な景観形成の推進」、「ごみの減量と適正処理の推進」といった「豊かな自然・歴史・文化」に関する項目が上位を占めている。
- ・ また、男女の全体における各項目の平均満足度について、5段階評価の中間に当たる「3.00」を超えている項目は、「豊かな自然・歴史・文化」に関する取組以外の取組には見られない。
- ・ ほとんどの世代の男性において、「雇用と産業を創出する企業誘致の推進」、「計画的な土地利用の推進」に対する平均満足度が低い状況にある。
- ・ これらの取組に次いで、「交通安全対策の推進と市内の移動基盤の整備・確保」が平均満足度の低い取組となっている。
- ・ 一方、ほとんどの世代の女性において、「雇用と産業を創出する企業誘致の推進」、「行政経営の推進」の取組に対する平均満足度が低い状況にある。
- ・ また、30歳代の女性において、「子育て支援」に対する満足度が下位に位置している。

(居住地別)

- ・ すべての地域において、「ごみの減量と適正処理の推進」、「歴史・文化の振興と活用」、「魅力的な景観形成の推進」の取組に対する平均満足度が上位3つに入っている。
- ・ 一方で、すべての地域において下位3つの中に入っている取組が「雇用と産業を創出する企業誘致の推進」である。
- ・ 次いで、「計画的な土地利用の推進」、「行政経営の推進」、「交通安全対策の推進と市内の移動基盤の整備・確保」の取組が、ほとんどの地域において平均満足度が低い状況にある。

図表Ⅲ－13 「まちづくり」の取組に対する平均満足度(属性別)

【男性】

		男性・年齢別						
		男性全体	30歳未満	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
豊かな自然・歴史・文化	環境保全の推進	2.95	3.10	3.11	3.03	3.02	2.91	2.67
	ごみの減量と適正処理の推進	3.15	3.26	3.27	3.06	3.00	3.17	3.15
	衛生的な生活の維持・増進	3.12	3.22	3.22	3.09	3.03	3.16	2.98
	歴史・文化の振興と活用	3.23	3.62	3.38	3.42	3.24	3.12	2.87
	魅力的な景観形成の推進	3.17	3.68	3.29	3.39	3.11	3.04	2.80
安全・安心な生活・基盤	計画的な土地利用の推進	2.50	2.76	2.75	2.64	2.39	2.40	2.30
	市街地環境の充実	2.56	2.78	2.68	2.58	2.53	2.48	2.43
	交通安全対策の推進と市内の移動基盤の整備・確保	2.54	2.81	2.57	2.50	2.50	2.52	2.42
	消防・防災対策の推進	2.95	3.24	3.07	2.93	2.90	2.90	2.77
	防犯対策の推進	2.85	2.90	3.06	2.69	2.75	2.81	2.93
	消費者行政の充実	2.75	2.93	2.82	2.82	2.76	2.70	2.58
保健・福祉・医療	福祉の向上	2.65	2.87	2.75	2.64	2.59	2.59	2.57
	医療の充実	2.83	3.08	2.90	2.82	2.75	2.78	2.77
	健康づくりの支援	2.87	3.18	2.94	2.90	2.93	2.78	2.67
	子育て支援	2.72	2.97	2.83	2.72	2.76	2.69	2.49
	人権文化の創造	2.88	3.07	2.95	2.82	2.94	2.82	2.76
農業・産業	足腰の強い農業づくり	2.82	3.16	3.08	2.91	2.86	2.74	2.39
	環境に配慮した農業・農村整備の推進	2.87	3.16	3.13	2.88	2.87	2.81	2.50
	活力ある商業づくり	2.67	3.07	2.85	2.72	2.66	2.59	2.32
	魅力ある産業の振興・誘導	2.61	2.97	2.91	2.56	2.57	2.54	2.25
	雇用と産業を創出する企業誘致の推進	2.45	2.84	2.67	2.50	2.32	2.41	2.11
スポーツ・教育	豊かな心を育む教育の推進	2.73	3.07	2.86	2.64	2.74	2.64	2.57
	生涯学習の推進	2.81	3.03	2.87	2.72	2.85	2.77	2.70
	生涯スポーツの推進	2.84	3.11	2.84	2.77	2.89	2.82	2.69
	青少年の健全育成	2.77	3.07	2.70	2.64	2.67	2.88	2.65
地域協働・経営	協働による公共サービスの充実	2.79	3.05	2.91	2.82	2.76	2.77	2.54
	自治コミュニティの充実・発展	2.94	3.02	2.99	2.86	2.86	2.99	2.86
	行政経営の推進	2.54	2.89	2.62	2.48	2.46	2.52	2.40
合計		78.56	85.86	81.98	78.54	77.71	77.35	73.14

【女性】

		女性・年齢別						
		女性全体	30歳未満	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
豊かな自然・歴史・文化	環境保全の推進	3.03	3.23	3.26	3.06	3.15	2.88	2.70
	ごみの減量と適正処理の推進	3.15	3.22	3.17	3.20	3.14	3.18	2.96
	衛生的な生活の維持・増進	3.07	3.11	3.06	3.13	3.16	3.12	2.76
	歴史・文化の振興と活用	3.34	3.61	3.54	3.36	3.36	3.28	2.89
	魅力的な景観形成の推進	3.29	3.57	3.44	3.43	3.31	3.20	2.79
安全・安心な生活・基盤	計画的な土地利用の推進	2.55	2.88	2.69	2.51	2.54	2.45	2.26
	市街地環境の充実	2.66	2.90	2.76	2.69	2.68	2.60	2.39
	交通安全対策の推進と市内の移動基盤の整備・確保	2.57	2.82	2.56	2.59	2.50	2.58	2.40
	消防・防災対策の推進	2.95	3.09	2.98	2.99	3.01	2.90	2.79
	防犯対策の推進	2.85	2.95	2.79	2.80	2.84	2.95	2.73
	消費者行政の充実	2.82	3.01	2.98	2.93	2.82	2.72	2.50
保健・福祉・医療	福祉の向上	2.73	2.85	2.85	2.75	2.65	2.67	2.67
	医療の充実	2.72	2.88	2.75	2.74	2.72	2.70	2.55
	健康づくりの支援	2.94	3.16	3.04	3.00	2.95	2.89	2.60
	子育て支援	2.75	2.87	2.61	2.88	2.92	2.77	2.43
	人権文化の創造	2.87	3.11	2.99	2.93	2.89	2.80	2.54
農業・産業	足腰の強い農業づくり	2.89	3.23	3.27	3.01	2.91	2.74	2.24
	環境に配慮した農業・農村整備の推進	2.92	3.25	3.28	3.02	2.97	2.75	2.34
	活力ある商業づくり	2.78	3.06	3.03	2.99	2.72	2.68	2.16
	魅力ある産業の振興・誘導	2.67	3.01	2.92	2.83	2.72	2.53	2.03
	雇用と産業を創出する企業誘致の推進	2.45	2.83	2.68	2.58	2.49	2.36	1.78
スポーツ・教育	豊かな心を育む教育の推進	2.73	3.04	2.70	2.85	2.79	2.70	2.34
	生涯学習の推進	2.78	3.07	2.89	2.84	2.86	2.68	2.42
	生涯スポーツの推進	2.83	3.06	3.05	2.95	2.91	2.69	2.37
	青少年の健全育成	2.67	2.89	2.70	2.75	2.79	2.59	2.35
地域協働・経営	協働による公共サービスの充実	2.73	2.98	2.95	2.90	2.85	2.61	2.13
	自治コミュニティの充実・発展	2.90	3.07	3.16	2.97	2.93	2.82	2.45
	行政経営の推進	2.47	2.79	2.49	2.53	2.55	2.42	2.09
合計		79.13	85.52	82.57	81.16	80.13	77.28	68.65

【居住地別】

		全体 (再掲)	地域別			
			八幡地域	八幡東地域	八幡西地域	安土地域
豊かな自然・ 歴史・文化	環境保全の推進	2.99	2.99	3.01	2.95	3.03
	ごみの減量と適正処理の推進	3.13	3.09	3.19	3.12	3.16
	衛生的な生活の維持・増進	3.08	3.03	3.15	3.03	3.10
	歴史・文化の振興と活用	3.28	3.32	3.35	3.26	3.13
	魅力的な景観形成の推進	3.22	3.22	3.31	3.21	3.10
安全・安心な 生活基盤	計画的な土地利用の推進	2.52	2.49	2.56	2.48	2.53
	市街地環境の充実	2.60	2.56	2.63	2.59	2.64
	交通安全対策の推進と市内の移動基盤の整備・確保	2.54	2.50	2.55	2.56	2.58
	消防・防災対策の推進	2.94	2.92	2.94	2.92	2.98
	防犯対策の推進	2.84	2.77	2.85	2.85	2.90
	消費者行政の充実	2.78	2.79	2.79	2.75	2.78
保健・医療・ 福祉	福祉の向上	2.69	2.67	2.72	2.63	2.76
	医療の充実	2.76	2.76	2.73	2.75	2.81
	健康づくりの支援	2.89	2.93	2.94	2.83	2.86
	子育て支援	2.72	2.68	2.78	2.66	2.78
	人権文化の創造	2.86	2.84	2.84	2.87	2.91
農業・産業	足腰の強い農業づくり	2.85	2.88	2.88	2.80	2.80
	環境に配慮した農業・農村整備の推進	2.88	2.92	2.92	2.81	2.88
	活力ある商業づくり	2.71	2.69	2.81	2.68	2.66
	魅力ある産業の振興・誘導	2.63	2.67	2.69	2.54	2.58
	雇用と産業を創出する企業誘致の推進	2.44	2.43	2.45	2.38	2.52
スポーツ・ 教育	豊かな心を育む教育の推進	2.72	2.74	2.69	2.66	2.81
	生涯学習の推進	2.78	2.82	2.79	2.72	2.81
	生涯スポーツの推進	2.82	2.86	2.81	2.81	2.79
	青少年の健全育成	2.70	2.71	2.69	2.69	2.74
地域協働・ 経営	協働による公共サービスの充実	2.75	2.78	2.76	2.70	2.73
	自治コミュニティの充実・発展	2.90	2.91	2.95	2.86	2.84
	行政経営の推進	2.49	2.50	2.54	2.43	2.49
合計		78.49	78.47	79.34	77.55	78.69

② 今後のまちづくりの重要度

(性・年齢別)

- ・ 男女を問わず、ほとんどの世代において、「交通安全対策の推進と市内の移動基盤の整備・確保」、「福祉の向上」に関する項目が重要度の高い取組として上位を占めている。
- ・ 逆に、男女を問わず、ほとんどの世代において、「教育・スポーツ」や「協働・地域経営」に関する項目に掲げられている取組や、「消費者行政の充実」、「人権文化の創造」の取組に対する重要度が比較的低くなっている。
- ・ 世代別で見ると、男女を問わず、**30 歳代前後**の世代において、「子育て支援」の取組に対する重要度が特に高くなっている。
- ・ また、**40 歳代以上**の世代の男性において、「雇用と産業を創出する企業誘致の推進」の取組に対する重要度が高くなっている。
- ・ ほとんどの世代の女性において、「行政経営の推進」の取組に対する重要度が高くなっており、一方で農業に関する取組に対する重要度が低くなっている。

(居住地別)

- ・ すべての地域において、「交通安全対策の推進と市内の移動基盤の整備・確保」の取組に対する重要度が上位を占めており、次いで、「福祉の向上」、「行政経営の推進」の取組に対する重要度が多くの地域において上位を占めている。
- ・ また、八幡地域では「雇用と産業を創出する企業誘致の推進」、八幡東地域では「子育て支援」、八幡西地域では「医療の充実」の取組に対する重要度がそれぞれ上位に入っている。
- ・ 一方、すべての地域において「消費者行政の充実」の取組に対する重要度が下位を占めており、次いで、「人権文化の創造」、「協働による公共サービスの充実」の取組に対する重要度が多くの地域において下位を占めている。
- ・ また、八幡東地域及び八幡西地域では「環境に配慮した農業・農村整備の推進」の取組に対する重要度が下位に入っている。

図表Ⅲ－14 今後の10年間で特に力を入れるべき取組(属性別)

【男性】

		男性・年齢別						
		男性全体	30歳未満	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
豊かな自然・歴史・文化	環境保全の推進	9.12	4.76	6.38	6.25	8.00	9.52	16.95
	ごみの減量と適正処理の推進	5.70	7.14	6.38	4.17	8.00	6.67	1.69
	衛生的な生活の維持・増進	9.40	9.52	10.64	4.17	12.00	11.43	6.78
	歴史・文化の振興と活用	12.25	11.90	12.77	8.33	14.00	10.48	16.95
	魅力的な景観形成の推進	7.12	7.14	6.38	4.17	14.00	6.67	5.08
安全・安心な生活基盤	計画的な土地利用の推進	15.95	16.67	17.02	10.42	10.00	20.00	16.95
	市街地環境の充実	11.97	11.90	17.02	16.67	12.00	10.48	6.78
	交通安全対策の推進と市内の移動基盤の整備・確保	19.09	23.81	25.53	25.00	10.00	13.33	23.73
	消防・防災対策の推進	4.84	7.14	4.26	2.08	4.00	4.76	6.78
	防犯対策の推進	9.97	23.81	6.38	10.42	14.00	8.57	1.69
保健・福祉・医療	消費者行政の充実	1.71	2.38	4.26	0.00	4.00	0.00	1.69
	福祉の向上	17.09	19.05	4.26	20.83	22.00	16.19	20.34
	医療の充実	13.68	11.90	12.77	14.58	22.00	14.29	6.78
	健康づくりの支援	4.56	4.76	2.13	4.17	2.00	4.76	8.47
	子育て支援	14.53	9.52	25.53	16.67	10.00	14.29	11.86
農業・産業	人権文化の創造	0.57	0.00	0.00	0.00	0.00	0.95	1.69
	足腰の強い農業づくり	9.97	16.67	4.26	12.50	10.00	10.48	6.78
	環境に配慮した農業・農村整備の推進	3.13	0.00	2.13	4.17	2.00	3.81	5.08
	活力ある商業づくり	10.83	7.14	8.51	14.58	10.00	8.57	16.95
	魅力ある産業の振興・誘導	6.27	2.38	6.38	8.33	4.00	5.71	10.17
スポーツ・教育	雇用と産業を創出する企業誘致の推進	17.38	2.38	12.77	16.67	24.00	20.00	22.03
	豊かな心を育む教育の推進	8.55	7.14	14.89	8.33	8.00	7.62	6.78
	生涯学習の推進	4.27	0.00	0.00	6.25	2.00	8.57	3.39
	生涯スポーツの推進	4.27	4.76	0.00	10.42	4.00	3.81	3.39
	青少年の健全育成	5.98	11.90	12.77	4.17	8.00	0.95	5.08
地域経営・協働	協働による公共サービスの充実	2.28	2.38	2.13	0.00	4.00	2.86	1.69
	自治コミュニティの充実・発展	5.98	4.76	6.38	2.08	2.00	8.57	8.47
	行政経営の推進	16.52	11.90	23.40	14.58	20.00	15.24	15.25

【女性】

		女性・年齢別						
		女性全体	30歳未満	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
豊かな自然・歴史・文化	環境保全の推進	4.84	5.08	4.65	3.41	6.25	5.26	4.26
	ごみの減量と適正処理の推進	11.21	13.56	6.98	12.50	11.25	10.53	14.89
	衛生的な生活の維持・増進	8.57	6.78	9.30	10.23	7.50	8.42	8.51
	歴史・文化の振興と活用	6.15	13.56	1.16	7.95	7.50	5.26	2.13
	魅力的な景観形成の推進	3.96	5.08	3.49	7.95	2.50	3.16	0.00
安全・安心な生活基盤	計画的な土地利用の推進	11.21	6.78	11.63	7.95	13.75	15.79	8.51
	市街地環境の充実	9.01	5.08	9.30	7.95	11.25	9.47	10.64
	交通安全対策の推進と市内の移動基盤の整備・確保	19.34	11.86	19.77	19.32	13.75	27.37	21.28
	消防・防災対策の推進	6.15	8.47	4.65	6.82	5.00	7.37	4.26
	防犯対策の推進	10.55	20.34	8.14	9.09	11.25	9.47	6.38
	消費者行政の充実	1.10	3.39	0.00	2.27	0.00	1.05	0.00
保健・福祉・医療	福祉の向上	20.22	22.03	12.79	21.59	25.00	24.21	12.77
	医療の充実	18.90	13.56	19.77	25.00	23.75	14.74	12.77
	健康づくりの支援	6.15	3.39	4.65	5.68	10.00	4.21	10.64
	子育て支援	18.90	27.12	39.53	17.05	10.00	8.42	10.64
	人権文化の創造	1.98	1.69	1.16	2.27	3.75	1.05	2.13
農業・産業	足腰の強い農業づくり	6.59	10.17	1.16	2.27	7.50	9.47	12.77
	環境に配慮した農業・農村整備の推進	2.20	1.69	1.16	2.27	2.50	3.16	2.13
	活力ある商業づくり	8.35	6.78	6.98	4.55	15.00	6.32	12.77
	魅力ある産業の振興・誘導	3.30	3.39	4.65	1.14	6.25	3.16	0.00
	雇用と産業を創出する企業誘致の推進	14.95	11.86	10.47	23.86	13.75	13.68	14.89
スポーツ・教育	豊かな心を育む教育の推進	11.21	15.25	18.60	9.09	10.00	6.32	8.51
	生涯学習の推進	5.93	0.00	4.65	4.55	5.00	10.53	10.64
	生涯スポーツの推進	4.18	3.39	4.65	4.55	3.75	4.21	4.26
	青少年の健全育成	7.69	13.56	10.47	9.09	2.50	4.21	8.51
地域協働・経営	協働による公共サービスの充実	1.54	0.00	2.33	2.27	1.25	1.05	2.13
	自治コミュニティの充実・発展	5.27	3.39	4.65	1.14	6.25	7.37	10.64
	行政経営の推進	19.78	16.95	23.26	15.91	21.25	26.32	8.51

【居住地別】

		全体 (再掲)	地域別			
			八幡地域	八幡東地域	八幡西地域	安土地域
豊かな自然・ 歴史・文化	環境保全の推進	6.75	6.28	5.43	7.59	7.52
	ごみの減量と適正処理の推進	8.83	8.52	9.05	8.86	9.02
	衛生的な生活の維持・増進	8.83	8.97	8.14	10.55	6.77
	歴史・文化の振興と活用	8.71	8.52	7.69	7.59	12.78
	魅力的な景観形成の推進	5.28	6.28	4.07	5.49	5.26
安全・安心な 生活基盤	計画的な土地利用の推進	13.37	15.25	14.48	10.55	13.53
	市街地環境の充実	10.31	9.87	12.67	11.39	5.26
	交通安全対策の推進と市内の移動基盤の整備・確保	19.39	18.39	19.00	19.83	20.30
	消防・防災対策の推進	5.64	5.38	4.07	5.49	9.02
	防犯対策の推進	10.18	11.66	10.41	8.86	9.77
	消費者行政の充実	1.35	1.35	1.36	1.27	1.50
保健・医療・ 福祉	福祉の向上	18.77	14.35	17.65	18.99	27.82
	医療の充実	16.56	17.49	15.38	18.57	13.53
	健康づくりの支援	5.40	3.59	7.24	5.49	5.26
	子育て支援	16.93	17.04	18.10	16.03	16.54
	人権文化の創造	1.35	0.90	2.26	0.84	1.50
農業・産業	足腰の強い農業づくり	8.10	7.17	11.31	6.33	7.52
	環境に配慮した農業・農村整備の推進	2.70	2.69	1.36	2.11	6.02
	活力ある商業づくり	9.57	10.76	9.50	8.86	8.27
	魅力ある産業の振興・誘導	4.66	5.83	3.17	4.64	5.26
	雇用と産業を創出する企業誘致の推進	16.20	20.18	16.74	15.19	10.53
スポーツ・ 教育	豊かな心を育む教育の推進	10.06	9.87	11.76	10.97	6.02
	生涯学習の推進	5.15	3.59	5.43	6.75	4.51
	生涯スポーツの推進	4.17	4.48	3.62	4.64	3.76
	青少年の健全育成	6.87	7.62	7.69	6.33	5.26
地域協働・ 経営	協働による公共サービスの充実	1.84	1.35	0.90	3.38	1.50
	自治コミュニティの充実・発展	5.52	4.93	5.43	6.33	5.26
	行政経営の推進	18.53	20.63	12.67	18.57	24.81

(4) 市民ニーズ分析（満足度×重要度）

■ 全体傾向

- ・ 近江八幡市全体を通して市民ニーズが高く、より取組を進めるべき課題と言えるのは、「交通安全対策の推進と市内の移動基盤の整備・確保」や「行政経営の推進」の取組であり、次いで、「福祉の向上」、「雇用と産業を創出する企業誘致の推進」の取組が続く。

■ 属性別傾向

(性・年齢別)

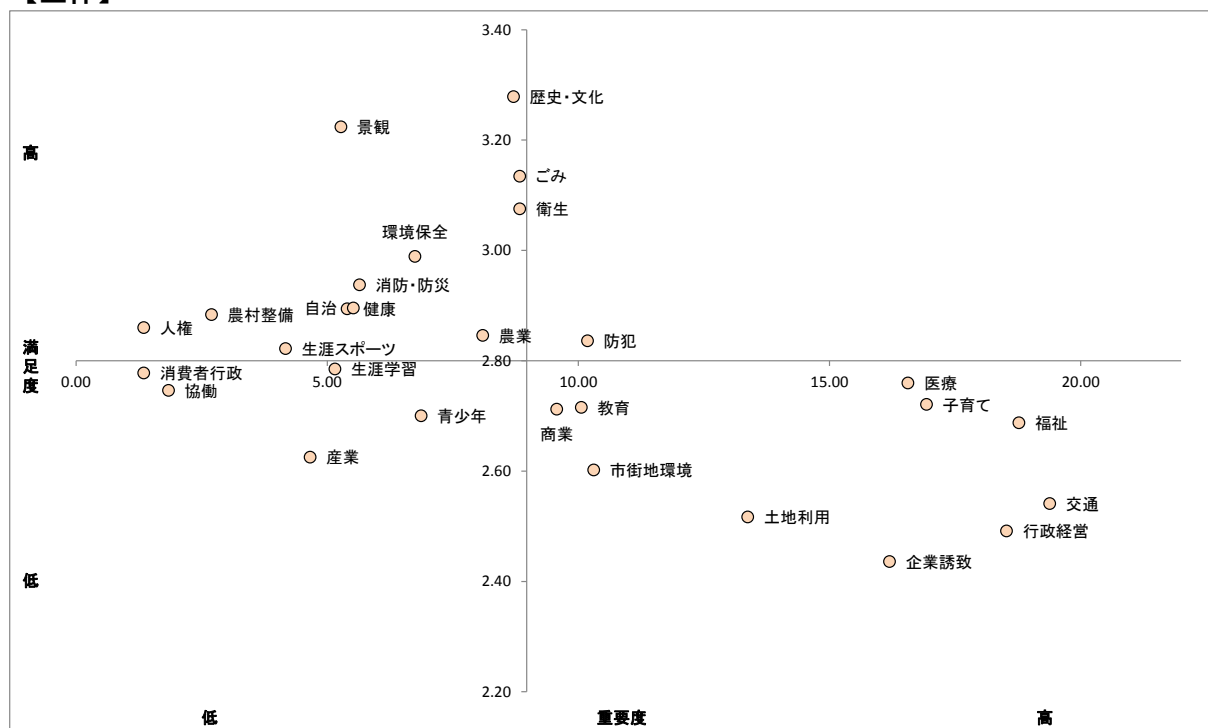
- ・ 男性において市民ニーズが高く、より取組を進めるべき課題と言えるのは、「交通安全対策の推進と市内の移動基盤の整備・確保」や「雇用と産業を創出する企業誘致の推進」の取組であり、次いで、「行政経営の推進」、「計画的な土地利用の推進」の取組が続く。
- ・ 女性において市民ニーズが高く、より取組を進めるべき課題と言えるのは、「行政経営の推進」や「交通安全対策の推進と市内の移動基盤の整備・確保」の取組であり、次いで、「福祉の向上」、「医療の充実」、「子育て支援」の取組が続く。
- ・ 年齢別に見ると、全体的にニーズの高低がはっきりしており、ニーズの高い取組は他の取組と比較すると突出してニーズが高い傾向にある。
- ・ 男女を問わず **30 歳未満**の世代においては、他の世代に比べるとニーズの高い取組が比較的少ない。
- ・ **30 歳未満**及び **30 歳代**の女性においては、突出して「子育て支援」の取組に対するニーズが高くなっている。
- ・ **40 歳代**や **50 歳代**の世代においては、他の世代と比較すると、「医療の充実」の取組に対するニーズが高くなっている。
- ・ 男女を問わず **70 歳以上**の世代においては、「交通安全対策の推進と市内の移動基盤の整備・確保」の取組に対するニーズが突出して高くなっている。

(居住地別)

- ・ 八幡地域において市民ニーズが高く、より取組を進めるべき課題と言えるのは、「雇用と産業を創出する企業誘致の推進」や「行政経営の推進」の取組であり、次いで、「交通安全対策の推進と市内の移動基盤の整備・確保」の取組が続く。
- ・ 八幡東地域において市民ニーズが高く、より取組を進めるべき課題と言えるのは、「交通安全対策の推進と市内の移動基盤の整備・確保」や「雇用と産業を創出する企業誘致の推進」の取組であり、次いで、「福祉の向上」、「子育て支援」の取組が続く。
- ・ 八幡西地域において市民ニーズが高く、より取組を進めるべき課題と言えるのは、「交通安全対策の推進と市内の移動基盤の整備・確保」や「行政経営の推進」の取組であり、次いで、「福祉の向上」の取組が続く。
- ・ 安土地域において市民ニーズが高く、より取組を進めるべき課題と言えるのは、とりわけ「行政経営の推進」や「福祉の向上」の取組であり、差はあるものの、次いで、「交通安全対策の推進と市内の移動基盤の整備・確保」の取組が続く。

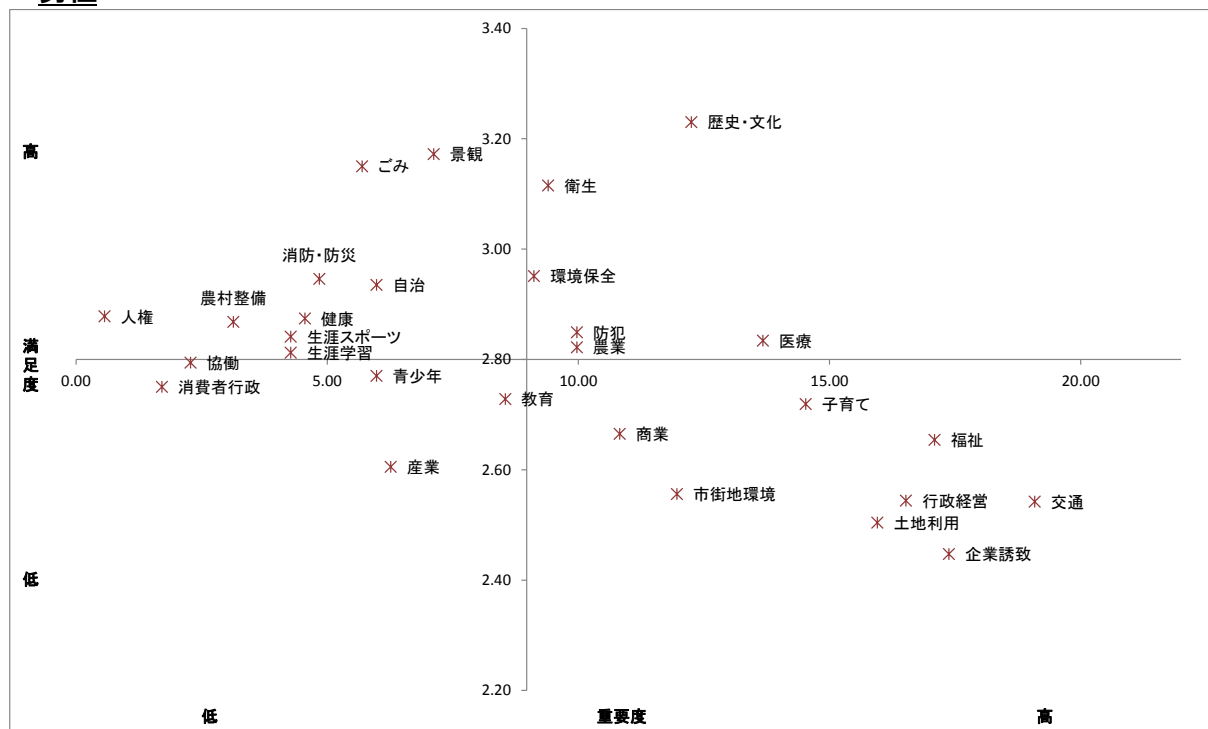
図表Ⅲ－15 満足度と重要度の散布図

【全体】

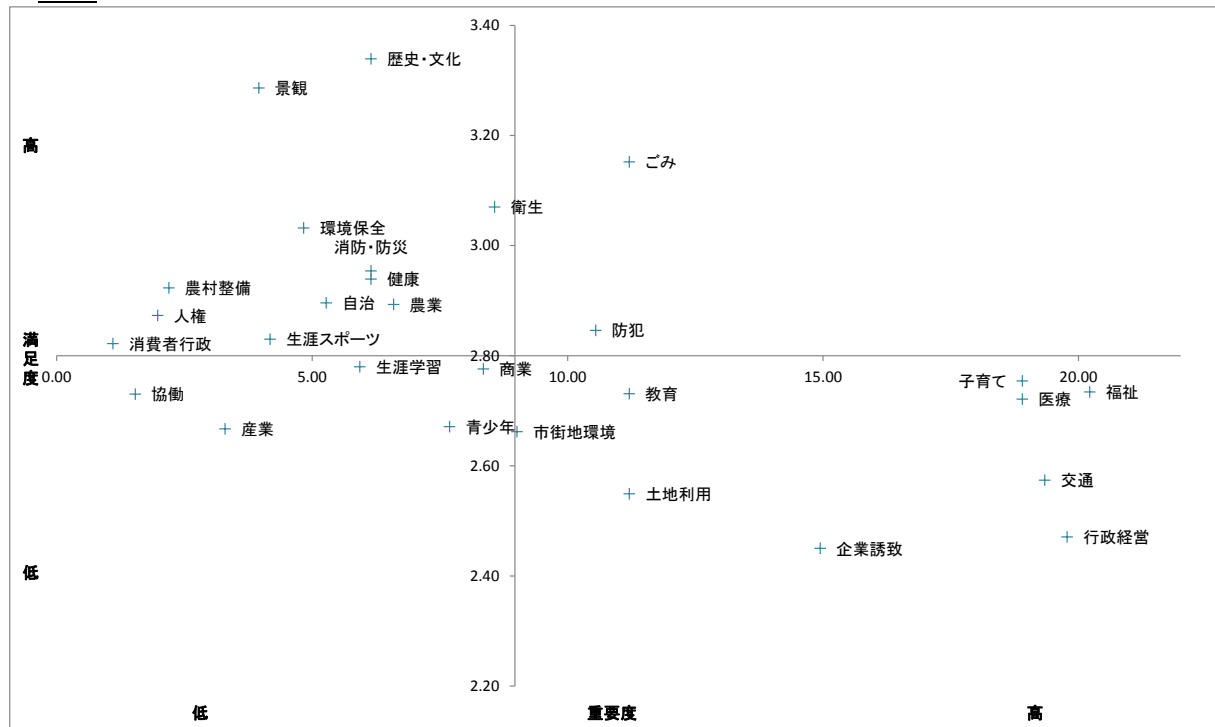


【属性別】

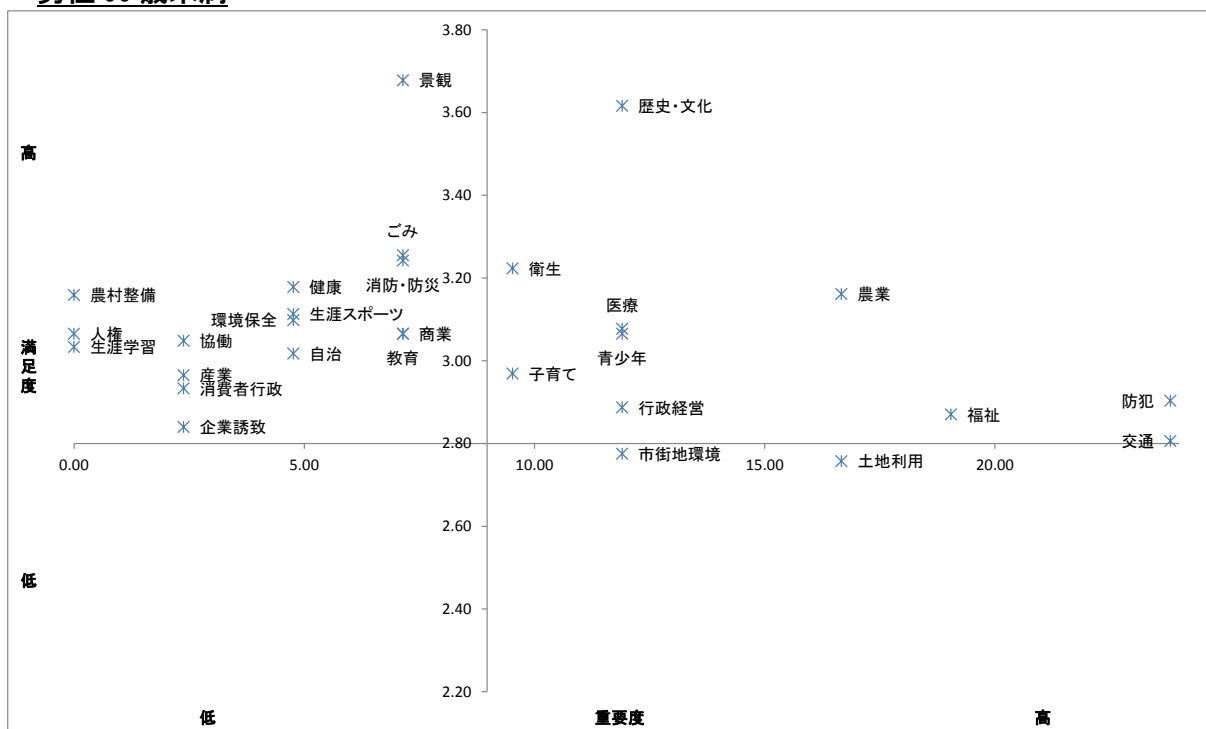
男性



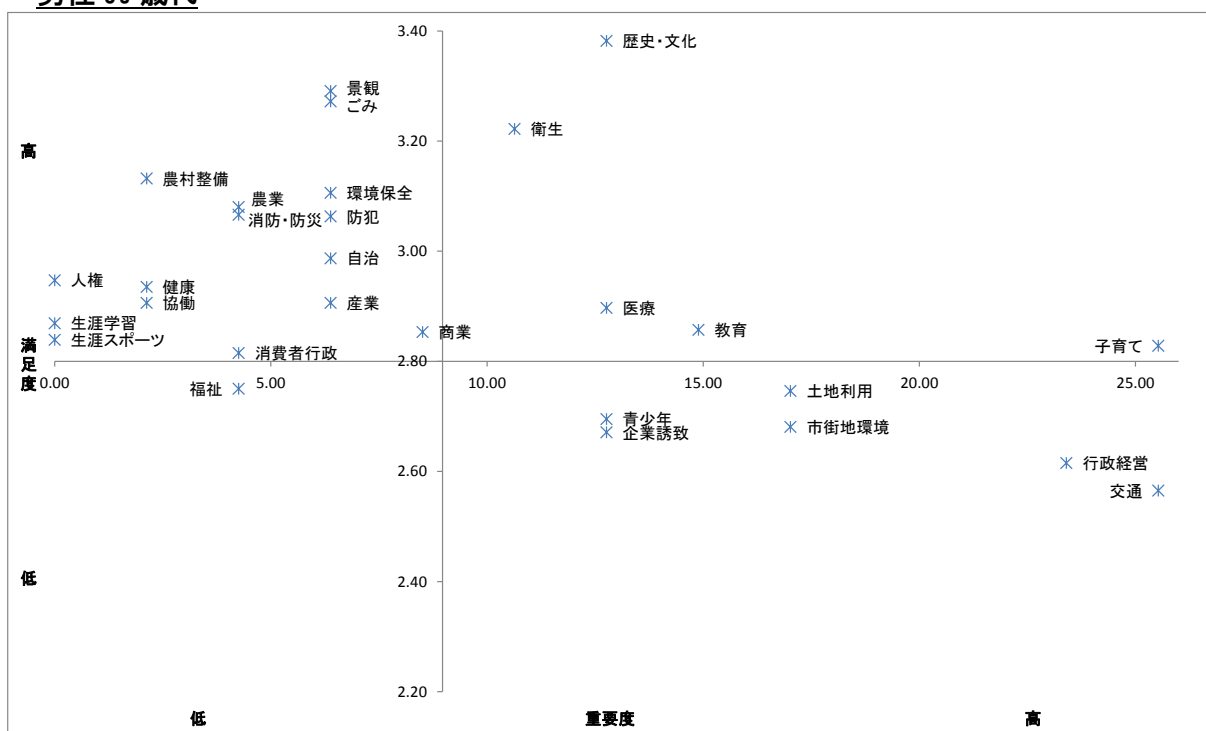
女性



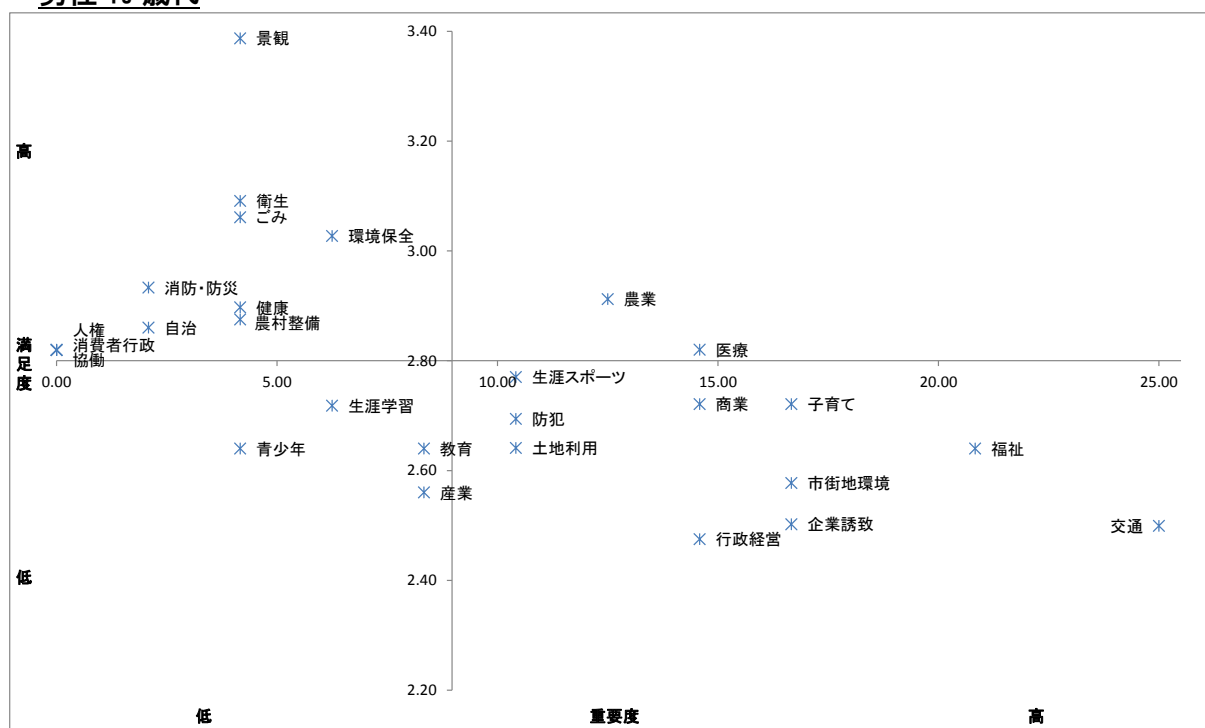
男性 30 歳未満



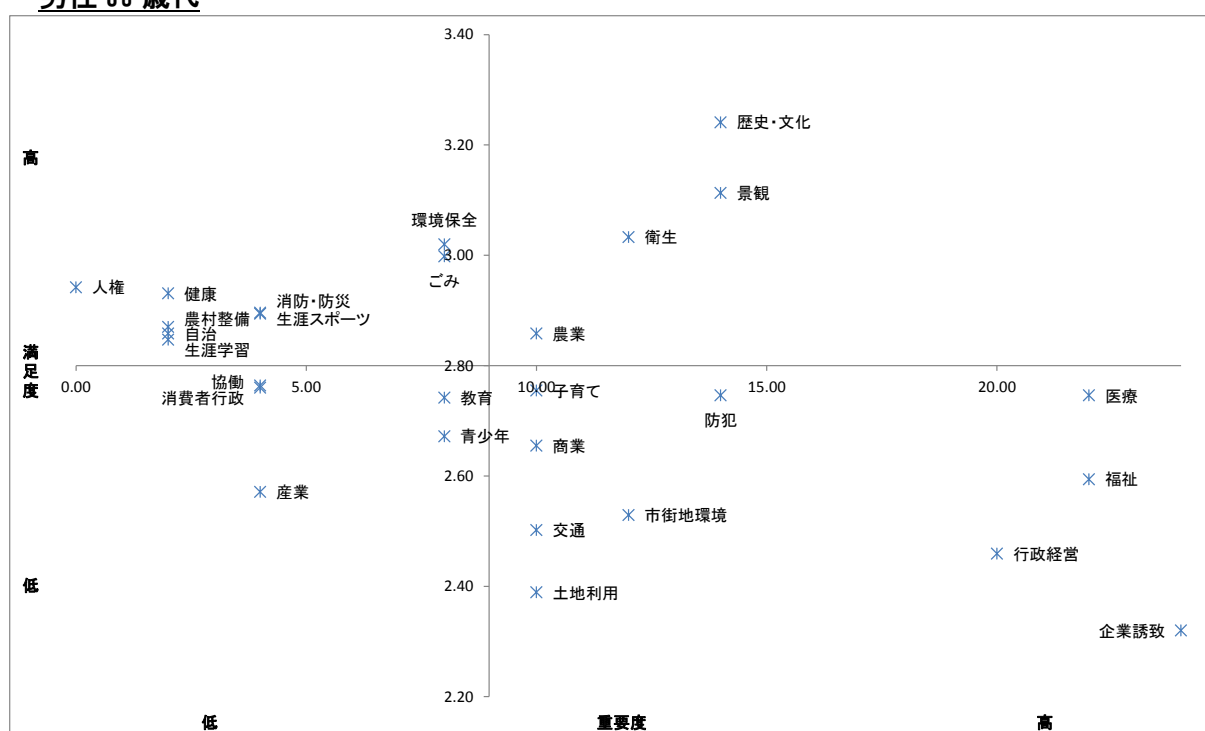
男性 30 歳代



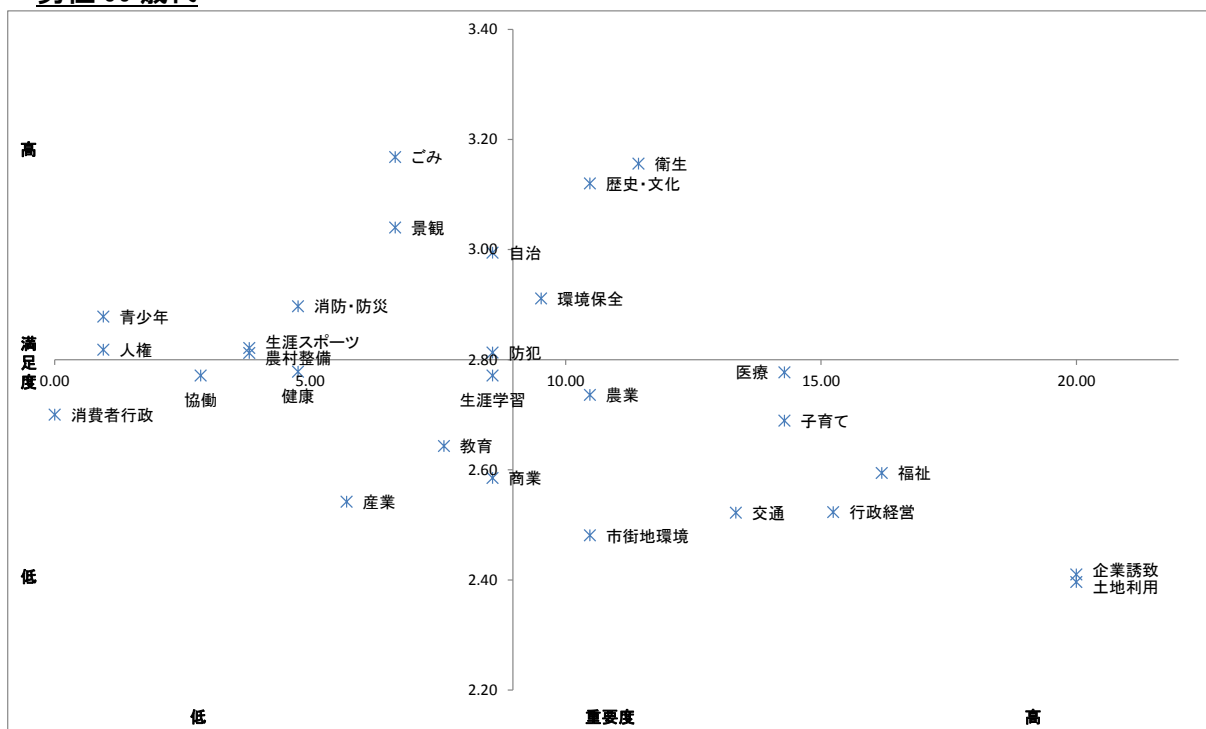
男性 40 歳代



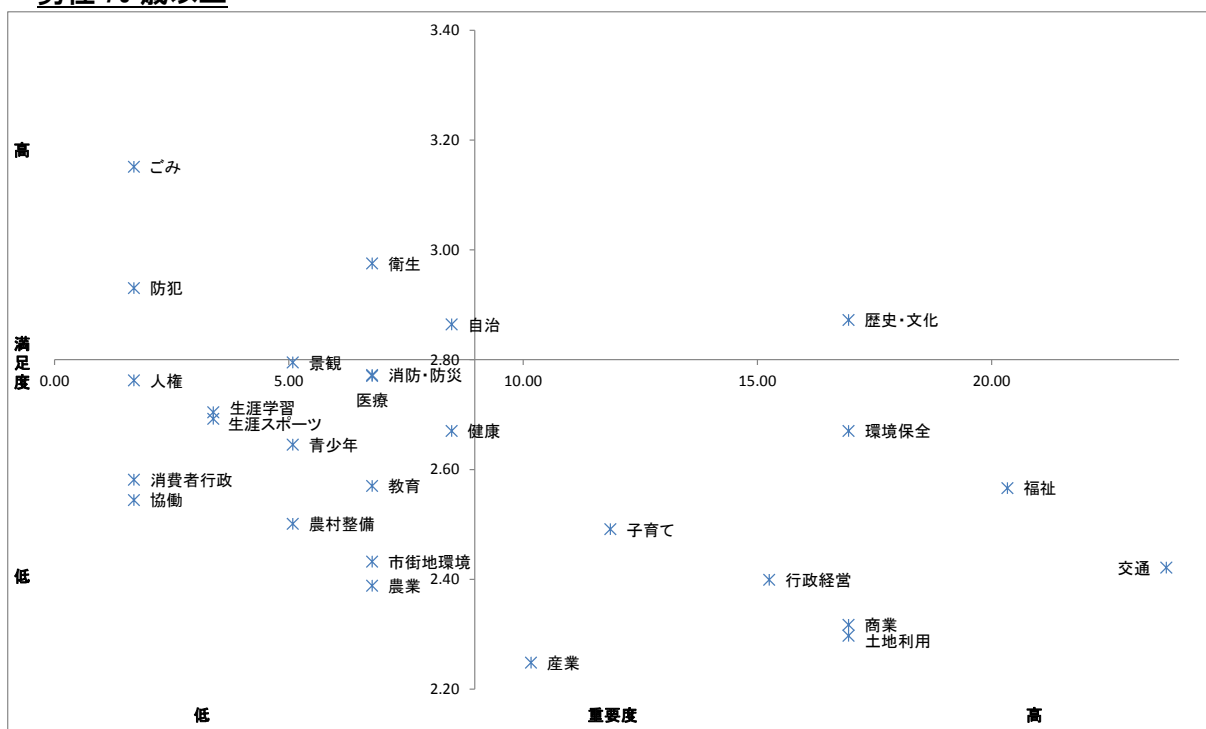
男性 50 歳代



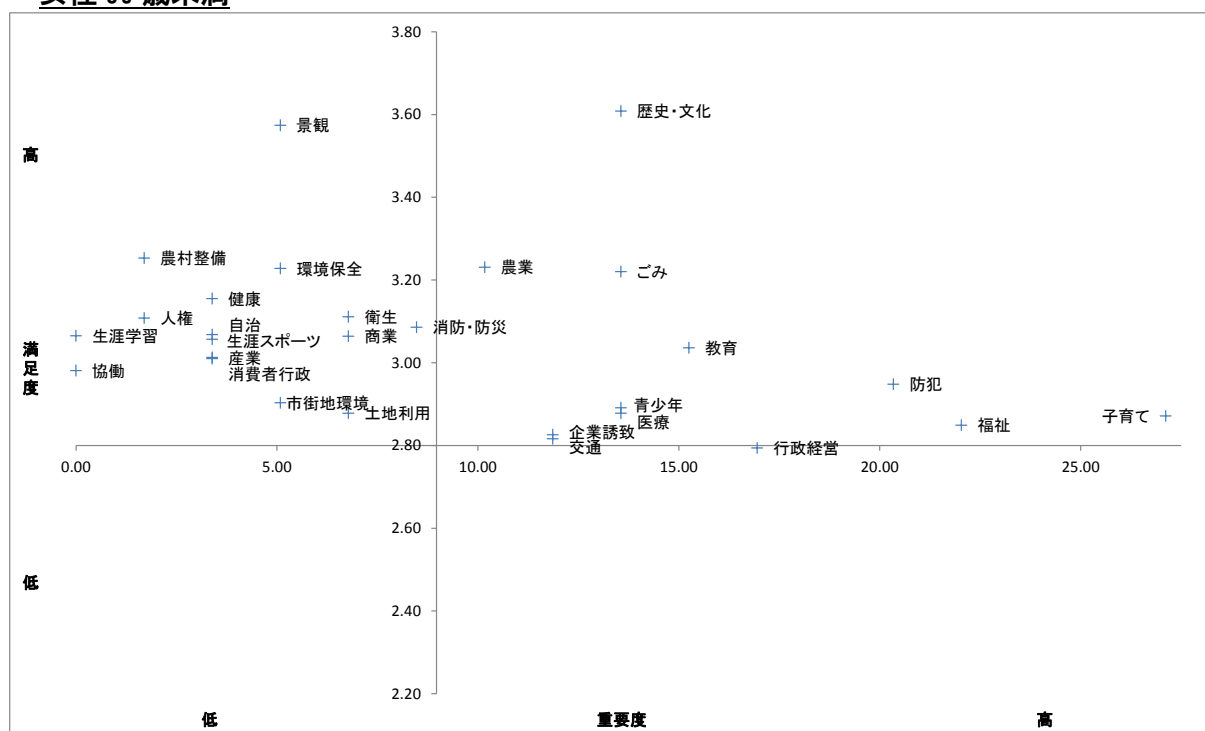
男性 60 歳代



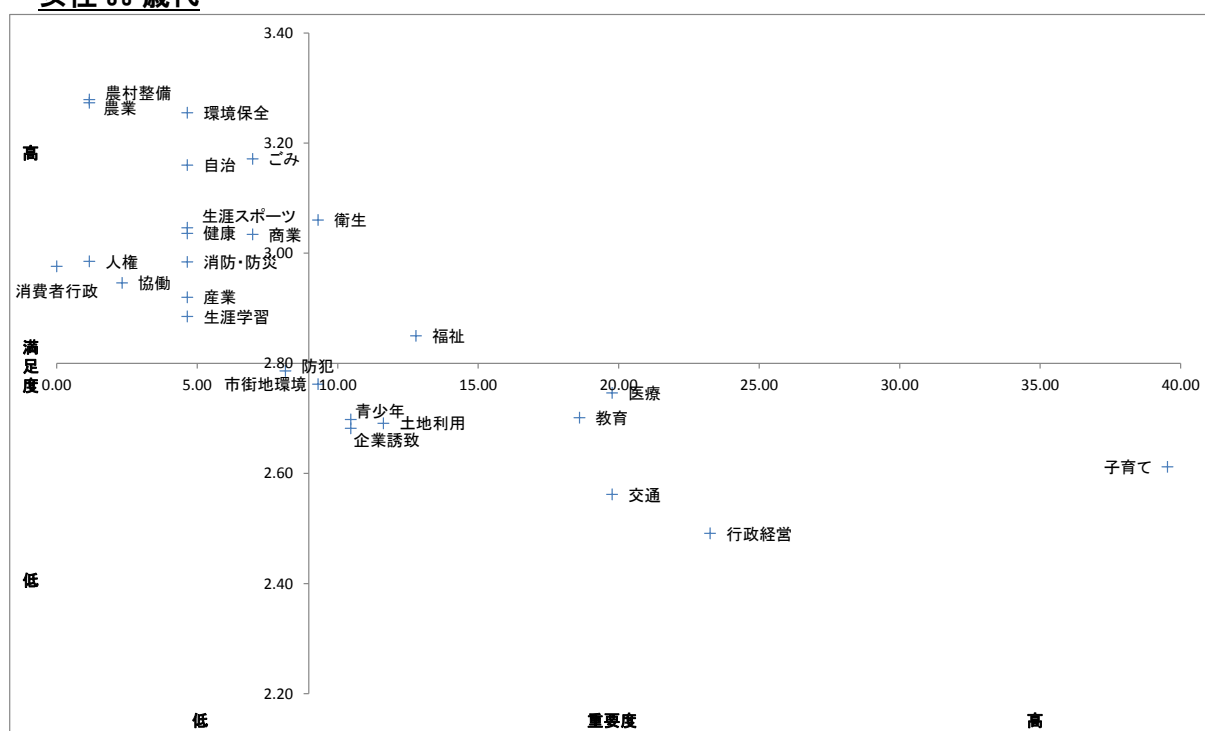
男性 70 歳以上



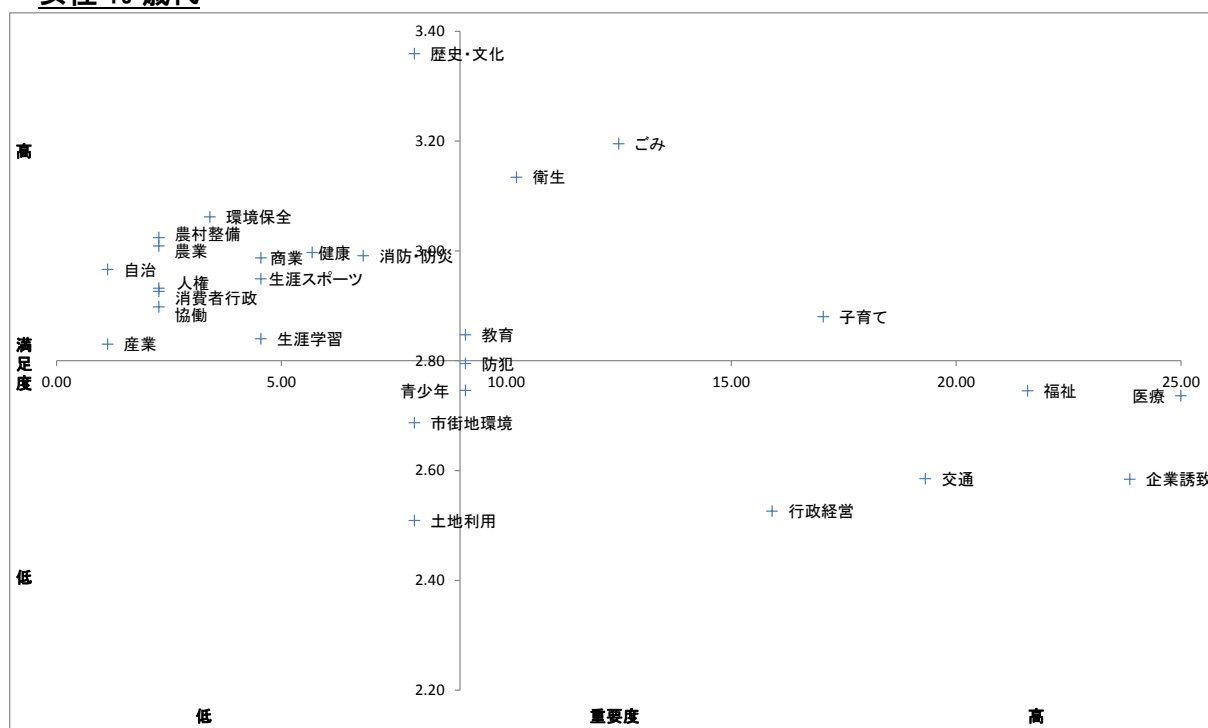
女性 30 歳未満



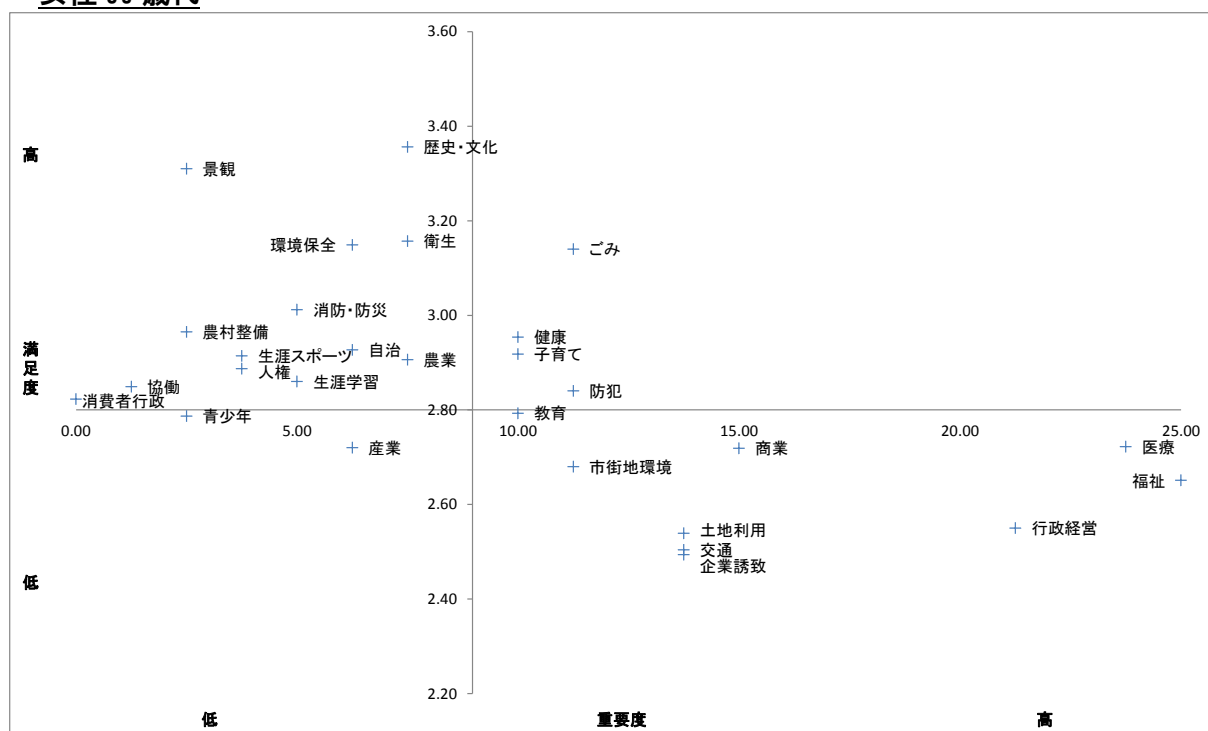
女性 30 歳代



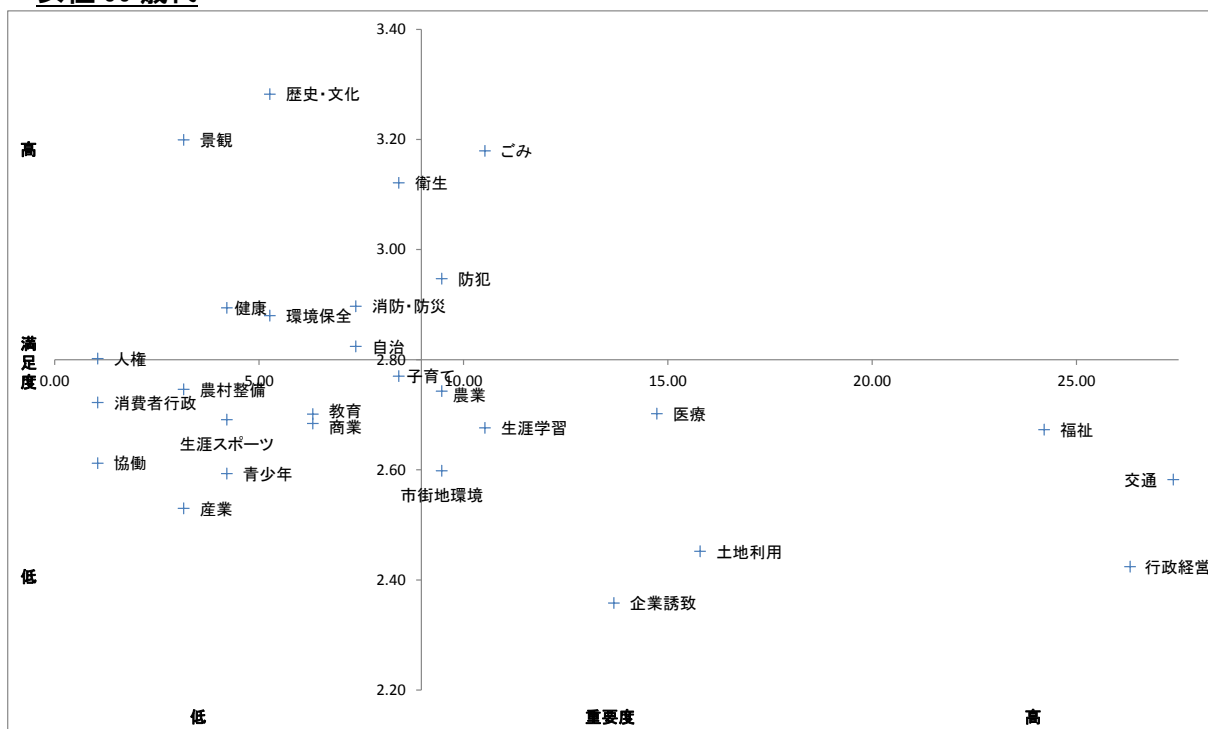
女性 40 歳代



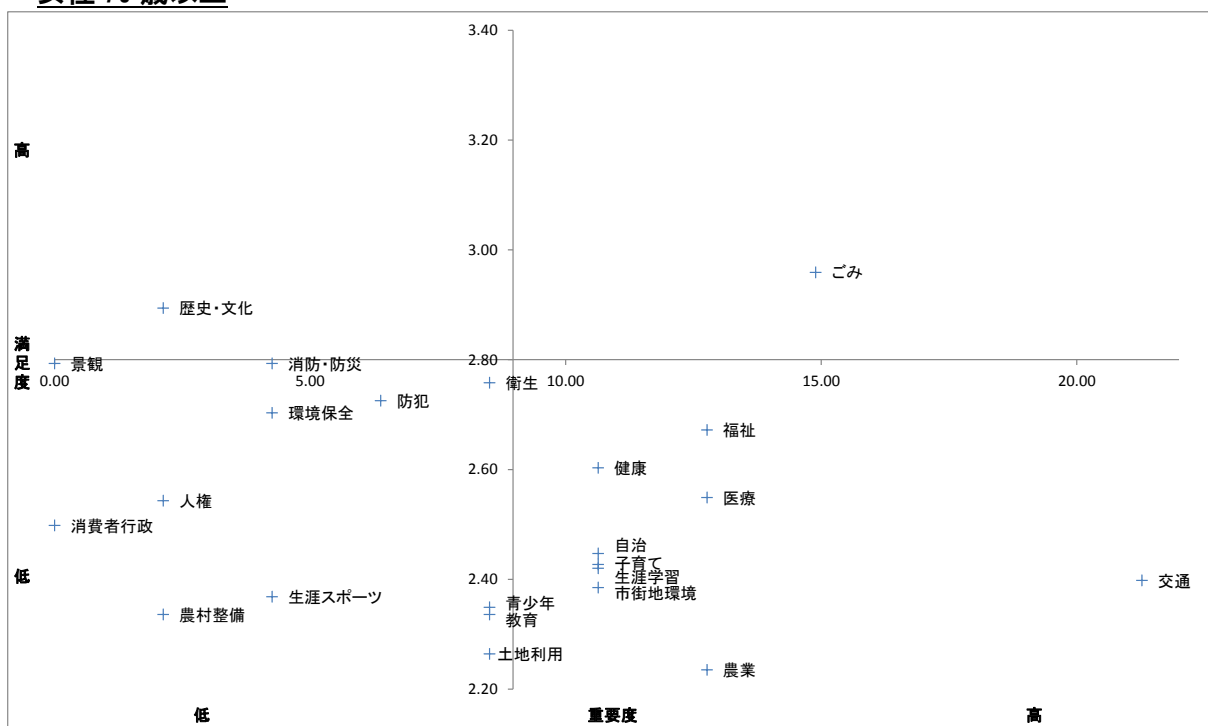
女性 50 歳代



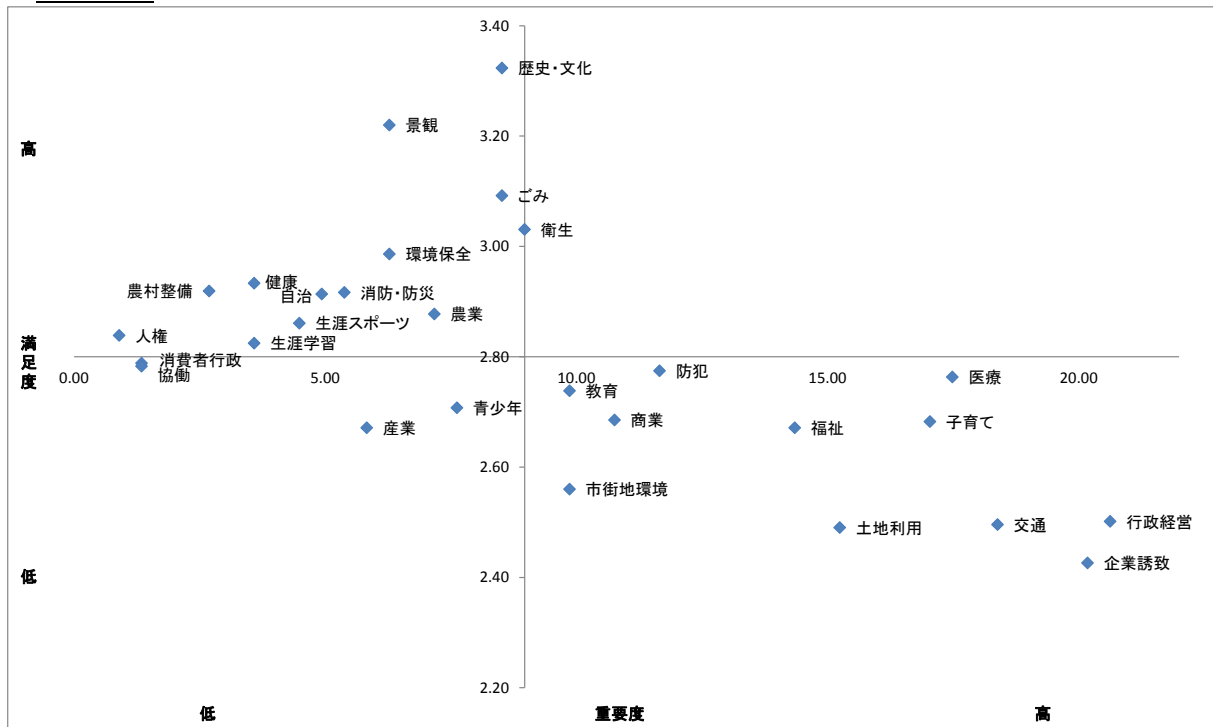
女性 60 歳代



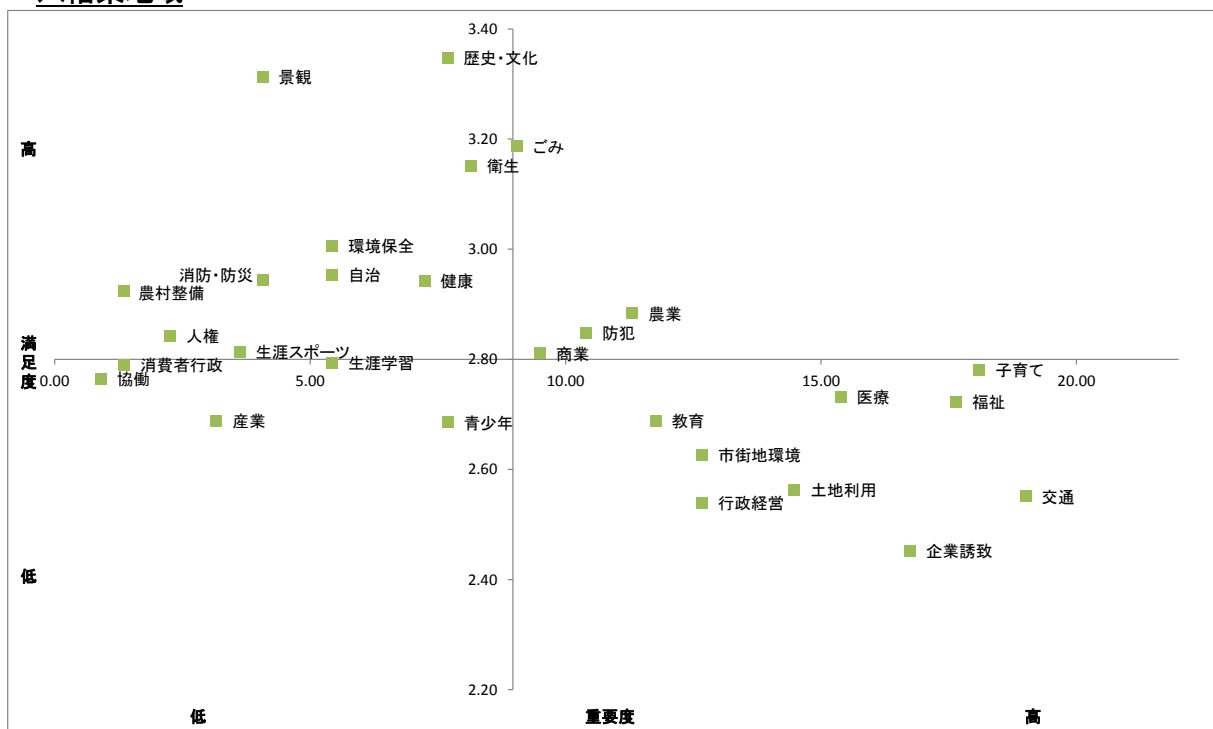
女性 70 歳以上



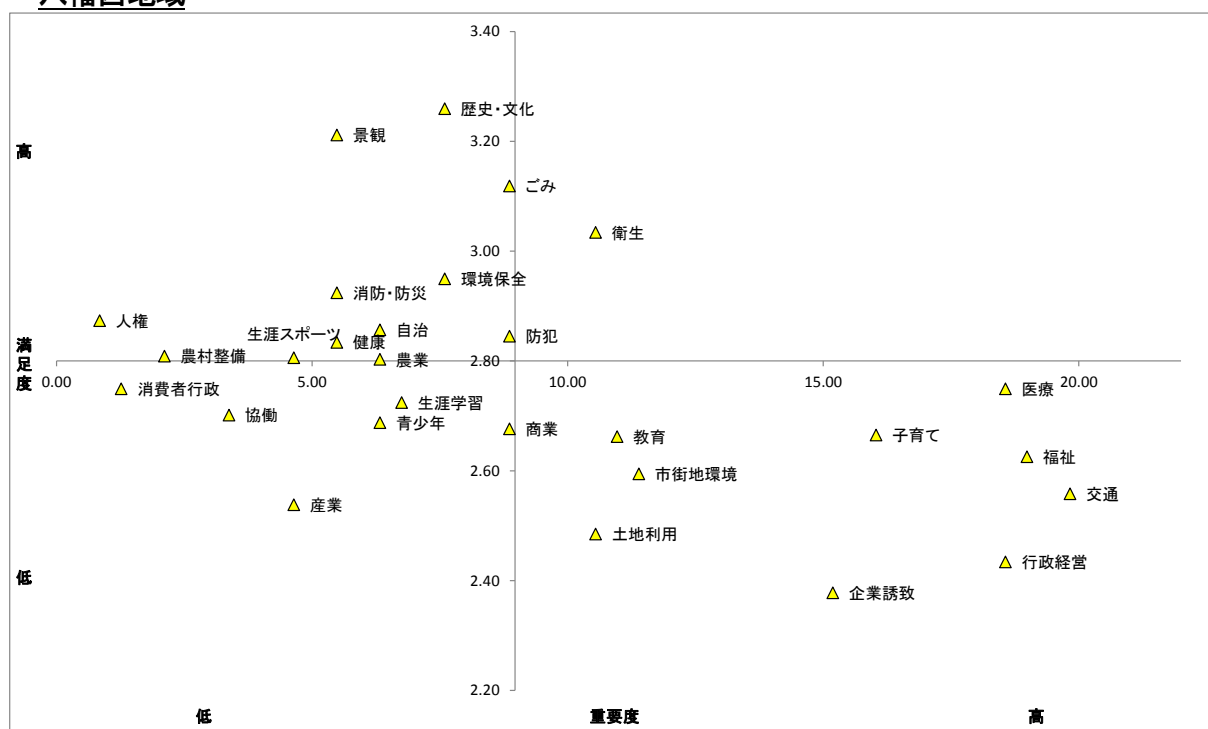
八幡地域



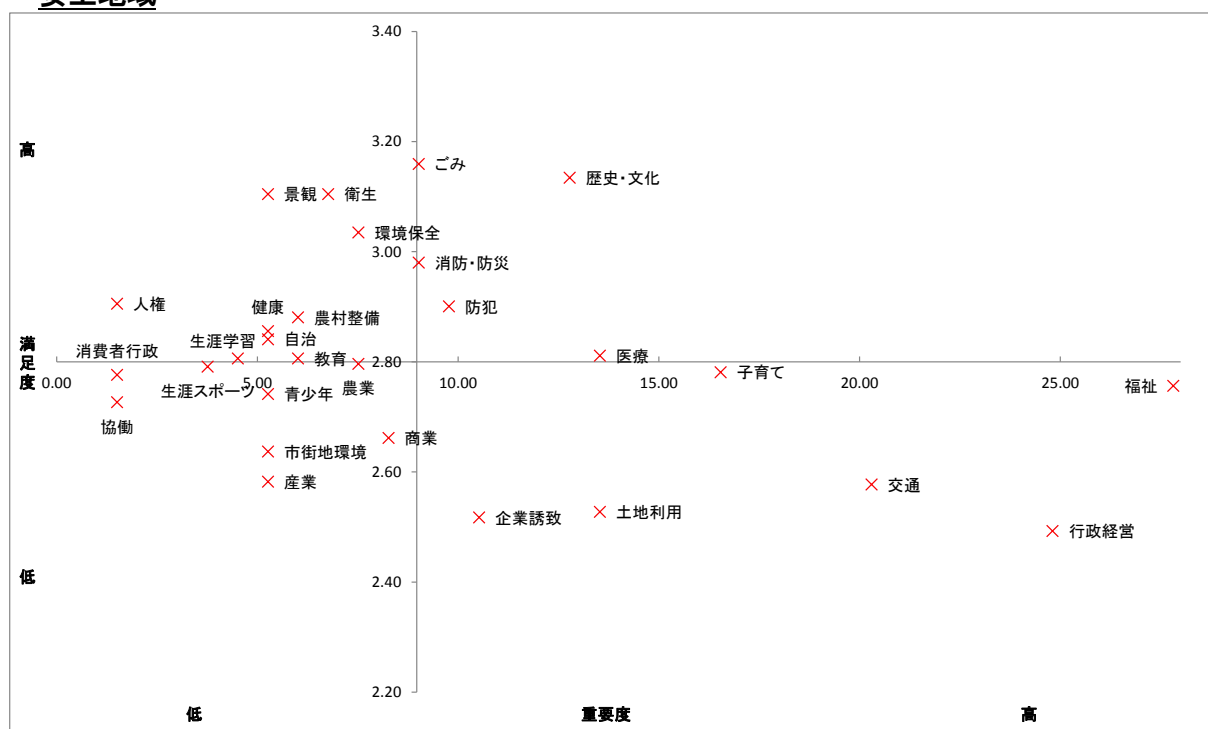
八幡東地域



八幡西地域



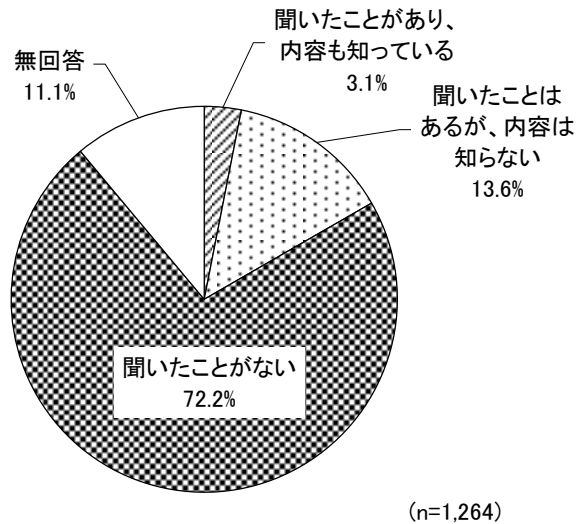
安土地域



3. SDGsについて(問 23)

- SDGsについて、「聞いたことがない」という回答が70%を超えており、一方で「聞いたことがあり、内容も知っている」という回答は3.1%であった。

図表Ⅲ－16 SDGsの認知度



➤ 「SDGs」とは

「SDGs」とは、2015年の国連総会において全会一致で採択され、17の目標と169の指標から成り、地球環境や経済活動、人々の暮らし等を持続可能とするために、すべての国連加盟国が2030年までに取り組む行動計画です。

詳しくは国際連合広報センターのホームページをご覧ください。

http://www.unic.or.jp/activities/economic_social_development/sustainable_development/2030agenda/

➤ 近江八幡市の取組

近江八幡市では、企業や市民の皆様と連携していくために2017年4月10日にひまわり館で「持続可能な開発目標（SDGs）」勉強会を開催するなど、「SDGs」の取組を推進しているところです。

4. 自由回答

① 豊かな自然・歴史・文化に関する回答（33 件）

- ・ 不燃ゴミを減量できる対策を考える必要があると思う。
- ・ 観光資源がたくさんあるのに活用できているように思えない。内側だけの発信のような感じがするため、広く良さを伝えてほしい。
- ・ 八幡堀を船木町・南津田町まで整備し、将来は昔のように琵琶湖までつなげていく。
- ・ 公報などで、シルバーに入っていない老人でも気軽に参加出来る様な自然保護・管理情報発進をしてほしい。個人でも参加しやすい自然保護・ゴミ回収などの情報をもっと増やすべきだと思う。
- ・ 公衆トイレ、公衆浴場をつくってほしい。

② 安全・安心な生活基盤に関する回答（81 件）

- ・ 都会ではないが田舎でもない、微妙なバランスがとれていると思う。あまり背の高いマンションは建ってほしくない。
- ・ JR 近江八幡駅で生活圏が分かれている様に感じられ、湖側は商業施設が少なく、公共施設(市役所・警察)と八幡宮でもっていると思う。駅の高架化や地下道の建設を進め、区域の特徴を踏まえた都市計画を。
- ・ 幹線道路は整備されているが、人と人のつながりの出来る歩道の整備に力を入れてほしい。福祉市民バスの復活を希望する。あかこんバスのない地は、乗合タクシーを考えて頂きたい。
- ・ 旧市街は観光でにぎわいを見せているが、日用品、食品の調達が不便に思う。運転ができなくなる高齢者が増えることを考えると、小規模なショッピングセンターと配達システム、交通手段（行きは自力、帰りは乗り合いなど）ができ、高齢であっても自立が継続できるとよい。
- ・ 八幡堀をぐるっと廻って琵琶湖まで出られるようにならないか。
- ・ 近江八幡駅の南北道路を整備し、自転車やベビーカー、車いすが安心して通れるようにする。歩車分離の道路を増やす。
- ・ 暮らしやすい町日本一を目指し、計画的な市街地整備とそれに伴う防災、防犯対策。

③ 保健・医療・福祉に関する回答（56 件）

- ・ 老若男女全ての市民が憩える場が少ない。
- ・ 公園ならたくさんあり、新しく作る必要があるのか。整備されてないから汚いだけで、まずはそこをきれいにした方がいいのでは。
- ・ 観光客が多く訪れているが、市民の場所がほとんどないように思う。
- ・ 高齢化、老々介護の進む中、自宅での在宅診療の充実、一人住まいになった時の支援体制充実を望む。
- ・ 子育て支援では子どもセンターがあり充実しているが、市民交流センターのような集約した場所があれば、専門員がいて気軽に相談しにいけたり、育成指導など要請できたりするかなと思う。

④ 農業・産業に関する回答（58 件）

- ・ 観光資源の活用をもっとうまく考えられないか。八幡と安土とが連携した観光コース、商人の町、味比の町など。水陸両用の観光バスを走らせたかどうか。宿泊施設があと2箇所くらいあってもよい。
- ・ 観光客が増えているが、住民にとっては有利なことがない。住宅街に車が入り込み地元民が迷惑。
- ・ 観光のあり方が、従来の名所訪問から地域の文化に親しみ、住民と交流するという考え方に変化してきている。知名度の向上を図るためにも、文化体験ツアー等をPRし、観光客を誘致できれば良いのではないか。
- ・ 安土役場やその他の箱物を、何らかの形でもう一度再生させてほしい。
- ・ 空き家の活用。琵琶湖でのライブ誘致。食の祭典。
- ・ 夏祭り（花火）を復活してほしい。

⑤ 教育・スポーツに関する回答（21 件）

- ・ 学校教育や子どものスポーツ育成などに高齢者を活用すべきである。例えば、放課後の学力補充やスポーツ指導を教師に全て任せるのではなく、地域全体で子どもを育てていく環境を作っていくべきである。
- ・ 高齢化が進む中で、将来、近江八幡市を支えていくのは子供達であるため、今市内に住む子供達には地域の良さが感じられ、又人間性が育てられる十分な教育環境を整えてあげたい。
- ・ 金田学区が広すぎるため、遠い所は通学バスを出してほしい。
- ・ 人が増えている所もあり全国とは逆に子どもは多いと思うが、まだまだ人と車、外灯など、子どもにとっては・・・の街。高齢化が進む中、今のうちに「攻め」の姿勢で行政を進めてほしい。学校を新しくするのはその一つとして良いと思う。色んな意見もあるが、ちゃんと進めて下さい。
- ・ ごみ処理施設を作る時のプール、なぜ50mプールにしなかったのか不満。50mプールを作れば良いPRになったのに。

⑥ 協働・地域経営に関する回答（111 件）

- ・ 安土の庁舎に行ってもガラガラで、ほとんど活用されていない。ちょっとしたことでも本庁舎に行く必要がある。
- ・ 新庁舎の駐車場が立体駐車場になるそうだが、高齢ドライバーの事故が多くなっている中で、立体駐車で大丈夫かなあと思う。
- ・ 自治会を退会する方が増えている。又、アパートやマンションが多いが、ほとんど自治会に入っておられず、催物をするにもまとまる事ができず、少し不安を感じる。
- ・ 町内役員をしたが、あまりにも町内の用事が多い事にびっくりした。老人には体力的に負担、若い世代は仕事との兼ね合いが大変。軽減すべき。
- ・ 小さな事業の積み重ねで持続可能な改善を図ってほしい。身近な生活環境の中で、市民の誰もが誇りに思える“まちづくり”を実現してほしい。マイスター制度の立ち上げを行うためにも、まず“目標”を掲げて市民に協働意識を図ってほしい。
- ・ 行政発信の情報やイベント企画など、堅苦しいものが多く、若い世代に響かないし興味を持ちにくい。若い職員の提案やアイディアをもっと活用し、それぞれの世代の持ち味を活かしてほしい。

IV. アンケート調査票

近江八幡市のまちづくりのための「市民アンケート調査」

ご協力をお願い

- ◆ 平素は、市政の推進にご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。
- ◆ 近江八幡市は、安土町と新設合併(平成22年3月21日)を行うにあたり、合併新法に基づく「近江八幡市・安土町『新市基本計画』(平成21年5月)」を策定し、新市のまちづくりの基本方針、主要施策及び取組を定め、当計画を各分野の行政計画の最上位に位置づけて住民福祉の向上や住環境等を整備するべく、各施策・事業を効果的に推進してきたところです。
- ◆ 新市基本計画の策定から約10年が経過したこともあり、今日の人口減少や高齢社会、様々な社会情勢の変化などを踏まえて、今後10年間のあるべき姿を示し、まちづくりの更なる進展を図るべく、このたび「近江八幡市第1次総合計画」の策定を進めています。
- ◆ 近江八幡市第1次総合計画の策定にあたって、単に行政や有識者が作成してその結果を周知するのではなく、市民のみなさまの意見をこのアンケートを通じて伺い、ここで得られた意見を取り入れたいと考えております。策定の趣旨をご理解の上、アンケート調査にご協力いただきますようお願い申し上げます。
- ◆ このアンケート用紙は、近江八幡市にお住まいの18歳以上の市民のみなさまを対象に、3,000名を無作為抽出して送付しております。ご回答については、すべて統計的に処理し、調査の目的以外に使用することはありません。

平成 29 年 8 月

近江八幡市長 富士谷 英正

■ ご記入にあたってのお願い

○調査票は調査対象者（封筒の宛名）の方がご回答ください。ご記入いただいた調査票を同封の返信用封筒に入れ、切手を貼らずに**8月13日(日)**までにポストに入れてください。なお、調査票や返信用封筒に、お名前をご記入いただく必要はありません（ご本人が記入できない場合は、ご本人の意向を踏まえて代筆いただいても構いません）。

このアンケートに対するお問い合わせ先

近江八幡市 総合政策部 政策推進課

〒523-8501 近江八幡市桜宮町 236 番地

電話：0748-36-5527 FAX：0748-32-2695 電子メール：010202@city.omihachiman.lg.jp

※ このアンケートは、三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社が近江八幡市から委託を受けて実施しているものです。

あなたご自身のことについておたずねします

問 1. あなたのお住まいはどちらですか。あてはまる地区を 1つ選び、番号を○で囲んでください。

※学区名がわからない場合は下の（ ）内に住所をご記入ください。
(番地は記入不要です 例:「宇津呂町」、「安土町石寺」)

1. 八幡学区	2. 島学区	3. 岡山学区	4. 金田学区
5. 桐原学区	6. 馬淵学区	7. 北里学区	8. 武佐学区
9. 安土学区	10. 老蘇学区	(学区名がわからない場合:)	

問 2. あなたの年齢は、どれにあたりますか。あてはまるものを 1つ選び、番号を○で囲んでください。(平成 29 年 8 月 1 日現在)

1. 20 歳未満	2. 20 歳代	3. 30 歳代	4. 40 歳代
5. 50 歳代	6. 60～64 歳	7. 65～69 歳	8. 70 歳以上

問 3. あなたの性別について、あてはまるものを 1つ選び、番号を○で囲んでください。

1. 男性	2. 女性
-------	-------

問 4. 同居の家族構成をおうかがいします。あてはまるものを 1つ選び、番号を○で囲んでください。

1. ひとり暮らし	2. 夫婦のみ(事実婚を含む)
3. 二世帯同居(親(あなた)と子ども)	4. 二世帯同居(親と子ども(あなた))
5. 三世帯同居	6. その他(具体的に:)

問 5. 同居のご家族には次にあてはまる方がおられますか。 あなた自身を含め、あてはまるものをすべて選び、番号を○で囲んでください。

1. 未就学の子ども	2. 小学生	3. 中学生
4. 高校生	5. 大学生・専門学校生	6. 65 歳～74 歳の方
7. 75 歳以上の方	8. 介護を必要とする方	9. 該当する人はいない

問 6. あなたは、近江八幡市に何年お住まいですか。あてはまるものを 1つ選び、番号を○で囲んでください。

※生まれてからずっと近江八幡市にお住まいの方は、居住年数にかかわらず「1. 生まれてからずっと」を選択してください。

1. 生まれてからずっと	2. 20 年以上	} 1～4 を選択された方は問 10 へ
3. 10 年以上 20 年未満	4. 5 年以上 10 年未満	
5. 1 年以上 5 年未満	6. 1 年未満	} 5、6 を選択された方は問 7 へ

問 7. あなたが近江八幡市に居住するきっかけは、どれにあたりますか。あてはまるものを 1つ選び、番号を○で囲んでください。

1. 住宅の購入	2. 子どもの誕生・成長	3. 結婚(事実婚含む)
4. 親世帯からの独立	5. 就職・転勤	6. 入学・進学
7. 離婚(事実婚の解消含む)	8. 家族との同居・近居	9. 退職
10. その他(具体的に:)		

問 8. あなたが居住地として近江八幡市を選ばれた理由は、どれにあたりますか。あてはまるものを すべて選び、番号を○で囲んでください。

1. 以前住んでいたところだから	2. 家族等が近くに住んでいるところだから
3. 通勤・通学に便利なおところだから	4. 生活の利便性がよいところだから
5. 日常の医療が受けやすいところだから	6. 子育ての環境がよいところだから
7. 自然環境がよいところだから	8. 物価や住居費などが安いところだから
9. その他(具体的に:)	

問 9. 近江八幡市に転入する前のお住まいの地域はどこですか。(例：●●県△△市)

	都道府県		市区町村		区
--	------	--	------	--	---

問 10. あなたのお住まいは、どれにあたりますか。あてはまるものを 1 つ 選び、番号を○で囲んでください。

- | | |
|------------------------------|-------------------------------|
| 1. あなた・配偶者(パートナー)の持家(一戸建て) | 2. あなた・配偶者(パートナー)の持家(マンション) |
| 3. あなた・配偶者(パートナー)の親の持家(一戸建て) | 4. あなた・配偶者(パートナー)の親の持家(マンション) |
| 5. 民間の賃貸 | 6. 公営住宅の賃貸(市営、県営) |
| 7. 社宅・寮 | 8. その他(具体的に：) |

問 11. あなたのご職業等は、どれにあたりますか。あてはまるものを 1 つ 選び、番号を○で囲んでください。なお、あてはまるものが 複数ある場合は主なもの 1 つ をお選びください。

- | | | |
|-----------------|----------------------|----------------------|
| 1. 無職 | 2. 家事専業 | } 1、2 を選択された方は問 13 へ |
| 3. 農林水産業 | 4. 自営業および家族従業員 | |
| 5. 会社員、公務員、団体職員 | 6. 専門職・自由業(医師、弁護士など) | |
| 7. 学生 | 8. パート・アルバイトなど | |
| 9. その他(具体的に：) | | } 3～9 を選択された方は問 12 へ |

問 12. 問 11 で「3」～「9」のいずれかに回答された方におたずねします。通勤・通学先として、あてはまるものを 1 つ 選び、番号を○で囲んでください。なお、あてはまるものが 複数ある場合は主なもの 1 つ をお選びください。

- | | | |
|-----------|-------------------|---------|
| 1. 近江八幡市内 | 2. 滋賀県内(近江八幡市以外) | 3. 京都府内 |
| 4. 大阪府内 | 5. その他の地域(具体的に：) | |

近江八幡市のイメージについておたずねします

問 13. あなたは、近江八幡市が好きですか。次の中からあなたのお考えに近いものを 1 つ 選び、番号を○で囲んでください。

- | | | |
|-----------|---------------|-------------------|
| 1. 好き | 2. どちらかといえば好き | 3. どちらかといえば好きではない |
| 4. 好きではない | 5. どちらともいえない | |

問 14. 近江八幡市の好きなところ(自慢できるところ)はどこですか。次の中から 2 つ 以内で選び、番号を○で囲んでください。

- | |
|---|
| 1. 水と緑の豊かな自然環境が守られている |
| 2. 琵琶湖沿いの景色がきれい |
| 3. 史跡や歴史的建造物など、観光資源が多い |
| 4. 公共交通の便が良い |
| 5. 防災・防犯の取組が進んでいて安心できる |
| 6. 保健・医療・福祉などのサービスが充実している |
| 7. 子どもの教育環境が良い |
| 8. 農業や商業などの地域の産業が発展している |
| 9. 雇用が充実し、働く場所が多い |
| 10. NPO(※)などボランティア団体の活動が活発で、まちづくりに参加しやすい |
| 11. 自治会やまちづくり協議会などの活動が活発で、地域住民が主体のまちづくりが盛んである |
| 12. 道路(網)の整備が実施され、歩行者や自転車・自動車運転者が動きやすい |
| 13. まちなみなど、日常の景観が良好に保たれている |
| 14. 公園などが多く、気軽に集える場所が多い (ハードとしての集える場所) |
| 15. 市民講座などが多く、いつでも学べる場所がある (ソフトとしての集える場所) |
| 16. 市政の状況など、必要な情報がわかりやすく公表されている |
| 17. その他(具体的に：) |

※ NPO は、NonProfitOrganization の略で、日本語では、特定非営利活動法人と呼ばれます。所定の手続きを経て登記した法人が主ですが、任意団体も含め、公益的な活動をする団体のことを指します。

問 15. 近江八幡市の好きではないところ（改善した方がいいところ）はどこですか。次の中から2つ以内で選び、番号を○で囲んでください。

1. 水と緑の豊かな自然環境が守られていない
2. 琵琶湖沿いの景色がきれいでない
3. 史跡や歴史的建造物など、観光資源が活用されていない
4. 公共交通の便が良くない
5. 防災・防犯の取組が進んでおらず、安心できない
6. 保健・医療・福祉などのサービスが不足している
7. 子どもの教育環境が良くない
8. 農業や商業などの地域の産業が発展していない
9. 雇用が不足し、市内に働く場所が少ない
10. NPOなどボランティア団体などの活動が少なく、まちづくりに参加しづらい
11. 自治会やまちづくり協議会などの活動が少なく、地域住民が主体のまちづくりができていない
12. 道路（網）の整備が実施されておらず、歩行者や自転車・自動車運転者が動きづらい
13. まちなみなど、日常の景観が良好でない
14. 公園などが少なく、気軽に集える場所が少ない（ハードとしての集える場所）
15. 市民講座等が少なく、学べる場所が少ない（ソフトとしての集える場所）
16. 市政の状況など、必要な情報がわかりやすく公表されていない
17. その他（具体的に： _____）

問 16. あなたは、10年後の近江八幡市にどのようなまちであってほしいと思いますか。次に示すキーワードの中から3つまで選び、番号と具体的な内容を下の表に記入してください。

1. 高齢者・障がい者福祉	2. 貧困対策	3. 保健・医療
4. 公共交通（鉄道、バスなど）	5. 自動車・自転車対策	6. 道路整備
7. 上下水道	8. 市街地整備	9. 住宅・住環境
10. 都市景観	11. 自然景観	12. 子育て支援
13. 青少年の健全育成	14. 学校教育	15. 人権・男女共同参画
16. 防犯対策	17. 交通安全	18. 防災・消防
19. スポーツ・生涯学習	20. 史跡・文化財	21. 歴史・文化・芸術
22. 消費者問題・市民相談	23. 市民活動（まち協、NPO）	24. 地域自治
25. ごみ対策（ごみの減量、適正処理）	26. 大気・水質などの環境対策	27. 水や緑などの自然環境保全
28. 市民・企業・行政などの協働	29. 多文化共生	30. 国際交流・国際平和
31. 農業振興	32. 商工業振興	33. 観光振興
34. 雇用・勤労者福祉	35. 公園	36. 高度情報化（インターネットの活用）
37. 広報・広聴	38. 行政改革	39. 少子化・人口減少対策

キーワードの 番号	10年後の理想的な近江八幡市（具体的に記入してください。）
(回答例) 1 1	琵琶湖、西の湖一帯の水と緑の豊かな自然環境が守られており、きれいな景観が残っている。

問 17. あなたが思う 10 年後の理想的な近江八幡市を実現させるために、市民として取り組みたい（取り組むことができる）と思えることはどのようなことですか。

自由記入

（例：琵琶湖の清掃活動に積極的に参加したい。など具体的に）

問 18. あなたは、近江八幡市にこれからも住み続けたいと思いますか。次の中からあなたのお考えに近いものを 1 つ 選び、番号を○で囲んでください。

- | | | |
|--------------------|-------------------|----------------------|
| 1. ずっと住み続けたい | 2. どちらかといえば住み続けたい | } 1、2 を選択された方は問 19 へ |
| 3. どちらかといえば市外に移りたい | 4. 市外に移りたい | |

問 19. 問 18 で「1」または「2」と回答された方（住み続けたいとお考えの方）におたずねします。近江八幡市に住み続けたい主な理由は何ですか。次の中から 2 つ以内 で選び、番号を○で囲んでください。

1. 水と緑の豊かな自然環境が多く、まちの環境が良いから
2. 近隣に商店や病院などが充実し、生活する上で便利だから
3. 通勤・通学や買い物等をする上で交通の便が良いから
4. 娯楽や文化などの生活の楽しみがあるから
5. 市民講座等が多く、いつでも学ぶ場所があるから
6. 保健・医療・福祉などのサービスが充実しているから
7. 子どもの教育環境が良いから
8. 地域に愛着があるから
9. 職場が近いから
10. NPO などボランティア団体の活動が活発で、まちづくりに参加しやすいから
11. 公園などが多く、気軽に集える場所が多いから
12. 防災・防犯の取組が進んでいて安心できるから
13. その他（具体的に： _____）

問 20. 問 18 で「3」または「4」と回答された方（市外に移りたいとお考えの方）におたずねします。市外に移りたい主な理由は何ですか。次の中から 2 つ以内 で選び、番号を○で囲んでください。

1. 水と緑の豊かな自然環境が守られておらず、まちの環境が良くないから
2. 近隣に商店や病院などが少なく、生活する上で不便だから
3. 通勤・通学や買い物等をする上で交通の便が良くないから
4. 娯楽や文化などの生活の楽しみが少ないから
5. 市民講座等が少なく、学ぶ場所が少ないから
6. 保健・医療・福祉などのサービスが充実していないから
7. 子どもの教育環境が良くないから
8. 地域に愛着を感じないから
9. 仕事の都合（自身やご家族の転勤など）
10. NPO などボランティア団体の活動が少なく、まちづくりに参加しづらいから
11. 公園などの気軽に集える場所が少ないから
12. 防災・防犯の取組が不十分で安心できないから
13. その他（具体的に： _____）

近江八幡市のまちづくりについておたずねします。

問 21. あなたは、近江八幡市のまちづくりにどの程度満足されていますか。あてはまるものを1つ選び、番号を○で囲んでください。

近江八幡市の取組		満足度（○は1つ）				
		大変不満	不満	どちらともいえない	満足	大変満足
回答例		1	2	3	4	5
1	環境保全の推進 緑豊かな自然や希少動植物の保全など、環境の保全が進んでいる。	1	2	3	4	5
2	ごみの減量と適正処理の推進 ごみの減量化や4 R（リフューズ・リデュース・リユース・リサイクル）の取組など、ごみの減量と適正な処理が進んでいる。	1	2	3	4	5
3	衛生的な生活の維持・増進 生活排水への対策が進んでおり、琵琶湖の水質保全が図られ、衛生的な生活ができる取組が進んでいる。	1	2	3	4	5
4	歴史・文化の振興と活用 湖畔や田園風景・史跡・伝統的な建造物が保全されているなど、歴史・文化の振興と活用が進んでいる。	1	2	3	4	5
5	魅力的な景観形成の推進 歴史的なまちなみの保全・活用が進められ、魅力的な景観が作られている。	1	2	3	4	5
6	計画的な土地利用の推進 低・未利用地の有効利用や既存市街地の活性化など、計画的な土地利用が進んでいる。	1	2	3	4	5
7	市街地環境の充実 市街地の整備が進むとともに、未整備の地域でも秩序ある市街地が作られている。	1	2	3	4	5
8	交通安全対策の推進と市内の移動基盤の整備・確保 交通事故の対策が進むとともに、バリアフリー化など、公共交通の利便性が高まっている。	1	2	3	4	5
9	消防・防災対策の推進 消防・防災設備の充実や自主防災組織の強化育成などにより、災害に強いまちづくりが進んでいる。	1	2	3	4	5
10	防犯対策の推進 防犯灯など生活の安全を確保するための環境が整備されるとともに、地域が自ら防犯の取組を進められている。	1	2	3	4	5
11	消費者行政の充実 安全で豊かな消費生活を実現するために、消費者への啓発や相談窓口の体制が充実している。	1	2	3	4	5
12	福祉の向上 年齢や障がいの有無にかかわらず、すべての市民が平等に社会の一員として生活できるまちづくりが進んでいる。	1	2	3	4	5
13	医療の充実 多様な医療ニーズへの対応が進むとともに、関係機関の連携のもと、切れ目ない医療サービスが提供されている。	1	2	3	4	5
14	健康づくりの支援 健康保持・増進を目的とした交流の場が提供されるとともに、市民が相互にふれあい、支えあえる環境がある。	1	2	3	4	5
15	子育て支援 子育てに関する学習活動や悩み相談などの体制が整っており、子どもを産み、育てる喜びを感じることができる。	1	2	3	4	5
16	人権文化の創造 「人権文化」が創造されるとともに、男女が共に個性と能力を発揮でき、あらゆる分野で共同参画できる。	1	2	3	4	5

近江八幡市の取組		満足度（○は1つ）				
		大変 不満	不満	どちらとも いえない	満足	大変 満足
17	足腰の強い農業づくり 農地の集約化・効率化で経営が安定化するとともに、農漁業の振興や地産地消の取組が進められている。	1	2	3	4	5
18	環境に配慮した農業・農村整備の推進 優良な農地が良好な状態で保全されるとともに、自然環境の保全や美しい景観の形成に配慮されている。	1	2	3	4	5
19	活力ある商業づくり 魅力ある商業の再生と振興が進み、「八幡商人」の伝統と精神を活かし、商業に活力が生まれている。	1	2	3	4	5
20	魅力ある産業の振興・誘導 起業家支援や既存企業に対する地域の連携支援が行われており、経営の安定化や生産性の向上が進んでいる。	1	2	3	4	5
21	雇用と産業を創出する企業誘致の推進 雇用と産業を創出する企業の集積を図るため、企業の誘致活動が進められている。	1	2	3	4	5
22	豊かな心を育む教育の推進 教育施設の充実が進むとともに、学校・家庭・地域の連携が深まり、教育内容が充実している。	1	2	3	4	5
23	生涯学習の推進 心身ともに健康で生きがいのある生活を営むことができるよう、生涯学習の活動や機会が充実している。	1	2	3	4	5
24	生涯スポーツの推進 地域の自主活動への支援が行われるとともに、施設整備が充実しており、団体間の相互交流も進められている。	1	2	3	4	5
25	青少年の健全育成 家庭・学校・地域が一体となった青少年の非行防止などの活動が行われており、青少年の心身育成が進んでいる。	1	2	3	4	5
26	協働による公共サービスの充実 NPO活動など、行政の枠組みを超えた新しい公共の活動主体の育成や起業の支援が進んでいる。	1	2	3	4	5
27	自治コミュニティの充実・発展 地域単位のコミュニティ活動が充実するとともに、市民が自らまちづくりに取り組むことができている。	1	2	3	4	5
28	行政経営の推進 市民の視点に立った効果的・効率的な行政サービスの提供が行われており、信頼される行政が確立している。	1	2	3	4	5

問 22. 問 21 にある 28 項目の取組のうち、今後の 10 年間で特に力を入れて取り組むべきだと思われる番号を問 21 の表の中から上位 3 つを選んで下記にご記入ください。また、その理由やご意見をお聞かせください。

力を入れるべき取組 (1～28 の番号を記入)	選んだ理由・ご意見 (今後期待されること、困っていること)
(回答例) 1	近江八幡市の自然の生態系が崩れないよう外来種の駆除などの対策に一層力を入れてほしい。

SDGsのことについておたずねします。

問 23. 近江八幡市では、今年 2 月から、国連が 2015 年に採択した「SDGs※」に自治体レベルで取組を進めています。あなたは、「SDGs」のことを知っていますか。次の中から 1 つ選び、番号を○で囲んでください。

- | | |
|-----------------------|-----------------------|
| 1. 聞いたことがあり、内容も知っている。 | 2. 聞いたことはあるが、内容は知らない。 |
| 3. 聞いたことがない。 | |

※ 持続可能な開発目標（SDGs）は、「貧しい人々が取り残され、地球環境は悪化しており、このままでは世界が立ち行かない」という強い危機感のもと作られた目標です。経済発展だけを目指すのではなく、社会、環境、経済の 3 つの側面の全てにバランスが取れた形で対応し、さまざまな問題を生み出す根本的な原因に取り組み、今の世界の「変革」を目指すものになっています。（国際連合広報センターホームページより）

詳しくは国際連合広報センターのホームページをご覧ください。

http://www.unic.or.jp/activities/economic_social_development/sustainable_development/2030agenda/

自由意見

近江八幡市の取組や生活環境の改善、将来のまちづくりに向けた具体的なアイデアなどをお寄せください。

ご協力ありがとうございました。

ご記入いただいた調査票は、お手数ですが同封の返信用封筒に入れて、無記名で **8 月 13 日（日）** までにお近くのポストに投函してください。（切手は不要です）

このアンケートの送付先

大阪市北区梅田二丁目五番二十五号ハービス O S A K A 三菱 UFJ リサーチ & コンサルティング株式会社 近江八幡市のまちづくりのための「市民アンケート調査」担当 行
--

※ このアンケートは、三菱 UFJ リサーチ & コンサルティング株式会社が近江八幡市から委託を受けて実施しているものです。

10 月から 1 月にかけて実施予定の市民会議の案内チラシを同封させていただきました。あわせてご確認くださいましたら幸いです。